平成 24 年度　鳥栖市浄化センター

再構築基本設計（長寿命化計画）業務委託

長 寿 命 化 計 画 報 告 書

【概要編】

平成 24 年 12 月

鳥　　栖　　市

目　　次

１．下水道事業の概要…… 1- 1
1.1　鳥栖市の概要…… 1- 1
1.2　対象施設の選定理由…… 1- 4
1.3　施設概要…… 1- 5

２．調査及び診断の方法…… 2- 1
2.1　調査診断の方針…… 2- 1
2.2　調査診断方法…… 2- 2
2.3　長寿命化検討対象設備の選定…… 2- 3
2.4　一次分類結果…… 2- 7

３．詳細調査…… 3- 1
3.1　通常点検及び詳細点検の概要…… 3- 1
3.2　健全度判定項目・判定基準の検討項目…… 3- 2
3.3　健全度判定方法…… 3- 4
3.4　点検調査結果の概要…… 3-12
3.5　健全度結果一覧…… 3-13

４．改築必要性の検討…… 4- 1
4.1　長寿命化検討対象外設備…… 4- 1
4.2　長寿命化検討対象設備…… 4-13

５．長寿命化対策等の基本方針の検討…… 5- 1
5.1　各種アクションの設定…… 5- 1
5.2　長寿命化検討期間における対策方針…… 5-13

６．下水道長寿命化計画の策定…… 6- 1
6.1　事業計画策定方針…… 6- 1
6.2　年次別計画及び年割り額…… 6- 2

７．維持管理計画…… 7- 1
7.1　維持管理の実施状況…… 7- 1
7.2　計画的な維持管理の概要…… 7-14

１．下水道事業の概要

1.1　鳥栖市の概要

鳥栖市の公共下水道事業は、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を目的に、昭和 50 年に事業計画を立案したことに始まる。

現在、計画面積 2,210ha、計画処理人口 72,000 人として整備を進めている。平成 23 年度末の整備面積は約 2,059ha であり、処理場１箇所（鳥栖市浄化センター）、中継ポンプ場１カ所（北部中継ポンプ場）が整備され、処理区域内人口約 65,300 人に対し水洗化人口は約 56,300 人であり、処理人口普及率は約 93.8%、水洗化率は 86.2%に達している。

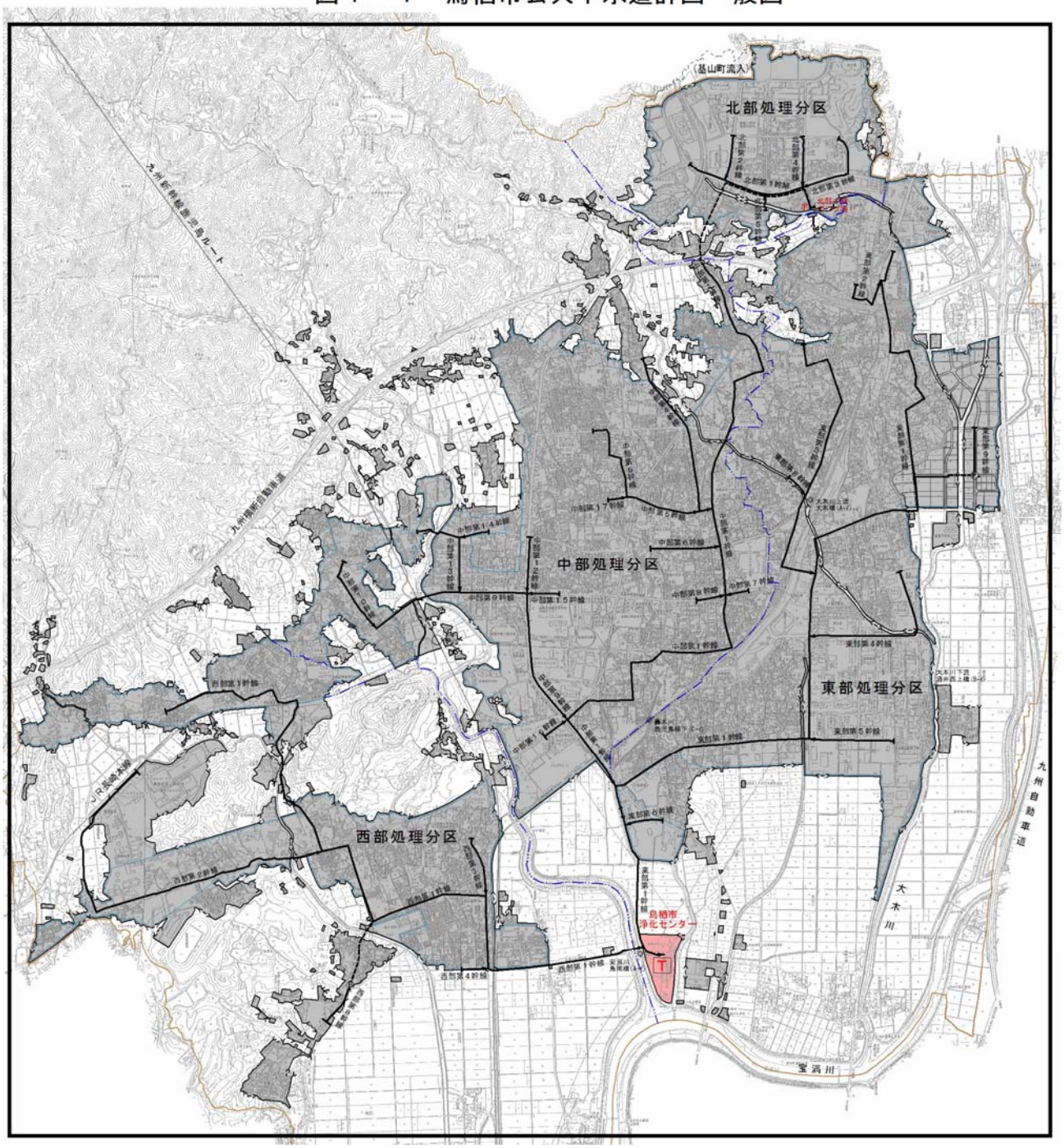
なお、雨水整備も平行して実施されているものの、自然流下での排水が可能であることから、雨水ポンプ場は整備されていない。

表１－１に公共下水道の概要を示す。また、下水道計画一般図を図１－１に示す。

表1－1　鳥栖市公共下水道事業計画概要表

項　　目			全体計画 平成19年度策定	認可計画	備考
計画目標年次(年)			平成30年	平成26年	
排除方式			分流式		
計画処理面積(ha)			2,210	2,210	
行政区域内将来人口(人)			75,000	71,500	
計画処理人口(人)			72,000	68,500	
計画汚水量	1人1日当りの汚水量(L/人/日)	日平均	365	365	
		日最大	505	505	
		時間最大	735	735	
	家庭汚水量(m³/日)地下水量含む	日平均	26,300	25,000	
		日最大	36,400	34,600	
		時間最大	53,000	50,300	
	工場排水量(m³/日)	日平均	24,230	21,100	
		日最大	24,230	21,100	
		時間最大	32,460	28,310	
	その他の汚水量(m³/日)	日平均	200	200	基山町流入
		日最大	300	200	
		時間最大	500	400	
	計(m³/日)	日平均	50,800	46,310 ≒46,300	
		日最大	61,000	55,910 ≒55,900	
		時間最大	86,000	79,010 ≒79,000	
鳥栖市浄化センター	処理方式		標準活性汚泥法		
	処理能力(m³/日)	日最大	61,000		
	系列数 (1系列:16,800m3/日) (2･3系列:22,100m3/日)		3系列 (1系列当り4池　計12池)		
	供用開始		平成2年3月		
北部中継ポンプ場	揚水量(m3/秒)		0.084	0.078	
	ポンプ能力		φ150×3.0m3/分×45kw×3台(1台予備)		
	供用開始		平成8年5月		

図１－１　鳥栖市公共下水道計画一般図



1.2　対象施設の選定理由

本計画の対象としている鳥栖市浄化センターは、平成２年３月に供用を開始し 21 年が経過した分流式の下水処理場であり、鳥栖市内の市街地を中心に、市域人口の約８割に相当する約 56,300 人の汚水処理を担っている。また、処理水の放流先である轟川、下流に位置する筑後川および市内河川の水質保全、市民生活環境の改善、公衆衛生の向上に欠くことの出来ない施設として貢献している。

鳥栖市浄化センターは供用開始以降これまで、定期的な日常点検や修繕を実施し、公共衛生の保全、良好な生活環境の保持という観点から市民生活に大きな支障が出ないようサービスの提供に努めてきたところである。

現在まで施設機能の維持のために、維持管理作業の中で各施設・設備のメンテナンスが適宜、適切に実施されてきたが、当初から設置されている施設・設備については、腐食等による損傷、異音・振動等を伴う機能の低下があらわれはじめ、施設機能、設備能力を損なう可能性が高まってきた状況にある。このような状況の中、今後増していくであろう施設・設備の老朽化対策のすべてを維持管理作業の中で対応することは困難であり、改築・更新が必要となっているものの、改築・更新に要する費用は多大となることから、限られた財源の中で、いかに効率的かつ経済的に機能を維持していくかが重要となる。

計画対象施設は、ポンプ設備、汚水沈砂設備、スクリーンかす設備、最初沈殿池設備、反応タンク設備、最終沈殿池設備、消毒設備、用水設備、ゲート設備、汚泥濃縮設備、汚泥輸送・前処理設備、汚泥消化タンク設備、汚泥脱水設備、脱臭設備、クレーン物あげ設備、調質設備、汚泥洗浄タンク設備、配管類、受変電設備、計測設備、監視制御設備、制御電源及び計装用電源設備、負荷設備、自家発電設備、ケーブル・配管類、土木付帯設備であり、主要部分に経年的な老朽化が認められるため、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小限化を図ることを目的に長寿命化計画を策定するものである。

なお、本浄化センターにおいては、平成 18 年度には従来型の改築基本計画を立案し、既に一部改築事業を実施している。改築事業の実施状況を整理すると以下のとおりである。

- 消化タンク設備は機械撹拌式に方式を変更し、平成 24 年度に改築完了予定。
- 脱硫器は H24 年度に改築完了予定（単純更新）。
- No1 汚泥脱水機は高効率スクリュープレス脱水機に方式を変更し、平成 24 年度に改築完了予定。
- 汚泥系の監視制御設備はシステムを変更して、平成 24 年度には改築完了予定。
- 機械の改築更新に伴い、運転操作設備、計装設備を平成 24 年度には改築完了予定。

1.3 施設概要

鳥栖市浄化センターの施設等の概要を示すとおりである。

（１）基本事項

今回対象の下水道終末処理施設である鳥栖市浄化センターは、下水排除方式として分流式を採用し、標準活性汚泥法を用いた汚水処理方式により処理した処理水を轟川へ放流を行っている。

稼働状況は、全体計画３系列 12 池の内、現在、２系列７池（処理能力 33,375 ㎥3／日　※調査時）が稼働中である。調査時点における下水道計画の概要、処理能力等（平成 23 年認可書より作成）については表１－２に記載するとおりである。

表１－２　鳥栖市浄化センター施設概要

			全体計画	認可計画	備考
目標年次			平成30年	平成26年	
処理方式			標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	
終末処理場	敷地面積（m^2）		72,600	72,600	
	処理能力（m^3／日）	流入水量	61,000	55,900	
		施設能力	61,000	61,000	
		系列数	３系列12池	３系列12池	
	流入水質	BOD(mg/ﾘｯﾄﾙ)	240	230	
		SS(mg/ﾘｯﾄﾙ)	220	210	
	放流水質	BOD(mg/ﾘｯﾄﾙ)	15	15	
		SS(mg/ﾘｯﾄﾙ)	40	40	
流入実績（平成23年度）		日平均	21,647m3/日		
		日最大	25,050m3/日		

出典：「鳥栖市公共下水道事業計画変更認可申請書　平成 23 年度」

（以下、「H23 年度変更認可申請書」と称す）

（２）施設計画緒元

１）名　　称　　鳥栖市浄化センター

２）位　　置　　佐賀県鳥栖市真木町字七田地内

３）敷地面積　　72,600m2

４）計画処理人口及び処理面積

	全体計画
計画処理人口（人）	75,000
計画処理面積（ha）	2,210

５）排除方式　　分流式

６）処理方式　　標準活性汚泥法

７）処理場の能力

	全体計画	現有能力
日平均汚水量（m3/日）	50,800	50,800
日最大汚水量（m3/日）	61,000	61,000
時間最大汚水量（m3/日）	86,000	86,000

８）計画流入水質、放流水質及び処理水質

	計画流入水質	計画放流水質	計画処理水質
ＢＯＤ（mg/ﾘｯﾄﾙ）	240	15	15
ＳＳ（mg/ﾘｯﾄﾙ）	220	－	40

９）放流先　　轟　木　川

10）供用開始　　平成２年３月

表１－３，４に鳥栖市浄化センターの施設計画概要を示す。

表１－３　鳥栖市浄化センター施設計画概要（水処理施設）

主要施設名称	構造寸法及び仕様	池数 全体計画	池数 認可計画	能力 項目	能力 全体計画	能力 認可計画	備考
流入ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ						
	φ400×20m³/分×14m×75ｋｗ	３台（内、1台予備）	３台（内、1台予備）				
	φ350×10m³/分×14m×75ｋｗ	２台		計画流量（m³/分）	59.7	54.9	
	水中ポンプ			ポンプ能力（m³/分）	60.0	58.0	予備含まず
	φ300×9m³/分×14m×37ｋｗ		２台				
最初沈殿池	池幅　7.0m	４池	４池	水面積負荷（m3/m2/日）	30.0	30.0	
	池長　20.0m			沈殿時間（時間）	2.4	2.4	
	有効水深　3.0m			越流負荷（m³/m/日）	250	250	
	池幅　8.6m	８池	８池	水面積負荷（m3/m2/日）	50.0	50.0	
	池長　13.4m			沈殿時間（時間）	1.5	1.5	
	有効水深　3.0m			越流負荷（m³/m/日）	250	250	
反応槽	池幅　7.3m	４池	４池	BOD-SS負荷（kgBOD/kgSS/日）	0.22	0.21	
	池長　38.5m			ＨＲＴ（時間）	8	8	
	有効水深　5.0m			汚泥日令（日）	6.1	6.4	
	池幅　8.8m	８池	８池	BOD-SS負荷（kgBOD/kgSS/日）	0.21	0.17	
	池長　36.5m			ＨＲＴ（時間）	8	8	
	有効水深　6.0m			汚泥日令（日）	6.3	7.5	
送風機設備	ルーツブロワ		２台				
	20m³/分			計画空気量（m³/分）	147	134	
	ターボブロワ	４台（内、1台予備）	３台（内、1台予備）	送風機能力（m³/分）	150	140	予備含まず
	40m³/分						
最終沈殿池	池幅　7.0m	４池	４池	水面積負荷（m3/m2/日）	21.0	21.0	
	池長　28.0m			沈殿時間（時間）	3.4	3.4	
	有効水深　3.0m			越流負荷（m³/m/日）	120	120	
	池幅　8.6m	８池	８池	水面積負荷（m3/m2/日）	19.0	17.0	
	池長　33.3m			沈殿時間（時間）	4.3	4.9	
	有効水深　3.5m			越流負荷（m³/m/日）	120	120	
塩素接触タンク	水路幅　2.5m	１水路	１水路	接触時間（分）	18.4	20.1	
	水路長　125m			注入率（㎎/ﾘｯﾄﾙ）	3	3	
	有効水深　2.5m						

表１－４　鳥栖市浄化センター施設計画概要（汚泥処理施設）

主要施設名称	構造寸法及び仕様	池数		能力			
		全体計画	認可計画	項目	全体計画	認可計画	備考
重力式濃縮槽	直径　7.5m	３槽	３槽	有効水面積（m^2）	133	133	
	水深　3.0m			固形物負荷（kg/m^2/日）	61	54	
機械濃縮設備	常圧浮上濃縮		１台	計画汚泥量（m^3/日）	1,680	1,317	
	６m^2/台			処理能力（m^3/日）	1,800	1,700	
	ベルト型ろ過濃縮機	３台	２台				
	30m^3/分						
汚泥消化タンク	加温高濃度１段消化	３槽	３槽	計画消化日数（日）	20	20	
	径15.5m×深20.0m			消化日数（日）	21	24	
ガスタンク	乾式ガスタンク						
	1,500m^3槽	２基	１基	計画貯留時間（時間）	12	12	
	1,100m^3槽		１基	貯留時間（時間）	13	12	
汚泥脱水機	ベルトプレス脱水機		２台	計画汚泥量（kg/日）	8,915	7,781	
	ろ幅　３m			処理能力（kg/日）	9,600	9,143	
	ｽｸﾘｭｰﾌﾟﾚｽ脱水機	６台	４台				
	280kg-DS/m/時						
汚泥貯留タンク	巾5.3m×長4.7m×深2.4m	２槽	２槽				
	巾5.0m×長5.5m×深2.0m	２槽	２槽	計画貯留時間（時間）	64	64	
	巾9.0m×長10.0m×深4.0m	２槽	２槽	貯留時間（時間）	66.3	76.1	

（3）作業項目

作業項目		H23 年度	H24 年度
長寿命化計画（調査）			
	長寿命化計画（基礎調査）	○	
	長寿命化計画（詳細調査）	○	
	現在の健全度の評価及び調査結果のとりまとめ	○	
長寿命化基本方針及び長寿命化計画等の策定			
	最適アクションの選定		○
	長寿命化計画基本方針の検討		○
	導入効果の検証		○
	更新及び長寿命化対象施設全体の集計・予算照合		○
	各種計画の策定		○

（4）対象施設

今回の長寿命化計画対象施設を表１－５，６、図１－２に示す。

表１－５　長寿命化計画対象施設・設備（機械・電気設備）

工種 / 調査対象	中分類	機械		電気			竣工年度	摘要
			付帯設備	動力	制御	計装		
管理棟	受変電設備	－			●		1988	
	電源設備	－			●		1989	
自家発電機室	自家発電設備	－			●		1989	
ポンプ棟	スクリーンかす設備	●	●	●	●	●	1989	
	汚水ポンプ設備	●	●	●	●	●	1989	
水処理施設（最初沈殿池）	最初沈殿池設備	●	●	●	●	●	1989	
	ゲート設備	●	●	●	●	●	1989	
水処理施設（反応タンク）	反応タンク設備	●	●	●	●	●	1989	
	ゲート設備	●	●	●	●	●	1989	
水処理施設（最終沈殿池）	最終沈殿池設備	●	●	●	●	●	1989	
	ゲート設備	●	●	●	●	●	1989	
塩素混和池	消毒設備	●	●	●	●	●	1993	
処理水再利用施設	用水設備	●	●	●	●	●	1989	
	ゲート設備	●	●	●	●	●	1989	
汚泥濃縮タンク	汚泥濃縮設備	●	●	●	●	●	1990	
汚泥消化タンク	加温設備	●	●	●	●	●	1995	
汚泥処理棟	調質設備	●	●	●	●	●	1995	
	汚泥脱水設備	●	●	●	●	●	1995	
	脱臭設備	●	●	●	●	●	1990	
	クレーン物あげ設備	●	●	●	●	●	1990	
送風機室	反応タンク設備	●	●	●	●	●	1989	
	クレーン物あげ設備	●	●	●	●	●	1989	

竣工年度は最も古いものを記載

表１－６　調査対象施設・設備（土木付帯）

工種 / 調査対象		土木	竣工年度	摘要
ポンプ棟		付帯設備	1988	覆蓋・タラップ・防食・手摺
水処理施設	初沈	付帯設備	1987	覆蓋・タラップ・手摺
	反応槽	付帯設備	1987	覆蓋・タラップ・手摺
	終沈	付帯設備	1987	覆蓋・タラップ・手摺
汚泥処理設備・濃縮タンク		付帯設備	1994	覆蓋・防食
汚泥処理設備・貯留タンク		付帯設備	1989	覆蓋・タラップ・防食・手摺

竣工年度は最も古いものを記載

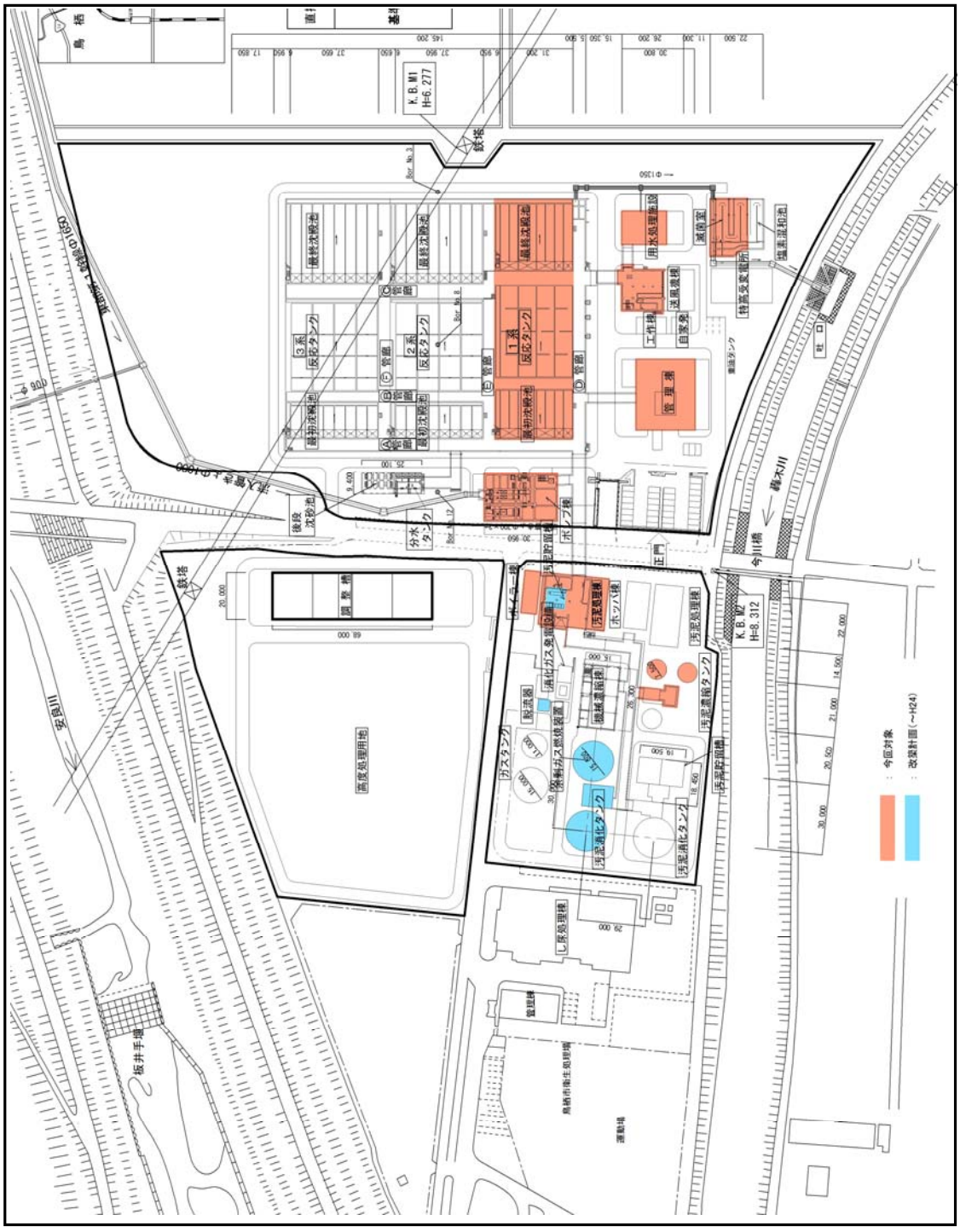


図１－２　今回計画対象施設位置図

２．調査及び診断の方法

2.1　調査診断の方針

調査診断の方針は、準拠すべき法規及び基準に加え、下記の関連通知及び事務連絡に従う。

【関係通達及び事務連絡】

・「社会資本整備総合交付金交付要綱」　平成 22 年 3 月 26 日付国官会第 2317 号
平成 24 年 4 月 6 日一部改正

・「社会資本整備総合交付金交付要綱（下水道事業）の運用について」
平成 22 年 4 月 1 日　国都下企第 65 号、国都下事第 536 号、国都下流第 50 号

・「下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)（平成 21 年度版）について」
平成 21 年 6 月 29 日事務連絡

・「下水道施設の改築について」　平成 15 年 6 月 19 日付国都下事第 77 号
国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課長通知
別表標準的耐用年数

・「下水道施設の改築に関する運用について」　平成 15 年 6 月 19 日事務連絡

・「下水道施設の改築に関する運用の留意事項について」
平成 19 年 1 月 23 日事務連絡
平成 19 年 7 月 13 日事務連絡

・「平成 21 年事業執行にあたっての国庫補助対象範囲の確認事項について」
平成 21 年 4 月 1 日事務連絡

・「下水道長寿命化計画について」
平成 23 年 2 月 15 日事務連絡

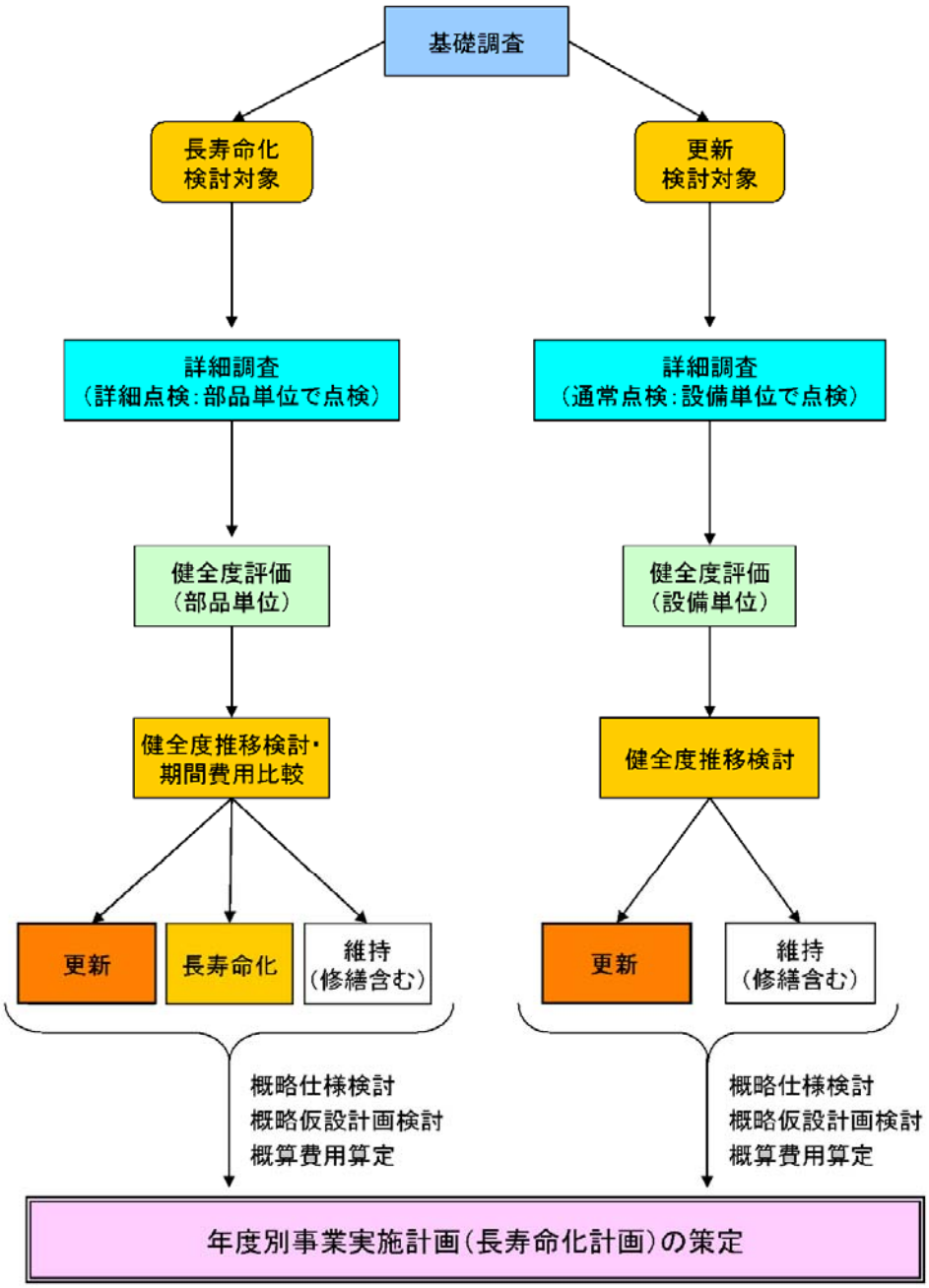
・「平成 24 年度事業執行にあたっての交付対象範囲の確認事項等について」
平成 24 年 4 月 6 日事務連絡

2.2　調査診断方法

「下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）」（国土交通省都市・地域整備局下水道部）に基づき、長寿命化計画策定に必要な情報の収集・整理、設備毎に管理方法等から長寿命化対策設備の選定、調査項目の整理を行った上で現地調査を行い、調査結果に基づき健全度評価を行う。

長寿命化計画の検討フローを以下に示す。

図２-１　下水道長寿命化計画の検討フロー



2.3　長寿命化対策検討設備の選定

下水道長寿命化計画の検討フローにしたがい対象設備の選定、長寿命化対策検討設備の選定を行う。

【情報収集・整理について】

事前準備では、図書（竣工図書・設備台帳・資産台帳・維持管理台帳等）から施設・設備リストを作成する。また、取得価格を工事設計書や工事台帳から情報収集し、その金額を整理するとともに、資産ごとの健全度評価や最適アクションの選定の際に必要となる部品ごとの修繕費や維持管理費を整理する。

既存のデータからの把握が困難な場合は、メーカー見積等の情報収集も行う。なお、事前準備で実施する既存情報の調査は、台帳や維持管理記録等の既存資料やヒアリングを行うことにより、長寿命化検討対象施設・設備を決定する上での参考資料とすることを目的とする。

既存情報は、大きく以下の情報に分類される。

表２－１　既存情報調査項目

既存情報の調査で確認する項目		
施設・設備情報	維持情報	その他の情報
・施設・設備能力、仕様 ・設置年度 ・改築年度 ・修繕年度 ・各年度の設置、改築、修繕の施設・設備名、内容、費用　等	・日常点検記録 ・定期点検記録 ・事故、故障、異常履歴 ・運転履歴 ・改築、修繕履歴　　等	・計画変更内容 ・段階整備計画内容 ・各種の技術基準、指針 ・現在の技術水準　　等

※「下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案) H21.6」を引用

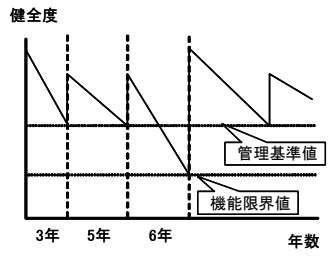
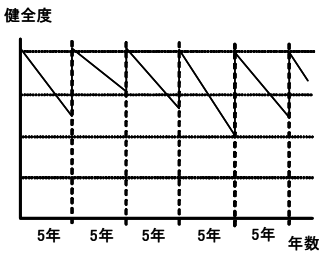
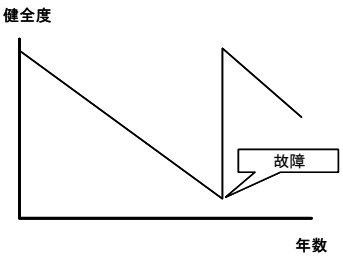
【概略調査について】

事前準備で作成した施設・設備リストに基づき現地調査を行い、リストを最終的なものとして完成させる。現地調査に当たっては、基礎調査計画書を作成し、調査に関する留意事項等を確認する。現地調査時には、対象施設の個別全景写真撮影を行い施設・設備リストの補完資料として取りまとめる。

【一次分類について】

基礎調査を通して、施設（設備）の一次分類を実施する。一次分類とは、対象となる施設を長寿命化検討対象施設と更新検討対象施設に分類するまでのことをいう。一次分類では、はじめに保全区分（管理方法）の分類を行うことになる。保全区分の分類にあたっては、施設・設備の建設コストや重要性、環境条件、使用状態に応じて、各施設・設備の保全区分を状態監視保全、時間計画保全、事後保全の 3 つに分類する。

表２－２　保全区分（管理方法）の例

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">予防保全</th><th rowspan="2">事後保全（更新型）</th></tr>
<tr><th></th><th>状態監視保全</th><th>時間計画保全</th></tr>
<tr><td>保全方法</td><td>施設・設備の状態に応じて保全を行う</td><td>施設・設備の状態を問わず、一定期間ごとに保全を行う</td><td>故障・異常の発生後に更新を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">適用の考え方</td><td colspan="2">・処理機能への影響が大きいもの（応急措置が困難なもの）に適用
・予算への影響が大きいものに適用
・安全性の確保が必要なものに適用</td><td rowspan="2">・処理機能への影響が小さいもの（応急措置が可能なもの）に適用
・予算への影響が小さいものに適用</td></tr>
<tr><td>・劣化の予兆が測れるものに適用</td><td>・劣化の予兆が測れないものに適用
・法で定期保全が義務付けられているものに適用</td></tr>
<tr><td>特徴</td><td>・予兆を把握するための情報が多く必要</td><td>・費用が高くなる可能性がある</td><td>・点検作業が少なくてすむ</td></tr>
<tr><td>健全度イメージ</td><td> 
</td><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>長寿命化検討対象</td><td>・基本的に長寿命化対策検討対象設備</td><td colspan="2">・基本的に長寿命化対策検討対象外設備</td></tr>
</table>

※「下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)H21.6」を引用

【施設の保全区分】

各施設・設備の保全区分を以下に基づいて分類する。

（１）　土木の保全区分

土木施設のうち、躯体・内部防食等については、構造物の耐久性（劣化作用への抵抗性）に係る部位となるため、「状態監視保全」となる。その他の資産については、構造物の耐久性への影響も少なく、かつ応急対応が可能なことから、「事後保全」とする。

（２）　機械設備の保全区分

機械設備においては、法定点検が必要なものは少なく、ほとんどの設備が「状態監視保全」と「事後保全」に分類されるが、建設コストや重要性を考慮してきた過去の実績を元に保全区分を分類する。

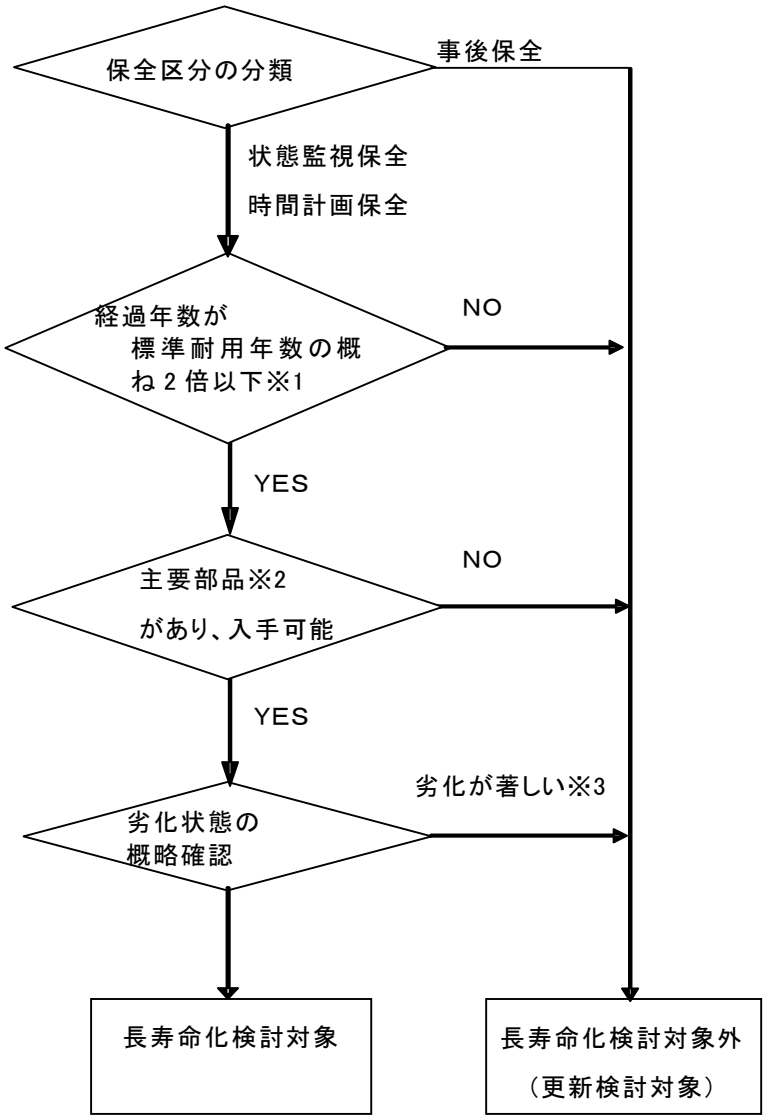
（３）　電気設備の保全区分

電気設備については、一般的に「時間計画保全」とし、蓄電池盤と原動機については「状態監視保全」とする。計装設備（流入・放流に係る重要性の高い設備は「時間計画保全」)、配管・ラック・ダクト等、自家発電設備の補機的な設備については「事後保全」とする。

【長寿命化検討対象設備の選定】

分類した保全区分から、以下のフローに従い長寿命化検討対象設備の選定を行う。

図２－２　長寿命化検討対象設備の選定フロー



※1　ここでの「長寿命化検討対象外とする経過年数」については、過去の維持管理実績およびメーカーヒアリング等から設定した。

※2　主要部品とは、処分制限期間以上の継続使用が期待でき、設備全体の長寿命化に寄与できる部品を指す。

※3　ここでの「劣化が著しい状態」とは、劣化状況が著しく、小分類単位での更新が不可避な程度の物理劣化が見られる状態をいう。

※「下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)H21.6」を引用

2.4　一次分類結果

一次分類結果表を次ページに表で示す。

一次分類表 機械設備 (1/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
1	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
2	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
3	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
4	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
5	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
6	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
7	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
8	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
9	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
10	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
11	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
12	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
13	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
14	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
15	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	ﾎﾟﾝﾌﾟ井連絡ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
16	ｽｸﾘｰﾝかす設備	自動除塵機	No.1自動除塵機	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
17	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
18	汚水沈砂設備	沈砂分離機	ｻｲｸﾛﾝ	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
19	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.1し渣搬出機	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
20	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.2し渣搬出機	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
21	汚水沈砂設備	沈砂洗浄機	沈砂し渣洗浄機	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
22	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2001	10	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
23	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ分離機	ｽｶﾑ分離機	2001	10	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
24	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
25	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
26	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.1ｶﾗ3用)	1988	23	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
27	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4用)	1992	19	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
28	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.5用)	1992	19	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
29	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4ｶﾗ5横行用)	1992	19	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
30	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置	1988	23	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
31	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	沈砂し渣吊上装置	1988	23	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表 機械設備 (2/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
32	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
33	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1A最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
34	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1B最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
35	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
36	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
37	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
38	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	ﾊﾞｲﾊﾟｽ可動堰	1989	22	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
39	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
40	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
41	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
42	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
43	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4初沈汚泥掻寄機	1996	15	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
44	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
45	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
46	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
47	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
48	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
49	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
50	配管類	電動弁	No.1-1A初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
51	配管類	電動弁	No.1-1B初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
52	配管類	電動弁	No.1-2初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
53	配管類	電動弁	No.1-3初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
54	配管類	電動弁	No.1-4初沈汚泥引抜弁	1996	15	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
55	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
56	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
57	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
58	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1988	23	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
59	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
60	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
61	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1996	15	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
62	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1返送汚泥流入可動堰	1988	23	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表 機械設備 (3/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
63	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
64	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
65	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4返送汚泥流入可動堰	1996	15	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
66	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
67	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
68	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
69	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
70	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
71	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
72	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
73	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
74	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
75	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
76	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
77	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
78	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1988	23	10	状態監視	超過	-	-	長寿命化検討対象外	通常
79	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
80	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
81	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
82	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
83	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
84	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
85	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
86	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1A終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
87	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1B終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
88	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-2終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
89	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-3終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
90	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-4終沈流入ｹﾞｰﾄ	1996	15	25	事後	-	-	-	長寿命化検討対象外	通常
91	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
92	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
93	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細

一次分類表 機械設備 (4/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
94	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
95	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4終沈汚泥掻寄機	1996	15	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
96	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
97	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
98	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
99	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
100	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
101	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
102	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
103	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
104	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
105	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
106	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
107	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
108	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
109	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
110	配管類	電動弁	No.1-1終沈汚泥引抜弁	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
111	配管類	電動弁	No.1-2終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
112	配管類	電動弁	No.1-3終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
113	配管類	電動弁	No.1-4終沈汚泥引抜弁	1996	15	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
114	配管類	電動弁	No.1-1返送汚泥流量調整弁	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
115	配管類	電動弁	No.1-2返送汚泥流量調整弁	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
116	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
117	反応タンク設備	送風機本体	No.1送風機	1988	23	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
118	反応タンク設備	送風機本体	No.2送風機	1988	23	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
119	反応タンク設備	送風機本体	No.4送風機	1993	18	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
120	反応タンク設備	吐出弁	No.4送風機吐出弁	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
121	反応タンク設備	送風機本体	No.5送風機	1993	18	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
122	反応タンク設備	吐出弁	No.5送風機吐出弁	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
123	反応タンク設備	送風機本体	No.1送風機用電動機	1988	23	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
124	反応タンク設備	送風機本体	No.2送風機用電動機	1988	23	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細

一次分類表 機械設備 (5/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下	経過年数が対象部品の長寿命化有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
125	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.4送風機用電動機	1993	18	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
126	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.5送風機用電動機	1993	18	20	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
127	反応ﾀﾝｸ設備	湿式ﾌｨﾙﾀ	No.2空気ろ過器	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
128	配管類	仕切弁	増設用弁(1)	1993	18	30	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
129	配管類	仕切弁	増設用弁(2)	2004	7	30	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
130	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
131	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
132	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井ｸﾚｰﾝ	1993	18	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
133	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	送風機吊上装置	1988	23	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
134	用水設備	ろ過機	No.1砂ろ過器	1988	23	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
135	用水設備	ろ過機	No.2砂ろ過器	1988	23	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
136	用水設備	ろ過機	No.3砂ろ過器	2001	10	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
137	用水設備	ろ過機	No.4砂ろ過器	2001	10	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
138	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
139	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
140	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
141	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
142	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
143	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
144	用水設備	自動給水装置	自動給水装置	1989	22	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
145	用水設備	自動給水装置	散水用給水装置	1989	22	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
146	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
147	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
148	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
149	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ(小)	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
150	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.1原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
151	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.2原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
152	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.3原水ｽﾄﾚｰﾅ	2001	10	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
153	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
154	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.2原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
155	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝ	原水ｽｸﾘｰﾝ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表 機械設備 (6/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
156	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
157	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
158	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
159	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
160	配管類	空気作動弁	No.1空気圧縮機	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
161	配管類	空気作動弁	No.2空気圧縮機	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
162	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
163	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
164	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
165	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
166	消毒設備	薬品注入機	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
167	消毒設備	薬品注入機	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
168	消毒設備	薬品注入機	No.3次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
169	消毒設備	薬品注入機	No.4次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2008	3	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
170	消毒設備	薬品注入機	No.1用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
171	消毒設備	薬品注入機	No.2用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
172	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
173	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
174	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	混和池ﾊﾞｲﾊﾟｽｹﾞｰﾄ	1989	22	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
175	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	放流ｹﾞｰﾄ	1989	22	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
176	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.1濃縮汚泥掻寄機	1990	21	15	状態監視	○	有	大	長寿命化検討対象外	通常
177	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.2濃縮汚泥掻寄機	1994	17	15	状態監視	○	有	大	長寿命化検討対象外	通常
178	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
179	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
180	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
181	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
182	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
183	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
184	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	濃縮棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
185	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2002	9	15	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
186	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｭｰｺﾝﾍﾞﾔ	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ	2002	9	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　機械設備　(7/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
187	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1汚泥分配可動堰	1994	17	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
188	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.2汚泥分配可動堰	1994	17	25	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
189	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす洗浄機	汚泥ｽｸﾘｰﾝ(新)	2002	9	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
190	汚泥輸送･前処理設備	貯留装置	汚泥ｽｸﾘｰﾝ用ｺﾝﾃﾅ	2002	9	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
191	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	機器搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯｸ	1990	21	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
192	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	消化棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
193	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1消化ｶﾞｽ昇圧ﾌﾞﾛﾜ	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
194	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗｰ	1994	17	8	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
195	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
196	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
197	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
198	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
199	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
200	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
201	配管類	送気	ｽﾁｰﾑﾍｯﾀﾞｰ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
202	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	原水ﾀﾝｸ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
203	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水化装置	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
204	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水ﾀﾝｸ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
205	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	ｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ(重油)	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
206	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	地下重油貯蔵ﾀﾝｸ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
207	配管類	排水	缶水受桝	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
208	配管類	電動弁	No.1受水槽入口弁	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
209	配管類	電動弁	No.2受水槽入口弁	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
210	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
211	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
212	配管類	電動弁	No.1消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
213	配管類	電動弁	No.2消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
214	汚泥貯留設備	機械式撹拌機	No.1汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
215	汚泥貯留設備	機械式撹拌機	No.2汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
216	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
217	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表 機械設備 (8/8)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	対象部品の長寿命化有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
218	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
219	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
220	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1空気圧縮機	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
221	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2空気圧縮機	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
222	汚泥脱水設備	ﾍﾞﾙﾄｺﾝﾍﾞﾔ	No.2脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
223	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1除湿機	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
224	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2除湿機	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
225	脱臭設備	活性炭吸着装置	吸着塔	1990	21	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
226	脱臭設備	ﾌｧﾝ	脱臭ﾌｧﾝ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
227	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	ﾐｽﾄｾﾊﾟﾚｰﾀ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
228	汚泥輸送･前処理設備	貯留装置	ｹｰｷﾎｯﾊﾟｰ	1990	21	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
229	給排水･衛生･ｶﾞｽ設備	受水槽･高架水槽	高架水ﾀﾝｸ	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
230	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井走行ｸﾚｰﾝ	1990	21	20	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
231	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	No.3脱水機	1994	17	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
232	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
233	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
234	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
235	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
236	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
237	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
238	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ	2002	9	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
239	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ撹拌機	2002	9	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
240	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給機	2002	9	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
241	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	薬品搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯ	1990	21	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
242	配管類	送泥	水処理鋳鉄管	1989	22	30	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
243	配管類	給水	水処理鋳鉄管以外	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
244	配管類	給水	用水鋳鉄管以外	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
245	配管類	送泥	汚泥処理鋳鉄管	1990	21	30	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
246	配管類	給水	汚泥処理鋳鉄管以外	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
247	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	脱臭ﾀﾞｸﾄ	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(1/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	経過年数が標準耐用年数の概ね2倍以下	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
248	受変電設備	柱上開閉器	柱上気中開閉器	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
249	計測設備	雨量計	雨量計	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
250	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	風向.風速計	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
251	受変電設備	低圧主幹盤	分電盤	1989	22	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
252	監視制御設備	計装計器盤	計装盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
253	監視制御設備	補助リレー盤	中継端子盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
254	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
255	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
256	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(3)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
257	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(4)	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
258	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(5)	2004	7	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
259	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾛｷﾞﾝｸﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
260	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
261	監視制御設備	CRT操作卓	CRT監視操作卓	2004	7	10	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
262	監視制御設備	CRT操作卓	CRT操作卓	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
263	監視制御設備	監視盤	受変電監視操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
264	監視制御設備	監視盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ.ﾌﾞﾛﾜ監視操作卓	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
265	監視制御設備	監視盤	1系水処理監視操作卓	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
266	監視制御設備	監視ｺﾝﾄﾛｰﾗ	監視制御ｺﾝﾄﾛｰﾗ盤	2004	7	10	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
267	監視制御設備	ﾊﾟｿｺﾝ応用装置	ﾌﾟﾘﾝﾀ	2004	7	7	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
268	受変電設備	断路器盤	引込盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
269	受変電設備	断路器盤	受電盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
270	受変電設備	遮断器盤	No.1照明一次盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
271	受変電設備	遮断器盤	No.1動力一次盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
272	受変電設備	遮断器盤	母連盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
273	受変電設備	断路器盤	発電機引込盤	1993	18	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
274	受変電設備	遮断器盤	No.2照明1次盤	1993	18	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
275	受変電設備	遮断器盤	No.2動力1次盤	1993	18	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
276	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-2_400V主幹盤	2002	9	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
277	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	2001	10	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
278	受変電設備	変圧器盤	No.2動力ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(2/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下 経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
279	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-1_400V主幹盤	1993	18	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
280	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.1-2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
281	受変電設備	低圧主幹盤	No.1-1_400V主幹盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
282	受変電設備	変圧器盤	No.1動力ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
283	受変電設備	変圧器盤	No.2照明ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
284	受変電設備	変圧器盤	No.1照明ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
285	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	蓄電池盤	1989	22	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
286	制御電源及び計装用電源設備	充電器盤	充電器盤	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
287	制御電源及び計装用電源設備	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
288	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	No.1始動用直流電源盤	1989	22	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
289	自家発電設備	補機盤	No.1発電機補機盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
290	自家発電設備	発電機盤	No.1発電機盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
291	自家発電設備	自動始動盤	No.1自動始動盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
292	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料小出槽	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
293	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
294	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
295	自家発電設備	発電機	発電機	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
296	自家発電設備	原動機	原動機	1989	22	15	状態監視	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
297	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	排気ﾌｧﾝ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
298	自家発電設備	消音器	排気消音器	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
299	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	換気ﾌｧﾝ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
300	自家発電設備	給気ﾌｧﾝ	給気ﾌｧﾝ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
301	自家発電設備	消音器	1次排気消音器	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
302	自家発電設備	消音器	2次排気消音器	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
303	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料貯留ﾀﾝｸ	1989	22	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
304	監視制御設備	現場盤	燃料貯留ﾀﾝｸ液位計盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
305	監視制御設備	現場盤	給油ﾎﾞｯｸｽ	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
306	監視制御設備	計装計器盤	沈砂池ﾎﾟﾝﾌﾟ棟計装変換器盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
307	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
308	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	2004	7	10	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
309	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	沈砂池設備補助継電器盤(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(3/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象化	点検種別
310	監視制御設備	補助リレー盤	沈砂池設備補助継電器盤(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
311	監視制御設備	補助リレー盤	No.1_3主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
312	監視制御設備	補助リレー盤	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
313	監視制御設備	補助リレー盤	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
314	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
315	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
316	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
317	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	2004	7	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
318	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
319	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
320	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
321	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
322	負荷設備	回転数制御装置	No.4汚水ﾎﾟﾝﾌﾟVVVF盤	2004	7	10	時間計画	○	有	小	長寿命化検討対象	詳細
323	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
324	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
325	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2004	7	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
326	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
327	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
328	監視制御設備	現場盤	No.3_5汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
329	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
330	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室作業用電源盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
331	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
332	監視制御設備	現場盤	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
333	監視制御設備	現場盤	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
334	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
335	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ切替盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
336	監視制御設備	現場盤	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
337	監視制御設備	現場盤	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
338	監視制御設備	現場盤	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
339	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
340	監視制御設備	現場盤	No.1_2自動除塵機現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(4/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
341	監視制御設備	現場盤	No.1_2ｽｶﾑ分離機現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
342	監視制御設備	現場盤	沈砂し渣洗浄機.し渣搬出機現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
343	監視制御設備	現場盤	し渣脱水機現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
344	計測設備	流量計	No.1初沈流入流量	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
345	計測設備	流量計	No.2初沈流入流量	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
346	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	流入渠水位計	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
347	監視制御設備	現場盤	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
348	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
349	監視制御設備	現場盤	No.3沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
350	計測設備	流量計	放流水流量	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
351	監視制御設備	現場盤	塩素混和池電源盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
352	監視制御設備	現場盤	次亜塩補給盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
353	計測設備	流量計	次亜塩注入流量	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
354	監視制御設備	現場盤	次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
355	監視制御設備	現場盤	用水設備次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
356	監視制御設備	現場盤	No.3_5次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
357	監視制御設備	補助リレー盤	1系初沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
358	監視制御設備	補助リレー盤	1系初沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
359	監視制御設備	補助リレー盤	1系終沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
360	監視制御設備	補助リレー盤	1系終沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
361	監視制御設備	補助リレー盤	1系終沈補助継電器盤(3)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
362	監視制御設備	補助リレー盤	No.1_3送風機補助継電器盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
363	監視制御設備	補助リレー盤	消毒.用水補助継電器盤(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
364	監視制御設備	補助リレー盤	消毒.用水補助継電器盤(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
365	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
366	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
367	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
368	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1996	15	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
369	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
370	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
371	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(5/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
372	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
373	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
374	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
375	負荷設備	回転数制御装置	VVVF盤	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
376	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
377	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
378	監視制御設備	計装計器盤	1系水処理計装変換器盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
379	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(1)	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
380	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	1989	22	10	時間計画	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
381	監視制御設備	現場盤	No.1_3送風機現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
382	監視制御設備	現場盤	No.1-1A初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
383	監視制御設備	現場盤	No.1-1B初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
384	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
385	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
386	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
387	監視制御設備	現場盤	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
388	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
389	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
390	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
391	計測設備	DO計	No.1ｴｱﾀﾝDO	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
392	計測設備	MLSS計	No.1ｴｱﾀﾝMLSS	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
393	計測設備	DO計	No.1-2ｴｱﾀﾝDO	1996	15	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
394	計測設備	MLSS計	No.1-2ｴｱﾀﾝMLSS	1996	15	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
395	監視制御設備	現場盤	No.1-1A終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
396	監視制御設備	現場盤	No.1-1B終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
397	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
398	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
399	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
400	監視制御設備	現場盤	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
401	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
402	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(6/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
403	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
404	監視制御設備	現場盤	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
405	計測設備	濃度計	No.1初沈汚泥濃度計	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
406	計測設備	流量計	初沈汚泥引抜流量	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
407	監視制御設備	現場盤	初沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
408	監視制御設備	現場盤	No.1-3_4初沈汚泥引抜弁現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
409	監視制御設備	現場盤	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
410	計測設備	温度計	曝気風量温度	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
411	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量圧力	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
412	監視制御設備	現場盤	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
413	計測設備	流量計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
414	計測設備	流量計	No.1-2ｴｱﾀﾝ送風量	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
415	監視制御設備	現場盤	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
416	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
417	計測設備	濃度計	No.1-1返送汚泥濃度	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
418	計測設備	濃度計	No.1-2返送汚泥濃度計	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
419	計測設備	流量計	No.1-2返送汚泥流量	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
420	計測設備	流量計	No.1-1終沈汚泥引抜流量	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
421	計測設備	流量計	返送汚泥引抜流量	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
422	計測設備	流量計	No.1-2終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
423	計測設備	流量計	No.1-3終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
424	計測設備	流量計	No.1-4終沈汚泥引抜流量	1996	15	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
425	監視制御設備	現場盤	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
426	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜(2)現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
427	監視制御設備	現場盤	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
428	監視制御設備	現場盤	用水設備現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
429	監視制御設備	現場盤	No.1_2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
430	監視制御設備	現場盤	送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
431	監視制御設備	現場盤	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
432	監視制御設備	現場盤	潤滑油ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
433	計測設備	流量計	No.5送風機吸込風量	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(7/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	経過年数が標準耐用年数の概ね2倍以下	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
434	計測設備	流量計	No.4送風機吸込風量	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
435	監視制御設備	現場盤	No.5送風機計器盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
436	監視制御設備	現場盤	No.5送風機現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
437	監視制御設備	現場盤	No.4送風機計器盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
438	監視制御設備	現場盤	No.4送風機現場操作盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
439	監視制御設備	計装計器盤	送風機棟計装変換器盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
440	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	送風機棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1993	18	10	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
441	監視制御設備	補助リレー盤	送風機設備補助継電器盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
442	監視制御設備	補助リレー盤	消毒用水設備(3)補助継電器盤	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
443	監視制御設備	補助リレー盤	消毒.用水補助継電器盤(4)	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
444	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
445	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
446	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
447	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
448	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
449	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
450	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	2004	7	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
451	監視制御設備	現場盤	砂ろ過器現場操作盤	1989	22	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
452	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	砂ろ過水槽水位(1)	1989	22	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
453	監視制御設備	現場盤	No.3_5砂ろ過器現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
454	監視制御設備	現場盤	用水上部作業用電源盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
455	監視制御設備	現場盤	No.3_5原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
456	監視制御設備	現場盤	No.3_4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
457	監視制御設備	現場盤	砂ろ過送水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
458	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
459	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
460	監視制御設備	現場盤	洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
461	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
462	監視制御設備	現場盤	用水管廊作業用電源盤	2001	10	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
463	計測設備	流量計	砂ろ過送水流量	2001	10	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
464	監視制御設備	現場盤	連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(8/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
465	監視制御設備	現場盤	濃縮管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
466	計測設備	濃度計	重力汚泥濃度	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
467	計測設備	流量計	濃縮汚泥量	1990	21	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
468	監視制御設備	現場盤	濃縮汚泥引抜現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
469	監視制御設備	現場盤	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ現場操作盤	2002	9	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
470	監視制御設備	現場盤	汚泥ｽｸﾘｰﾝ現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
471	監視制御設備	現場盤	No.1濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
472	監視制御設備	現場盤	No.2濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
473	監視制御設備	現場盤	重油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
474	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
475	監視制御設備	現場盤	原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
476	監視制御設備	現場盤	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗ制御盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
477	計測設備	濃度計	ばい煙濃度	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
478	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ炉内圧力	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
479	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ圧力	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
480	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給水流量積算計	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
481	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給油流量積算計	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
482	計測設備	温度計	ﾎﾞｲﾗｰ排気ｶﾞｽ温度	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
483	計測設備	温度計	油温度	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
484	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	油圧力	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
485	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
486	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
487	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(1)	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
488	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(2)	2002	9	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
489	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2),ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
490	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2),ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
491	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2),ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
492	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2),ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤(2)	2002	9	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
493	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥処理中継端子盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
494	計測設備	流量計	No.3脱水機供給汚泥流量	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
495	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　電気　(9/9)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数の概ね2倍以下経過年数が	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
496	監視制御設備	現場盤	脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
497	計測設備	流量計	No.3薬品供給量	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
498	監視制御設備	現場盤	No.3_4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
499	監視制御設備	現場盤	No.5薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
500	監視制御設備	現場盤	No.3薬品供給設備現場操作盤	2002	9	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
501	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ液位計	2002	9	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
502	監視制御設備	現場盤	脱臭ﾌｧﾝ現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
503	監視制御設備	現場盤	汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
504	監視制御設備	現場盤	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
505	監視制御設備	現場盤	No.5汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
506	監視制御設備	現場盤	No.3_4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
507	監視制御設備	現場盤	No.3_4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
508	監視制御設備	現場盤	脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	時間計画	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
509	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線1	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
510	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線2	1990	21	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
511	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線3	1988	23	15	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
512	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
513	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
514	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	重油ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
515	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ水位	1994	17	10	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　土木　(1/3)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数が耐用年数の概ね2倍以下	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
516	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
517	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最初沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
518	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最初沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
519	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最初沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
520	付帯設備	簡易覆蓋	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最初沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
521	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
522	付帯設備	内部防食	内部防食_1系最初沈殿池	1987	24	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
523	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
524	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
525	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋(ｽﾗｲﾄﾞ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
526	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
527	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
528	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
529	付帯設備	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
530	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
531	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
532	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
533	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
534	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
535	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
536	付帯設備	簡易覆蓋	ｱﾙﾐ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
537	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽外部	1989	22	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
538	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
539	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
540	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
541	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽外部	1989	22	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
542	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
543	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
544	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
545	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_汚泥処理棟B1F汚泥貯留槽	1989	22	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
546	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　土木　(2/3)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数が耐用年数の概ね2倍以下	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
547	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
548	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
549	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
550	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
551	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
552	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
553	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
554	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
555	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
556	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
557	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
558	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
559	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
560	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
561	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	状態監視	○	無	－	長寿命化検討対象外	通常
562	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
563	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
564	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
565	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬入室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
566	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
567	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
568	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
569	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
570	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
571	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
572	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
573	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室外部	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
574	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
575	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
576	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
577	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

一次分類表　土木　(3/3)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	保全区分	標準耐用年数が概ね2倍以下	長寿命化対象部品の有無	劣化状態の概略確認	基礎調査の結果	
											長寿命化検討対象	点検種別
578	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
579	付帯設備	手摺	手摺(SUS)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
580	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
581	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
582	付帯設備	簡易覆蓋	縞鋼板_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
583	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
584	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
585	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
586	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
587	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F流入水路上部	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
588	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常
589	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	10	状態監視	超過	－	－	長寿命化検討対象外	通常
590	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	事後	－	－	－	長寿命化検討対象外	通常

３．詳細調査

3.1　通常点検及び詳細点検の概要

長寿命化検討対象設備の選定で、長寿命化検討対象設備となった資産は詳細調査において「詳細点検」を行い、長寿命化検討対象外（更新検討対象）資産は「通常点検」を行う。

通常点検：　設備単位の調査を行う。設備全体の劣化状況（錆や損傷、振動や異音)、電流値（管理値かどうか)、動作状況などを確認項目とする。

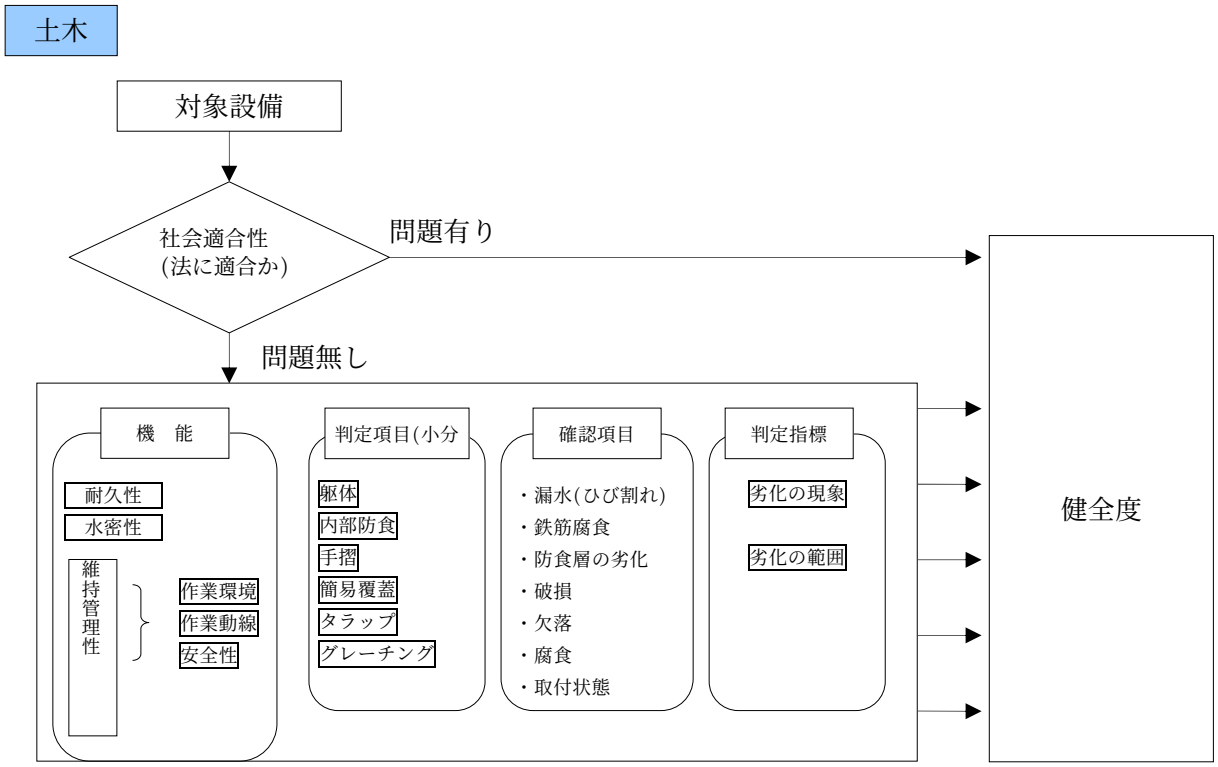
設備単位で確認項目ごとの判定値における最低値を健全度として採用する。

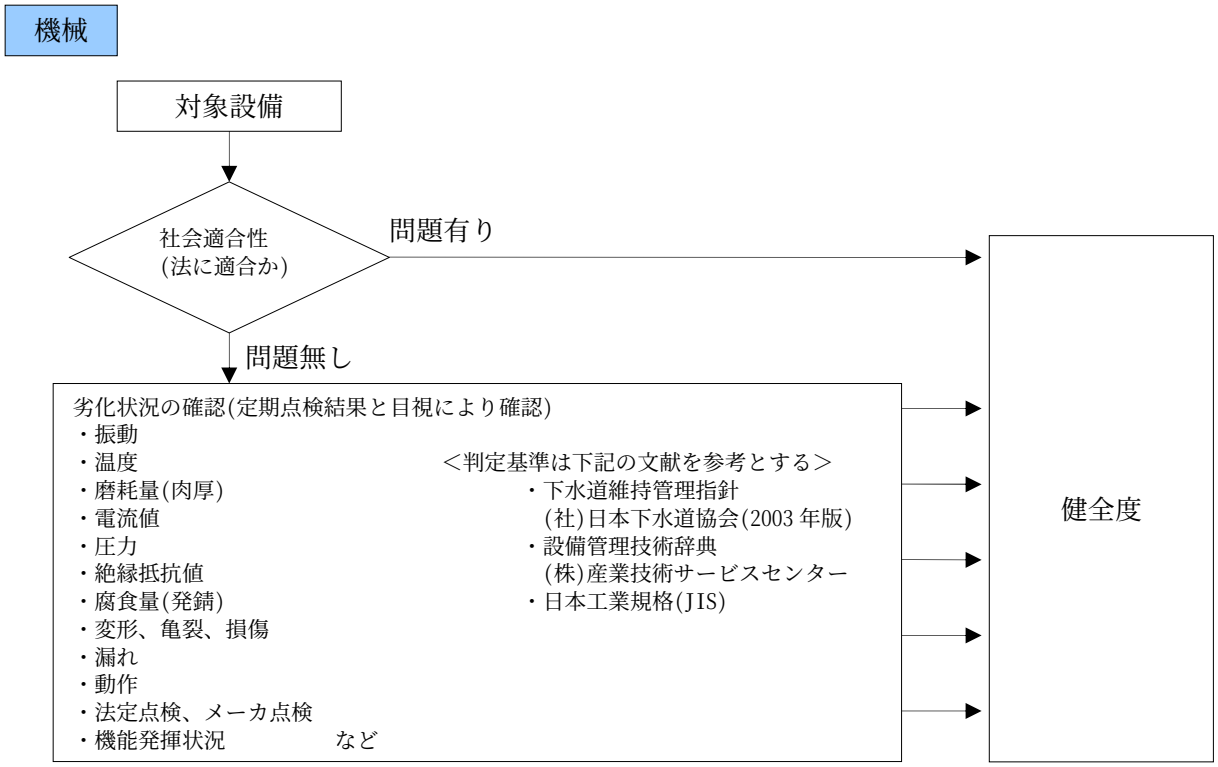
詳細点検：　主要部品単位の調査を行う。部品毎に錆や損傷、振動や異音などを確認項目とする。

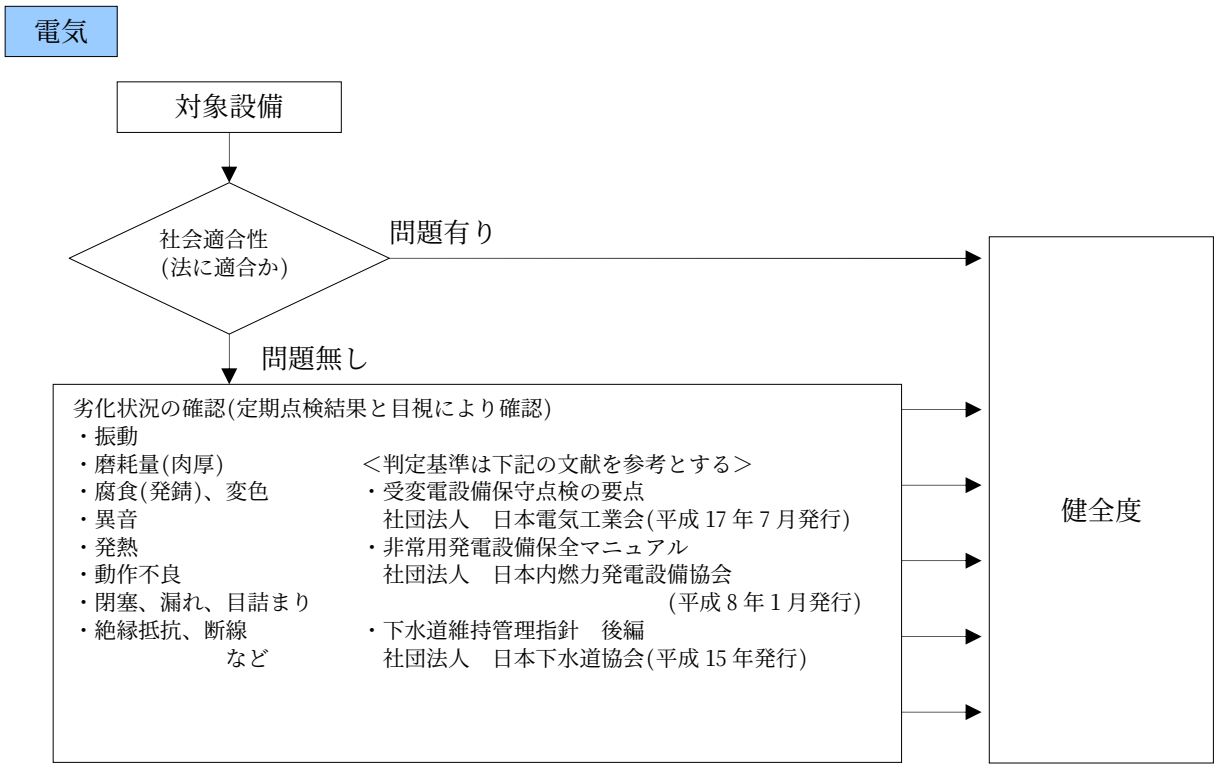
部品ごとの健全度の判定を行い、設備単位では構成部品の重要性を勘案して健全度を算定する。

3.2　健全度判定項目･判定基準項目

基礎調査で作成したリストに基づき、個々の施設･設備について現在の健全度を把握するため現地調査を行う。健全度判定項目･判定基準の検討項目は以下のとおりである。







※「下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)H20.4」を引用

3.3　健全度判定方法

劣化状況を数値化した指標として、健全度を使用する。健全度は、評価する対象物が有する機能、社会適合性の状態を表す指標である。

健全度判定の対象施設・設備が、社会適合性を有していない場合、即ち法に適合していない場合は使用不可であると判定し、健全度１とする。

社会適合性を有していれば、施設・設備毎に診断項目を設定し、判断基準に沿って劣化状況等による判定を行い、5 段階で健全度を評価する。

設備単位の健全度判定区分

判定区分	運転状態	措置方法
5 (4.1～5.0)	設置当初の状態で機能上問題ない。	措置は不要。
4 (3.1～4.0)	設備として安全運転ができ、機能上問題ないが、劣化の兆候が現れ始めた状態。	措置は不要。 部品交換等。
3 (2.1～3.0)	設備として劣化が進行しているが、機能は確保できる状態。機能回復が可能。	部品交換等の長寿命化対策により機能回復する。
2 (1.1～2.0)	設備として機能が発揮できない状態。機能回復が困難。※	精密点検や設備の更新等、 大きな措置が必要。
1 (1.0)	動かない。機能停止。	設備の更新等、大きな措置が必要。

※過去の経験に基づく以下の時期または状態を含む。

1．いつ機能停止してもおかしくない時期を越えた時期。

2．長寿命化計画策定期間中に機能が発揮できなくなることが予測される機能低下の状態。

3．機能回復するための部品が無い状態。

～健全度判定区分例：設備～

判定区分	運転状態	劣化状況
5 (4.1～5.0)	設置当初の状態で機能上問題ない。	―
4 (3.1～4.0)	安全運転ができ、機能上問題ないが、劣化の兆候が現れ始めた状態。	 No１　空気圧縮機
3 (2.1～3.0)	劣化が進行しているが､機能は確保できる状態。 機能回復が可能。	 No２　揚水ポンプ
2 (1.1～2.0)	設備として機能を発揮できない状態。 機能回復が困難。	 No1-1B　初沈流入可動堰
1 (1.0)	動かない。機能停止。	―

主要部品単位の健全度判定区分

判定区分	運転状態	措置方法
5 (4.1～5.0)	部品として設置当初の状態で機能上問題ない。	措置は不要。
4 (3.1～4.0)	部品の機能上問題ないが、 劣化の兆候が現れ始めた状態。	措置は不要。要観察。
3 (2.1～3.0)	部品として劣化が進行しているが、 機能は確保できる状態。機能回復が可能。	部品補修により 機能回復する。
2 (1.1～2.0)	部品として機能を発揮できない状態で、設備としての機能への影響がでている。 機能回復が困難。※	交換が必要。
1 (1.0)	著しい劣化。 設備の機能停止。	ただちに交換が必要。

※過去の経験に基づく以下の時期または状態を含む。

1．いつ機能停止してもおかしくない時期を越えた時期。

2．長寿命化計画策定期間中に機能が発揮できなくなることが予測される機能低下の状態。

土木の健全度判定区分

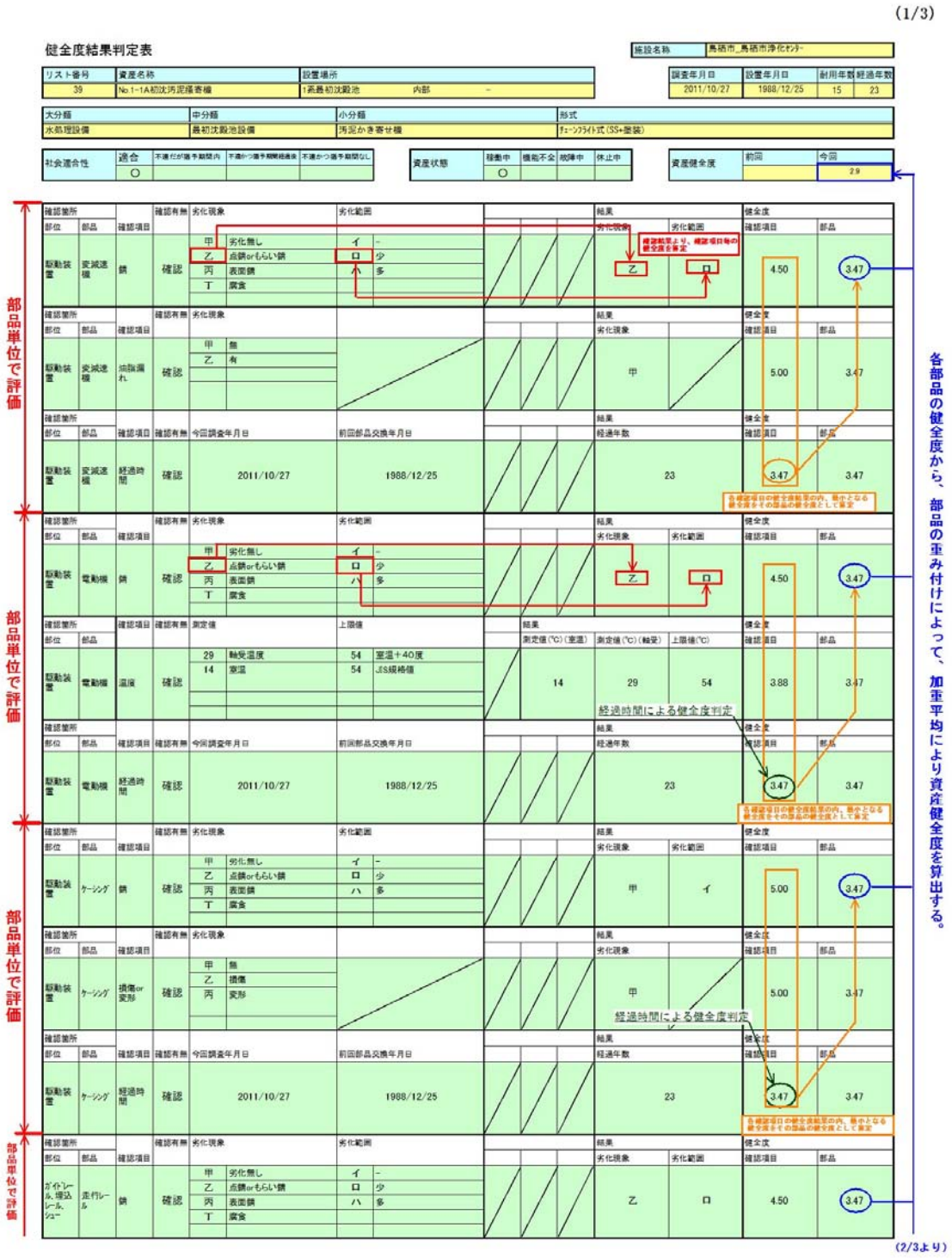
判定区分	運転状態	措置方法
5 (4.1～5.0)	設置当初の状態で機能上 問題ない。	措置は不要。
4 (3.1～4.0)	機能上問題ないが、 劣化の兆候が現れ始めた状態。	措置は不要。 (維持管理で対応可能)
3 (2.1～3.0)	劣化が進行しているが、 機能は確保できる状態。	劣化が進行。 修繕により機能回復する。
2 (1.1～2.0)	機能しているが、劣化の進行度合いが、 大きい状態。(所定の機能不足等)	更新または、 大規模な修繕が必要。
1 (1.0)	機能が果たせない状態。 (機能停止や長期使用に耐えられない状態等)	更新が必要。

※「下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)H21.6」を引用

～健全度判定区分例：土木～

判定区分	運転状態	劣化状況
5 (4.1～5.0)	設置当初の状態で機能上問題ない。	－
4 (3.1～4.0)	機能上問題ないが、劣化の兆候が現れ始めた状態。	 タラップ　１系最初沈殿池
3 (2.1～3.0)	劣化が進行しているが、機能は確保できる状態。	 マンホール蓋：他事例
2 (1.1～2.0)	設備として機能を発揮できない状態。 機能回復が困難。	 内部防食　１系最初沈殿池
1 (1.0)	動かない。機能停止。	－

健全度判定方法について：No1-1A 初沈汚泥掻寄機の例（詳細点検）



健全度結果判定表

施設名称	鳥栖市_鳥栖市浄化センター

リスト番号	資産名称	設置場所	調査年月日	設置年月日	耐用年数	経過年数
39	No.1~1A初沈汚泥掻寄機	1系最初沈殿池 内部 -	2011/10/27	1988/12/25	15	23

(1/3へ)

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	調査時測定値		新品時		結果 新品(残量)	結果 測定値(残量)	結果 限界値(残量)	健全度 確認項目	健全度 部品
ガイドレール、埋込レール、シュー	走行レール	磨耗_m	確認	17.6	調査値(残量)	18	新品(残量)	18	17.6	0	4.93	3.47

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	今回調査年月日	前回部品交換年月日	結果 経過年数	健全度 確認項目	健全度 部品
ガイドレール、埋込レール、シュー	走行レール	経過時間	確認	2011/10/27	1988/12/25	23	3.47	3.47

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象		劣化範囲		結果 劣化現象	結果 劣化範囲	健全度 確認項目	健全度 部品
チェーン、ロープ、ワイヤ、ベルト類	本体用チェン	錆	確認	甲	劣化無し	イ	-	甲	イ	5.00	3.47
				乙	点錆or もらい錆	ロ	少				
				丙	表面錆	ハ	多				
				丁	腐食						

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	調査時測定値		新品時		結果 新品時測定値	結果 調査時測定値	結果 上限値	健全度 確認項目	健全度 部品
チェーン、ロープ、ワイヤ、ベルト類	本体用チェン	伸び	確認	915	調査時測定値	912	新品時測定値	912	915	930	4.50	3.47

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	今回調査年月日	前回部品交換年月日	結果 経過年数	健全度 確認項目	健全度 部品
チェーン、ロープ、ワイヤ、ベルト類	本体用チェン	経過時間	確認	2011/10/27	1988/12/25	23	3.47	3.47

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象		結果 劣化現象	健全度 確認項目	健全度 部品
かき寄せ機	フライト	損傷or 変形	確認	甲	無	甲	5.00	3.47
				乙	損傷			
				丙	変形			

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	今回調査年月日	前回部品交換年月日	結果 経過年数	健全度 確認項目	健全度 部品
かき寄せ機	フライト	経過時間	確認	2011/10/27	1988/12/25	23	3.47	3.47

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象		劣化範囲		結果 劣化現象	結果 劣化範囲	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール、軸、軸受、軸封水装置	スプロケット	錆	確認	甲	劣化無し	イ	-	乙	ロ	4.50	3.47
				乙	点錆or もらい錆	ロ	少				
				丙	表面錆	ハ	多				
				丁	腐食						

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	調査時測定値		新品時		結果 新品(残量)	結果 測定値(残量)	結果 限界値(残量)	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール、軸、軸受、軸封水装置	スプロケット	磨耗_m	確認	104	調査値(残量)	105	新品(残量)	105	104	0	4.97	3.47

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	今回調査年月日	前回部品交換年月日	結果 経過年数	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール、軸、軸受、軸封水装置	スプロケット	経過時間	確認	2011/10/27	1988/12/25	23	3.47	3.47

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象		劣化範囲		結果 劣化現象	結果 劣化範囲	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール、軸、軸受、軸封水装置	駆動軸	錆	確認	甲	劣化無し	イ	-	丁	ハ	2.00	2.00
				乙	点錆or もらい錆	ロ	少				
				丙	表面錆	ハ	多				
				丁	腐食						

(3/3より)

健全度結果判定表

施設名称	鳥栖市_鳥栖市浄化ｾﾝﾀｰ

リスト番号	資産名称	設置場所
39	No.1-1A初沈汚泥掻寄機	1系最初沈殿池　内部　-

調査年月日	設置年月日	耐用年数	経過年数
2011/10/27	1988/12/25	15	23

(2/3へ)

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象	劣化範囲	結果 劣化現象	結果 劣化範囲	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール,軸,軸受,軸封水装置	駆動軸	塗装	確認	甲 劣化無し 乙 変色 丙 剥離	イ - ロ 少 ハ 多	丙	ロ	2.50	2.00

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	今回調査年月日	前回部品交換年月日	結果 経過年数	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール,軸,軸受,軸封水装置	駆動軸	経過時間	確認	2011/10/27	1988/12/25	23	3.47	2.00

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象	劣化範囲	結果 劣化現象	結果 劣化範囲	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール,軸,軸受,軸封水装置	水中軸	錆	確認	甲 劣化無し 乙 点錆orもらい錆 丙 表面錆 丁 腐食	イ - ロ 少 ハ 多	丁	ハ	2.00	2.00

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象	劣化範囲	結果 劣化現象	結果 劣化範囲	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール,軸,軸受,軸封水装置	水中軸	塗装	確認	甲 劣化無し 乙 変色 丙 剥離	イ - ロ 少 ハ 多	丙	ロ	2.50	2.00

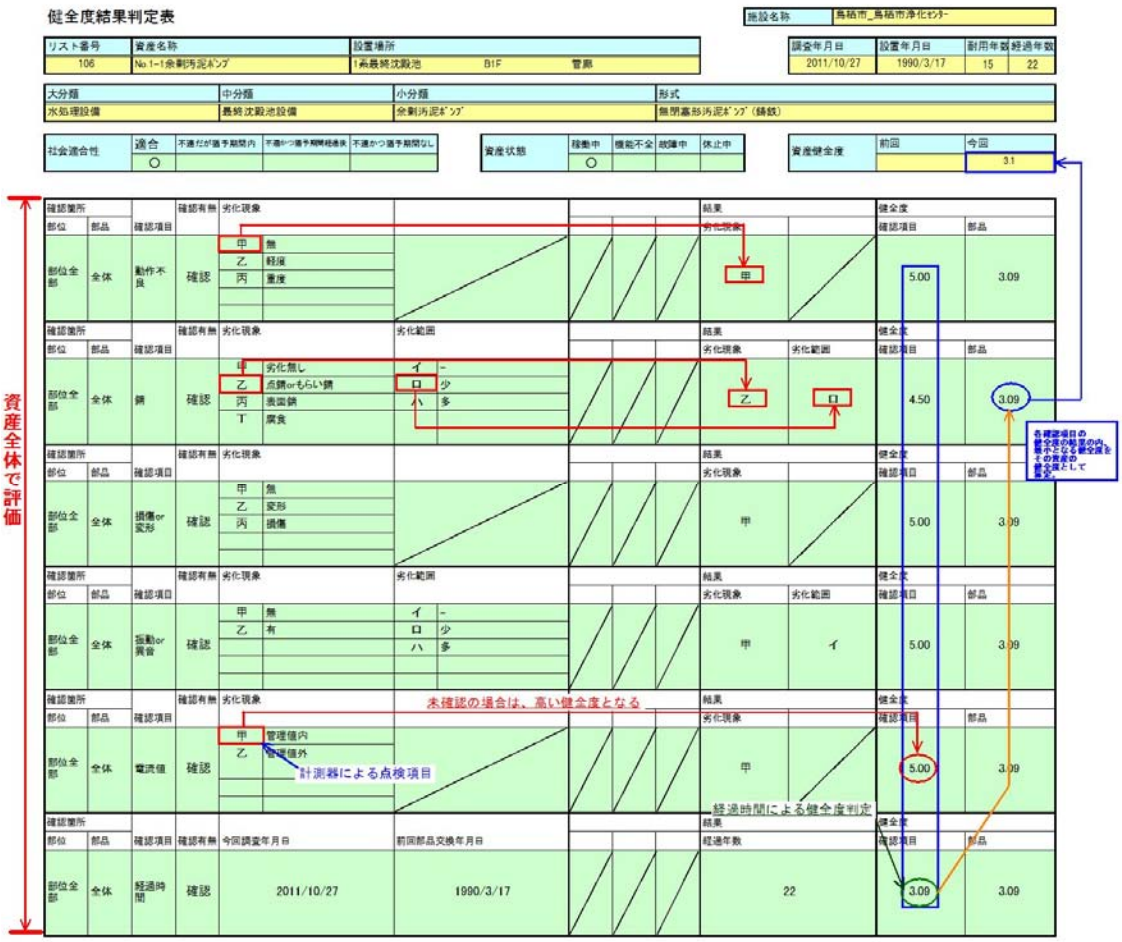
確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	今回調査年月日	前回部品交換年月日	結果 経過年数	健全度 確認項目	健全度 部品
スプロケットホイール,軸,軸受,軸封水装置	水中軸	経過時間	確認	2011/10/27	1988/12/25	23	3.47	2.00

部品単位で評価

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	劣化現象	劣化範囲	結果 劣化現象	結果 劣化範囲	健全度 確認項目	健全度 部品
油脂類設備	潤滑油装置	油脂漏れ	確認	甲 無 乙 有		甲		5.00	3.47

確認箇所 部位	確認箇所 部品	確認項目	確認有無	今回調査年月日	前回部品交換年月日	結果 経過年数	健全度 確認項目	健全度 部品
油脂類設備	潤滑油装置	経過時間	確認	2011/10/27	1988/12/25	23	3.47	3.47

健全度判定方法について：No1-1 余剰汚泥ポンプの例（通常点検）



3.4　点検調査結果の概要

本浄化センターは、平成２年度の併用開始から平成 23 年度現在、既に 21 年を経過し、耐用年数を超えている設備、機器が多く、老朽化が進んでいる状況である。

点検調査結果の概要を以下に示す。

3.4.1　機械設備

一部、更新・修繕が行なわれている機器等はあるが、設置後の経過年数が標準的耐用年数を超えて使用しているものが多く、ごく僅かではあるが、標準的耐用年数の２倍を超えて使用している機器も存在することから、汚水系及び汚泥系の設備、水中機器に劣化が多く見られた。

汚水ポンプ設備のポンプ本体、スクリーンかす設備の自動除塵機、スクリーンかす脱水機、汚水沈砂設備のトラフコンベヤ、沈砂洗浄機、最初沈殿池設備の汚泥かき寄せ機、スカム除去装置等、ゲート設備の可動堰、流入ゲート、反応タンク設備の散気装置、送風機本体、最終沈殿池設備の汚泥かき寄せ機、スカム除去装置、用水設備のろ過機、ポンプ、汚泥濃縮設備の汚泥かき寄せ機、汚泥貯留設備の機械式撹拌機、汚泥輸送・前処理設備の貯留装置、汚泥脱水設備の汚泥脱水機、配管類の給水に錆、腐食や詰まり等が見受けられた。

3.4.2　電気設備

一部更新・修繕が行なわれている機器等はあるが、設備全体としては、設置後の経過年数が標準的耐用年数を超えて使用しているものが多く、監視制御設備については、標準的耐用年数の２倍を超えているものもあることから、外観上は特に大きな問題はないが、突発的に機能が発揮できない状況に陥ることが考えられる。

経過年数以外では目立った錆等も確認できず、比較的状態は良好であった。

受変電設備、計測設備、監視制御設備、制御電源及び計装用電源設備、自家発電設備、負荷設備の大半の設備の経過年数が標準的耐用年数を超えていた。

3.4.3　土木施設

付帯設備の簡易覆蓋、手摺において損傷が見られ、内部防食においては剥離が見られた。また、金属物のタラップに腐食が見られた。

その他の部分については定期的な部品交換等により、健全な状況であった。

3.5　健全度結果一覧

健全度結果一覧表を次ページ以下に表で示す。

健全度評価結果一覧表　機械設備　(1/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00001	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	全体	—	
00002	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	全体	—	
00003	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.7	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.5	
								本体外観	2.0	腐食・多
								電動機	2.0	腐食・多
								軸ｼｰﾙ	3.5	
								主軸	3.5	
								計装機器	3.5	
00004	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.7	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.5	
								本体外観	2.0	腐食・多
								電動機	2.0	腐食・多
								軸ｼｰﾙ	3.5	
								主軸	3.5	
								計装機器	3.5	
00005	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.5	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.5	
								本体外観	3.5	
								電動機	3.5	
								軸ｼｰﾙ	3.5	
								主軸	3.5	
								計装機器	3.5	
00006	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	3.7	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.7	
								本体外観	3.7	
								電動機	3.7	
								軸ｼｰﾙ	3.7	
								主軸	3.7	
								計装機器	3.7	
00007	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	3.7	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.7	
								本体外観	3.7	
								電動機	3.7	
								軸ｼｰﾙ	3.7	
								主軸	3.7	
								計装機器	3.7	
00008	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	全体	—	
00009	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	全体	—	
00010	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	全体	—	
00011	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	3.7	全体	—	
00012	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	3.7	全体	—	
00013	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	3.5	全体	—	
00014	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	3.5	全体	—	
00015	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	ﾎﾟﾝﾌﾟ井連絡ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	全体	—	
00016	ｽｸﾘｰﾝかす設備	自動除塵機	No.1自動除塵機	1988	23	15	2.3	ﾊﾞｰｽｸﾘｰﾝ	3.0	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.0	
								ﾁｪｰﾝ、ﾛｰﾗｶﾞｲﾄﾞ	2.0	腐食・多
								ﾚｰｷｱｰﾑ	2.0	腐食・多
								本体電動機	2.0	腐食・多
								ｹｰｼﾝｸﾞ	2.0	腐食・多
								ﾌﾚｰﾑ	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.1	
								制御盤	3.1	
00017	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.0	全体	—	
00018	汚水沈砂設備	沈砂分離機	ｻｲｸﾛﾝ	1988	23	15	3.0	全体	—	
00019	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.1し渣搬出機	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多
00020	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.2し渣搬出機	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多

健全度評価結果一覧表　機械設備　(2/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00021	汚水沈砂設備	沈砂洗浄機	沈砂し渣洗浄機	1988	23	15	2.8	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.0	
								軸ｼｰﾙ	3.0	
								電動機	3.0	
								ﾀﾝｸ外面	3.0	
								ﾀﾝｸ内面	2.0	腐食・多、剥離・多
								自動ｽｸﾘｰﾝ	3.0	
00022	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2001	10	15	2.0	全体	―	腐食・多
00023	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ分離機	ｽｶﾑ分離機	2001	10	15	3.5	回転ｽｸﾘｰﾝ	4.1	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	4.1	
								ﾌﾚｰﾑ	2.0	腐食・多
								電動機	4.1	
								潤滑油装置	4.1	
								制御盤	4.1	
00024	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	3.0	全体	―	
00025	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	3.0	全体	―	
00026	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.1ｶﾗ3用)	1988	23	20	3.5	全体	―	
00027	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4用)	1992	19	20	3.7	全体	―	
00028	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.5用)	1992	19	20	3.7	全体	―	
00029	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4ｶﾗ5横行用)	1992	19	20	3.0	全体	―	
00030	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置	1988	23	20	3.0	全体	―	
00031	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	沈砂し渣吊上装置	1988	23	20	3.5	全体	―	
00032	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.5	全体	―	
00033	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1A最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	2.0	全体	―	腐食・多
00034	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1B最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	2.0	全体	―	腐食・多
00035	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	全体	―	腐食・多
00036	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	全体	―	腐食・多
00037	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	全体	―	腐食・多
00038	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	ﾊﾞｲﾊﾟｽ可動堰	1989	22	25	3.5	全体	―	
00039	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	変減速機	3.5	
								電動機	3.5	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5	
								走行ﾚｰﾙ	3.5	
								本体用ﾁｪﾝ	3.5	
								ﾌﾗｲﾄ	3.5	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5	
								駆動軸	2.0	腐食・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.5	
00040	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	変減速機	3.5	
								電動機	3.5	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5	
								走行ﾚｰﾙ	3.5	
								本体用ﾁｪﾝ	3.5	
								ﾌﾗｲﾄ	3.5	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5	
								駆動軸	2.0	腐食・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.5	

健全度評価結果一覧表　機械設備　(3/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00041	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.0	変減速機	2.5	
								電動機	3.5	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	2.5	
								走行ﾚｰﾙ	3.8	
								本体用ﾁｪﾝ	3.8	
								ﾌﾗｲﾄ	3.8	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8	
								駆動軸	2.0	腐食・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.8	
00042	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.0	変減速機	3.8	
								電動機	2.0	腐食・多
								ｹｰｼﾝｸﾞ	2.5	
								走行ﾚｰﾙ	3.8	
								本体用ﾁｪﾝ	3.8	
								ﾌﾗｲﾄ	3.8	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8	
								駆動軸	2.0	腐食・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.8	
00043	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4初沈汚泥掻寄機	1996	15	15	3.8	変減速機	4.0	
								電動機	4.0	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	2.5	
								走行ﾚｰﾙ	4.0	
								本体用ﾁｪﾝ	4.0	
								ﾌﾗｲﾄ	4.0	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	4.0	
								駆動軸	4.0	
								水中軸	4.0	
								潤滑油装置	2.0	油脂漏れ・有
00044	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	2.0	全体	—	腐食・多
00045	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	2.0	全体	—	腐食・多
00046	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	2.0	全体	—	腐食・多
00047	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	2.0	全体	—	腐食・多
00048	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00049	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00050	配管類	電動弁	No.1-1A初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	全体	—	
00051	配管類	電動弁	No.1-1B初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	全体	—	
00052	配管類	電動弁	No.1-2初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	全体	—	
00053	配管類	電動弁	No.1-3初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	全体	—	
00054	配管類	電動弁	No.1-4初沈汚泥引抜弁	1996	15	15	4.3	全体	—	
00055	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00056	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00057	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	全体	—	
00058	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1988	23	25	2.0	全体	—	腐食・多
00059	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	2.0	全体	—	腐食・多
00060	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	2.0	全体	—	腐食・多
00061	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1996	15	25	2.0	全体	—	腐食・多
00062	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1返送汚泥流入可動堰	1988	23	25	2.0	全体	—	腐食・多
00063	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	2.0	全体	—	腐食・多
00064	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	2.0	全体	—	腐食・多
00065	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4返送汚泥流入可動堰	1996	15	25	2.0	全体	—	腐食・多
00066	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.0	全体	—	
00067	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.0	全体	—	
00068	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.5	全体	—	

健全度評価結果一覧表　機械設備　(4/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00069	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	全体	―	
00070	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	全体	―	
00071	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	全体	―	
00072	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	全体	―	
00073	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	全体	―	
00074	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.5	全体	―	
00075	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	2.5	全体	―	
00076	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	3.5	全体	―	
00077	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	4.2	全体	―	
00078	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1988	23	10	2.0	散気板､散気筒	―	詰まり・有
00079	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	散気板､散気筒	3.0	
								配管類	3.0	
00080	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	散気板､散気筒	3.0	
								配管類	3.0	
00081	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	散気板､散気筒	3.0	
								配管類	3.0	
00082	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	散気板､散気筒	3.0	
								配管類	3.0	
00083	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	3.0	散気板､散気筒	3.0	
								配管類	3.0	
00084	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	3.0	散気板､散気筒	3.0	
								配管類	3.0	
00085	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	全体	―	
00086	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1A終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.5	全体	―	
00087	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1B終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.5	全体	―	
00088	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-2終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	4.1	全体	―	
00089	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-3終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	4.1	全体	―	
00090	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-4終沈流入ｹﾞｰﾄ	1996	15	25	4.2	全体	―	
00091	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	変減速機	3.5	
								電動機	3.5	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5	
								走行ﾚｰﾙ	3.5	
								本体用ﾁｪﾝ	3.5	
								ﾌﾗｲﾄ	3.5	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5	
								駆動軸	2.0	腐食・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.5	
00092	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	変減速機	3.5	
								電動機	3.5	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5	
								走行ﾚｰﾙ	3.5	
								本体用ﾁｪﾝ	3.5	
								ﾌﾗｲﾄ	3.5	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5	
								駆動軸	2.0	腐食・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.5	

健全度評価結果一覧表　機械設備　(5/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00093	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.1	変減速機	3.8	
								電動機	3.8	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	3.8	
								走行ﾚｰﾙ	3.5	
								本体用ﾁｪﾝ	3.8	
								ﾌﾗｲﾄ	3.8	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8	
								駆動軸	2.0	腐食・多、剥離・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.8	
00094	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.0	変減速機	3.8	
								電動機	3.4	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	3.8	
								走行ﾚｰﾙ	3.5	
								本体用ﾁｪﾝ	3.8	
								ﾌﾗｲﾄ	3.8	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8	
								駆動軸	2.0	腐食・多、剥離・多
								水中軸	2.0	腐食・多
								潤滑油装置	3.8	
00095	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4終沈汚泥掻寄機	1996	15	15	4.0	変減速機	4.0	
								電動機	4.0	
								ｹｰｼﾝｸﾞ	4.0	
								走行ﾚｰﾙ	4.0	
								本体用ﾁｪﾝ	4.0	
								ﾌﾗｲﾄ	4.0	
								ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	4.0	
								駆動軸	4.0	
								水中軸	4.0	
								潤滑油装置	4.0	
00096	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	2.0	全体	—	動作不良
00097	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	3.4	全体	—	
00098	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	3.4	全体	—	
00099	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	3.7	全体	—	
00100	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	3.7	全体	—	
00101	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00102	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00103	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	全体	—	
00104	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	全体	—	
00105	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	3.7	全体	—	
00106	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00107	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00108	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	全体	—	
00109	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	全体	—	
00110	配管類	電動弁	No.1-1終沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	全体	—	
00111	配管類	電動弁	No.1-2終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	全体	—	
00112	配管類	電動弁	No.1-3終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	全体	—	
00113	配管類	電動弁	No.1-4終沈汚泥引抜弁	1996	15	15	4.3	全体	—	
00114	配管類	電動弁	No.1-1返送汚泥流量調整弁	1989	22	15	4.0	全体	—	
00115	配管類	電動弁	No.1-2返送汚泥流量調整弁	1993	18	15	4.2	全体	—	
00116	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	全体	—	

健全度評価結果一覧表　機械設備　(6/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00117	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.1送風機	1988	23	20	3.7	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.9	
								本体外観	3.9	
								軸ｼｰﾙ	3.9	
								軸受	2.0	振動・大
								主軸	3.9	
								変減速機	3.9	
								計装盤	3.9	
00118	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.2送風機	1988	23	20	3.8	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.9	
								本体外観	3.9	
								軸ｼｰﾙ	3.9	
								軸受	3.0	
								主軸	3.9	
								変減速機	3.9	
								計装盤	3.9	
00119	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.4送風機	1993	18	20	4.1	ｲﾝﾍﾟﾗ	4.1	
								本体外観	4.1	
								軸ｼｰﾙ	4.1	
								軸継手	4.1	
								軸受	3.9	
								主軸	4.1	
								ｲﾝﾚｯﾄﾍﾞｰﾝ	4.1	
								計装盤	4.1	
00120	反応ﾀﾝｸ設備	吐出弁	No.4送風機吐出弁	1993	18	15	3.8	全体	—	
00121	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.5送風機	1993	18	20	4.0	ｲﾝﾍﾟﾗ	4.1	
								本体外観	4.1	
								軸ｼｰﾙ	4.1	
								軸継手	4.1	
								軸受	2.7	
								主軸	4.1	
								ｲﾝﾚｯﾄﾍﾞｰﾝ	4.1	
								計装盤	4.1	
00122	反応ﾀﾝｸ設備	吐出弁	No.5送風機吐出弁	1993	18	15	3.8	全体	—	
00123	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.1送風機用電動機	1988	23	20	3.7	軸	3.5	
								軸受	3.0	
								コイル	3.9	
								本体外観	3.9	
00124	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.2送風機用電動機	1988	23	20	3.5	軸	3.0	
								軸受	3.0	
								コイル	3.9	
								本体外観	3.5	
00125	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.4送風機用電動機	1993	18	20	3.9	軸	4.1	
								軸受	4.1	
								コイル	4.1	
								本体外観	3.5	
00126	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.5送風機用電動機	1993	18	20	3.8	軸	4.1	
								軸受	3.5	
								コイル	4.1	
								本体外観	3.5	
00127	反応ﾀﾝｸ設備	湿式ﾌｨﾙﾀ	No.2空気ろ過器	1993	18	15	3.4	全体	—	
00128	配管類	仕切弁	増設用弁(1)	1993	18	30	4.2	全体	—	
00129	配管類	仕切弁	増設用弁(2)	2004	7	30	4.7	全体	—	
00130	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	3.0	全体	—	
00131	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	3.0	全体	—	
00132	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井ｸﾚｰﾝ	1993	18	20	3.8	全体	—	
00133	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	送風機吊上装置	1988	23	20	3.5	全体	—	

健全度評価結果一覧表　機械設備　(7/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00134	用水設備	ろ過機	No.1砂ろ過器	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多
00135	用水設備	ろ過機	No.2砂ろ過器	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多
00136	用水設備	ろ過機	No.3砂ろ過器	2001	10	15	4.1	全体	—	
00137	用水設備	ろ過機	No.4砂ろ過器	2001	10	15	4.1	全体	—	
00138	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多
00139	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多
00140	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	4.1	全体	—	
00141	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	4.1	全体	—	
00142	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多
00143	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	全体	—	腐食・多
00144	用水設備	自動給水装置	自動給水装置	1989	22	15	3.1	全体	—	
00145	用水設備	自動給水装置	散水用給水装置	1989	22	15	3.1	全体	—	
00146	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00147	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00148	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	全体	—	
00149	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ(小)	2001	10	15	3.5	全体	—	
00150	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.1原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	3.5	全体	—	
00151	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.2原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	3.5	全体	—	
00152	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.3原水ｽﾄﾚｰﾅ	2001	10	20	4.3	全体	—	
00153	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	4.5	全体	—	
00154	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.2原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	4.5	全体	—	
00155	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝ	原水ｽｸﾘｰﾝ	2001	10	15	4.1	全体	—	
00156	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00157	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00158	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	全体	—	
00159	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	全体	—	
00160	配管類	空気作動弁	No.1空気圧縮機	2001	10	15	4.1	全体	—	
00161	配管類	空気作動弁	No.2空気圧縮機	2001	10	15	4.1	全体	—	
00162	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	全体	—	
00163	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	全体	—	
00164	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	3.7	全体	—	
00165	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	3.7	全体	—	
00166	消毒設備	薬品注入機	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.0	全体	—	
00167	消毒設備	薬品注入機	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.0	全体	—	
00168	消毒設備	薬品注入機	No.3次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	全体	—	
00169	消毒設備	薬品注入機	No.4次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2008	3	15	4.6	全体	—	
00170	消毒設備	薬品注入機	No.1用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	全体	—	
00171	消毒設備	薬品注入機	No.2用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	全体	—	
00172	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	2.5	全体	—	
00173	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	2.5	全体	—	
00174	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	混和池ﾊﾞｲﾊﾟｽｹﾞｰﾄ	1989	22	25	3.8	全体	—	
00175	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	放流ｹﾞｰﾄ	1989	22	25	3.8	全体	—	
00176	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.1濃縮汚泥掻寄機	1990	21	15	2.0	全体	—	腐食・多
00177	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.2濃縮汚泥掻寄機	1994	17	15	2.0	全体	—	腐食・多
00178	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	4.2	全体	—	
00179	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	4.2	全体	—	
00180	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	3.2	全体	—	
00181	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	3.2	全体	—	
00182	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	4.1	全体	—	
00183	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	4.1	全体	—	
00184	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	濃縮棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	全体	—	
00185	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2002	9	15	4.2	全体	—	
00186	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｭｰｺﾝﾍﾞﾔ	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ	2002	9	15	4.2	全体	—	
00187	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1汚泥分配可動堰	1994	17	25	2.5	全体	—	
00188	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.2汚泥分配可動堰	1994	17	25	2.5	全体	—	

健全度評価結果一覧表　機械設備　(8/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00189	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす洗浄機	汚泥ｽｸﾘｰﾝ(新)	2002	9	15	3.5	ｲﾝﾍﾟﾗ	4.2	
								軸ｼｰﾙ	3.5	
								電動機	4.2	
								ﾀﾝｸ外面	2.5	
								ﾀﾝｸ内面	2.5	
								自動ｽｸﾘｰﾝ	4.2	
00190	汚泥輸送･前処理設備	貯留装置	汚泥ｽｸﾘｰﾝ用ｺﾝﾃﾅ	2002	9	15	4.2	全体	－	
00191	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	機器搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯｸ	1990	21	20	3.6	全体	－	
00192	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	消化棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	全体	－	
00193	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1消化ｶﾞｽ昇圧ﾌﾞﾛﾜ	1994	17	10	3.0	全体	－	
00194	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗｰ	1994	17	8	3.0	全体	－	
00195	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	－	
00196	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	－	
00197	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	－	
00198	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	－	
00199	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	2.0	全体	－	動作不良、腐食・多
00200	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	－	
00201	配管類	送気	ｽﾁｰﾑﾍｯﾀﾞｰ	1994	17	15	3.5	全体	－	
00202	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	原水ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.0	全体	－	
00203	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水化装置	1994	17	15	3.0	全体	－	
00204	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.0	全体	－	
00205	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	ｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ(重油)	1994	17	15	3.5	全体	－	
00206	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	地下重油貯蔵ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.5	全体	－	
00207	配管類	排水	缶水受桝	1994	17	15	3.5	全体	－	
00208	配管類	電動弁	No.1受水槽入口弁	1990	21	15	4.1	全体	－	
00209	配管類	電動弁	No.2受水槽入口弁	1990	21	15	4.1	全体	－	
00210	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	2.0	全体	－	腐食・多
00211	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	2.0	全体	－	腐食・多
00212	配管類	電動弁	No.1消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	4.1	全体	－	
00213	配管類	電動弁	No.2消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	4.1	全体	－	
00214	汚泥貯留設備	機械式撹拌機	No.1汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機	1990	21	10	2.0	全体	－	動作不良
00215	汚泥貯留設備	機械式撹拌機	No.2汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機	1990	21	10	3.2	全体	－	
00216	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	全体	－	
00217	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	全体	－	
00218	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	全体	－	
00219	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	全体	－	
00220	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1空気圧縮機	1990	21	15	3.2	全体	－	
00221	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2空気圧縮機	1990	21	15	3.2	全体	－	
00222	汚泥脱水設備	ﾍﾞﾙﾄｺﾝﾍﾞﾔ	No.2脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ	1990	21	15	3.2	全体	－	
00223	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1除湿機	1990	21	15	3.2	全体	－	
00224	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2除湿機	1990	21	15	3.2	全体	－	
00225	脱臭設備	活性炭吸着装置	吸着塔	1990	21	10	3.0	全体	－	
00226	脱臭設備	ﾌｧﾝ	脱臭ﾌｧﾝ	1990	21	10	3.0	全体	－	
00227	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	ﾐｽﾄｾﾊﾟﾚｰﾀ	1990	21	10	3.0	全体	－	
00228	汚泥輸送･前処理設備	貯留装置	ｹｰｷﾎｯﾊﾟｰ	1990	21	15	2.7	ﾎｯﾊﾟ外部	3.2	
								ﾎｯﾊﾟ内部	2.0	腐食・多、剥離・多
								電動ｼﾘﾝﾀﾞｰ	3.2	
								重量計	3.2	
								制御盤	3.2	
00229	給排水･衛生･ｶﾞｽ設備	受水槽･高架水槽	高架水ﾀﾝｸ	1990	21	15	4.2	全体	－	
00230	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井走行ｸﾚｰﾝ	1990	21	20	3.6	全体	－	

健全度評価結果一覧表　機械設備　(9/9)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00231	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	No.3脱水機	1994	17	15	2.5	ﾛｰﾙ、軸受	2.0	腐食・多
								変減速機	2.0	腐食・多
								電動機	3.0	
								潤滑油装置	3.9	
								ﾌﾚｰﾑ、ｹｰｼﾝｸﾞ、ｼｭｰﾄ	2.0	腐食・多
								制御盤	3.9	
								計装機器	3.9	
								ろ布	3.9	
00232	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	—	
00233	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	—	
00234	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	—	
00235	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	—	
00236	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	—	
00237	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	全体	—	
00238	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ	2002	9	15	4.2	全体	—	
00239	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ撹拌機	2002	9	15	4.2	全体	—	
00240	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給機	2002	9	15	4.2	全体	—	
00241	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	薬品搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯ	1990	21	20	3.6	全体	—	
00242	配管類	送泥	水処理鋳鉄管	1989	22	30	4.0	全体	—	
00243	配管類	給水	水処理鋳鉄管以外	1989	22	15	2.0	全体	—	漏れ・有
00244	配管類	給水	用水鋳鉄管以外	1989	22	15	3.1	全体	—	
00245	配管類	送泥	汚泥処理鋳鉄管	1990	21	30	4.1	全体	—	
00246	配管類	給水	汚泥処理鋳鉄管以外	1990	21	15	3.2	全体	—	
00247	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	脱臭ﾀﾞｸﾄ	1990	21	10	3.0	全体	—	

健全度評価結果一覧表 電気設備 (1/6)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00248	受変電設備	柱上開閉器	柱上気中開閉器	1989	22	15	2.0	全体	—	経過時間
00249	計測設備	雨量計	雨量計	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00250	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	風向.風速計	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00251	受変電設備	低圧主幹盤	分電盤	1989	22	20	2.8	全体	—	
00252	監視制御設備	計装計器盤	計装盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00253	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	中継端子盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00254	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00255	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00256	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(3)	1993	18	15	2.7	全体	—	
00257	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(4)	2001	10	15	3.7	全体	—	
00258	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(5)	2004	7	15	4.1	全体	—	
00259	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾛｷﾞﾝｸﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00260	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00261	監視制御設備	CRT操作卓	CRT監視操作卓	2004	7	10	3.6	全体	—	
00262	監視制御設備	CRT操作卓	CRT操作卓	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00263	監視制御設備	監視盤	受変電監視操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00264	監視制御設備	監視盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ.ﾌﾞﾛﾜ監視操作卓	1989	22	15	2.1	全体	—	
00265	監視制御設備	監視盤	1系水処理監視操作卓	1989	22	15	2.1	全体	—	
00266	監視制御設備	監視ｺﾝﾄﾛｰﾗ	監視制御ｺﾝﾄﾛｰﾗ盤	2004	7	10	3.6	全体	—	
00267	監視制御設備	ﾊﾟｿｺﾝ応用装置	ﾌﾟﾘﾝﾀ	2004	7	7	3.1	全体	—	
00268	受変電設備	断路器盤	引込盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00269	受変電設備	断路器盤	受電盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00270	受変電設備	遮断器盤	No.1照明一次盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00271	受変電設備	遮断器盤	No.1動力一次盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00272	受変電設備	遮断器盤	母連盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00273	受変電設備	断路器盤	発電機引込盤	1993	18	20	3.2	全体	—	
00274	受変電設備	遮断器盤	No.2照明1次盤	1993	18	20	3.2	全体	—	
00275	受変電設備	遮断器盤	No.2動力1次盤	1993	18	20	3.2	全体	—	
00276	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-2_400V主幹盤	2002	9	20	4.1	全体	—	
00277	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	2001	10	20	4.0	全体	—	
00278	受変電設備	変圧器盤	No.2動力ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	3.2	全体	—	
00279	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-1_400V主幹盤	1993	18	20	3.2	全体	—	
00280	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.1-2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00281	受変電設備	低圧主幹盤	No.1-1_400V主幹盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00282	受変電設備	変圧器盤	No.1動力ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00283	受変電設備	変圧器盤	No.2照明ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	3.2	全体	—	
00284	受変電設備	変圧器盤	No.1照明ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	2.7	全体	—	
00285	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	蓄電池盤	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00286	制御電源及び計装用電源設備	充電器盤	充電器盤	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00287	制御電源及び計装用電源設備	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00288	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	No.1始動用直流電源盤	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00289	自家発電設備	補機盤	No.1発電機補機盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00290	自家発電設備	発電機盤	No.1発電機盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00291	自家発電設備	自動始動盤	No.1自動始動盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00292	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料小出槽	1989	22	15	3.1	全体	—	
00293	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00294	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00295	自家発電設備	発電機	発電機	1989	22	15	2.1	全体	—	

健全度評価結果一覧表　電気設備　(2/6)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00296	自家発電設備	原動機	原動機	1989	22	15	3.1	本体外観	3.1	
								ﾀｰﾋﾞﾝ部	3.1	
								ｲﾝﾍﾟﾗ	3.1	
								軸継手	3.1	
								軸受	3.1	
								出力軸､軸受	3.1	
								軸	3.1	
								配管､ﾀﾞｸﾄ類	3.1	
								燃料供給噴射装置	3.1	
								冷却装置	3.1	
								計装機器	3.1	
00297	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	排気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00298	自家発電設備	消音器	排気消音器	1989	22	15	3.1	全体	—	
00299	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	換気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00300	自家発電設備	給気ﾌｧﾝ	給気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00301	自家発電設備	消音器	1次排気消音器	1989	22	15	3.1	全体	—	
00302	自家発電設備	消音器	2次排気消音器	1989	22	15	3.1	全体	—	
00303	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料貯留ﾀﾝｸ	1989	22	15	3.1	全体	—	
00304	監視制御設備	現場盤	燃料貯留ﾀﾝｸ液位計盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00305	監視制御設備	現場盤	給油ﾎﾞｯｸｽ	1989	22	15	2.1	全体	—	
00306	監視制御設備	計装計器盤	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟計装変換器盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00307	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00308	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	2004	7	10	3.6	全体	—	
00309	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	沈砂池設備補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00310	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	沈砂池設備補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00311	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.1_3主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00312	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00313	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00314	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00315	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00316	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00317	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	2004	7	15	4.1	全体	—	
00318	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00319	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00320	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	全体	—	
00321	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	全体	—	
00322	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4汚水ﾎﾟﾝﾌﾟVVVF盤	2004	7	10	3.6	筐体	3.6	
								ﾕﾆｯﾄ	3.6	
								VVVFﾕﾆｯﾄ	3.6	
								銅帯	3.6	
								主回路	3.6	
								制御回路(配線機器含む	3.6	
								指示計器	3.6	
								状態表示灯	3.6	
								換気ﾌｧﾝ	3.6	
00323	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	2001	10	15	3.7	全体	—	
00324	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	2001	10	15	3.7	全体	—	
00325	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2004	7	15	4.1	全体	—	
00326	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	2001	10	10	3.0	全体	—	
00327	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00328	監視制御設備	現場盤	No.3_5汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00329	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00330	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室作業用電源盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00331	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00332	監視制御設備	現場盤	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	

健全度評価結果一覧表　電気設備　(3/6)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00333	監視制御設備	現場盤	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00334	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00335	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ切替盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00336	監視制御設備	現場盤	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00337	監視制御設備	現場盤	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.0	全体	—	破損・有
00338	監視制御設備	現場盤	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.0	全体	—	破損・有
00339	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00340	監視制御設備	現場盤	No.1_2自動除塵機現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00341	監視制御設備	現場盤	No.1_2ｽｶﾑ分離機現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00342	監視制御設備	現場盤	沈砂し渣洗浄機.し渣搬出機現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00343	監視制御設備	現場盤	し渣脱水機現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00344	計測設備	流量計	No.1初沈流入流量	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00345	計測設備	流量計	No.2初沈流入流量	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00346	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	流入渠水位計	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00347	監視制御設備	現場盤	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00348	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00349	監視制御設備	現場盤	No.3沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00350	計測設備	流量計	放流水流量	2001	10	10	3.0	全体	—	
00351	監視制御設備	現場盤	塩素混和池電源盤	1990	21	15	2.3	全体	—	
00352	監視制御設備	現場盤	次亜塩補給盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00353	計測設備	流量計	次亜塩注入流量	2001	10	10	3.0	全体	—	
00354	監視制御設備	現場盤	次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00355	監視制御設備	現場盤	用水設備次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00356	監視制御設備	現場盤	No.3_5次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	—	
00357	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系初沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00358	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系初沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00359	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00360	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00361	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(3)	1993	18	15	2.7	全体	—	
00362	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.1_3送風機補助継電器盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00363	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00364	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00365	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00366	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00367	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	2.7	全体	—	
00368	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1996	15	15	3.0	全体	—	
00369	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00370	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00371	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00372	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1993	18	15	2.7	全体	—	
00373	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00374	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00375	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	VVVF盤(No.1_2送風機用)	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00376	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00377	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	全体	—	
00378	監視制御設備	計装計器盤	1系水処理計装変換器盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00379	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(1)	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00380	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00381	監視制御設備	現場盤	No.1_3送風機現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00382	監視制御設備	現場盤	No.1-1A初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00383	監視制御設備	現場盤	No.1-1B初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00384	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00385	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00386	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	3.0	全体	—	
00387	監視制御設備	現場盤	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	

健全度評価結果一覧表 電気設備 (4/6)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00388	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00389	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00390	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	3.0	全体	—	
00391	計測設備	DO計	No.1ｴｱﾀﾝDO	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00392	計測設備	MLSS計	No.1ｴｱﾀﾝMLSS	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00393	計測設備	DO計	No.1-2ｴｱﾀﾝDO	1996	15	10	2.0	全体	—	経過時間
00394	計測設備	MLSS計	No.1-2ｴｱﾀﾝMLSS	1996	15	10	2.0	全体	—	経過時間
00395	監視制御設備	現場盤	No.1-1A終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00396	監視制御設備	現場盤	No.1-1B終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00397	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00398	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00399	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	3.0	全体	—	
00400	監視制御設備	現場盤	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00401	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00402	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00403	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	3.0	全体	—	
00404	監視制御設備	現場盤	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00405	計測設備	濃度計	No.1初沈汚泥濃度計	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00406	計測設備	流量計	初沈汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00407	監視制御設備	現場盤	初沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00408	監視制御設備	現場盤	No.1-3_4初沈汚泥引抜弁現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00409	監視制御設備	現場盤	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00410	計測設備	温度計	曝気風量温度	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00411	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量圧力	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00412	監視制御設備	現場盤	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00413	計測設備	流量計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00414	計測設備	流量計	No.1-2ｴｱﾀﾝ送風量	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00415	監視制御設備	現場盤	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00416	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00417	計測設備	濃度計	No.1-1返送汚泥濃度	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00418	計測設備	濃度計	No.1-2返送汚泥濃度計	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00419	計測設備	流量計	No.1-2返送汚泥流量	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00420	計測設備	流量計	No.1-1終沈汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00421	計測設備	流量計	返送汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	全体	—	経過時間
00422	計測設備	流量計	No.1-2終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00423	計測設備	流量計	No.1-3終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00424	計測設備	流量計	No.1-4終沈汚泥引抜流量	1996	15	10	2.0	全体	—	経過時間
00425	監視制御設備	現場盤	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	3.0	全体	—	
00426	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜(2)現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00427	監視制御設備	現場盤	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	3.0	全体	—	
00428	監視制御設備	現場盤	用水設備現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00429	監視制御設備	現場盤	No.1_2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	—	
00430	監視制御設備	現場盤	送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00431	監視制御設備	現場盤	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	4.1	全体	—	
00432	監視制御設備	現場盤	潤滑油ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	4.1	全体	—	
00433	計測設備	流量計	No.5送風機吸込風量	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00434	計測設備	流量計	No.4送風機吸込風量	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00435	監視制御設備	現場盤	No.5送風機計器盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00436	監視制御設備	現場盤	No.5送風機現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00437	監視制御設備	現場盤	No.4送風機計器盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00438	監視制御設備	現場盤	No.4送風機現場操作盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00439	監視制御設備	計装計器盤	送風機棟計装変換器盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00440	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	送風機棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00441	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	送風機設備補助継電器盤	1993	18	15	2.7	全体	—	
00442	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒用水設備(3)補助継電器盤	1993	18	15	2.7	全体	—	

健全度評価結果一覧表　電気設備　(5/6)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00443	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(4)	2001	10	15	3.7	全体	―	
00444	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	全体	―	
00445	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	全体	―	
00446	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	2.7	全体	―	
00447	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	全体	―	
00448	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	全体	―	
00449	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2001	10	15	3.7	全体	―	
00450	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	2004	7	15	4.1	全体	―	
00451	監視制御設備	現場盤	砂ろ過器現場操作盤	1989	22	15	2.1	全体	―	
00452	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	砂ろ過水槽水位(1)	1989	22	10	2.0	全体	―	経過時間
00453	監視制御設備	現場盤	No.3_5砂ろ過器現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00454	監視制御設備	現場盤	用水上部作業用電源盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00455	監視制御設備	現場盤	No.3_5原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00456	監視制御設備	現場盤	No.3_4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00457	監視制御設備	現場盤	砂ろ過送水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00458	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	3.0	全体	―	
00459	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	3.0	全体	―	
00460	監視制御設備	現場盤	洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00461	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00462	監視制御設備	現場盤	用水管廊作業用電源盤	2001	10	15	3.7	全体	―	
00463	計測設備	流量計	砂ろ過送水流量	2001	10	10	3.0	全体	―	
00464	監視制御設備	現場盤	連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00465	監視制御設備	現場盤	濃縮管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00466	計測設備	濃度計	重力汚泥濃度	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00467	計測設備	流量計	濃縮汚泥量	1990	21	10	2.0	全体	―	経過時間
00468	監視制御設備	現場盤	濃縮汚泥引抜現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00469	監視制御設備	現場盤	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ現場操作盤	2002	9	15	3.8	全体	―	
00470	監視制御設備	現場盤	汚泥ｽｸﾘｰﾝ現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00471	監視制御設備	現場盤	No.1濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00472	監視制御設備	現場盤	No.2濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1994	17	15	2.8	全体	―	
00473	監視制御設備	現場盤	重油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	全体	―	
00474	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00475	監視制御設備	現場盤	原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	全体	―	
00476	監視制御設備	現場盤	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗ制御盤	1994	17	15	2.8	全体	―	
00477	計測設備	濃度計	ばい煙濃度	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00478	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ炉内圧力	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00479	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ圧力	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00480	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給水流量積算計	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00481	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給油流量積算計	1994	17	10	2.0	全体	―	発錆/汚損・有経過時間
00482	計測設備	温度計	ﾎﾞｲﾗｰ排気ｶﾞｽ温度	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00483	計測設備	温度計	油温度	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00484	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	油圧力	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00485	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1990	21	15	2.3	全体	―	
00486	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1990	21	15	2.3	全体	―	
00487	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(1)	1990	21	15	2.3	全体	―	
00488	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(2)	2002	9	15	3.8	全体	―	
00489	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1994	17	15	2.8	全体	―	
00490	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1994	17	15	2.8	全体	―	
00491	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤	1994	17	15	2.8	全体	―	
00492	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤(2)	2002	9	15	3.8	全体	―	
00493	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥処理中継端子盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00494	計測設備	流量計	No.3脱水機供給汚泥流量	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間
00495	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00496	監視制御設備	現場盤	脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	―	
00497	計測設備	流量計	No.3薬品供給量	1994	17	10	2.0	全体	―	経過時間

健全度評価結果一覧表 電気設備 (6/6)

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	健全度判定結果			備考
00498	監視制御設備	現場盤	No.3_4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	全体	—	
00499	監視制御設備	現場盤	No.5薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	3.8	全体	—	
00500	監視制御設備	現場盤	No.3薬品供給設備現場操作盤	2002	9	15	3.8	全体	—	
00501	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ液位計	2002	9	10	3.2	全体	—	
00502	監視制御設備	現場盤	脱臭ﾌｧﾝ現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	—	
00503	監視制御設備	現場盤	汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	—	
00504	監視制御設備	現場盤	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	—	
00505	監視制御設備	現場盤	No.5汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	3.8	全体	—	
00506	監視制御設備	現場盤	No.3_4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	全体	—	
00507	監視制御設備	現場盤	No.3_4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	全体	—	
00508	監視制御設備	現場盤	脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	全体	—	
00509	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線1	1990	21	15	2.3	全体	—	
00510	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線2	1990	21	15	2.3	全体	—	
00511	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線3	1988	23	15	2.0	全体	—	経過時間
00512	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00513	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	2.0	全体	—	経過時間
00514	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	重油ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	2.0	全体	—	経過時間
00515	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ水位	1994	17	10	2.0	全体	—	経過時間

健全度評価結果一覧表　土木　(1/2)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	健全度判定結果			備考
00516	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	2.0	全体	—	受枠損傷・大
00517	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00518	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.5	全体	—	
00519	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.5	全体	—	
00520	付帯設備	簡易覆蓋	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00521	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00522	付帯設備	内部防食	内部防食_1系最初沈殿池	1987	24	10	2.0	全体	—	剥離等・大
00523	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	全体	—	
00524	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	全体	—	
00525	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋(ｽﾗｲﾄﾞ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.5	全体	—	
00526	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	全体	—	
00527	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.5	全体	—	
00528	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00529	付帯設備	簡易覆蓋	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00530	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00531	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最終沈殿池	1987	24	18	2.0	全体	—	柱脚部損傷・大
00532	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00533	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00534	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	全体	—	
00535	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.5	全体	—	
00536	付帯設備	簡易覆蓋	ｱﾙﾐ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.5	全体	—	
00537	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽外部	1989	22	18	4.5	全体	—	
00538	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	1.0	全体	—	機能不全
00539	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	2.0	全体	—	腐食等・大
00540	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	10	2.0	全体	—	剥離等・大
00541	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽外部	1989	22	18	4.5	全体	—	
00542	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	1.0	全体	—	機能不全
00543	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	2.0	全体	—	腐食等・大
00544	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	10	2.0	全体	—	腐食等・大
00545	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_汚泥処理棟B1F汚泥貯留槽	1989	22	18	4.5	全体	—	
00546	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	2.0	全体	—	損傷等・大
00547	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	2.0	全体	—	剥離等・大
00548	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	全体	—	
00549	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	全体	—	
00550	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	2.0	全体	—	剥離等・大
00551	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	全体	—	
00552	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	全体	—	
00553	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	全体	—	
00554	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	2.0	全体	—	本体損傷・大
00555	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	2.0	全体	—	剥離等・大
00556	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	全体	—	
00557	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	全体	—	
00558	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	全体	—	
00559	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	全体	—	
00560	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	全体	—	
00561	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	全体	—	
00562	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	全体	—	
00563	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	全体	—	
00564	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	全体	—	
00565	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬入室	1988	23	18	4.5	全体	—	
00566	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	2.0	全体	—	損傷等・大
00567	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	全体	—	
00568	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	全体	—	
00569	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	全体	—	
00570	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.0	全体	—	

健全度評価結果一覧表　土木 （2/2）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	健全度判定結果			備考
00571	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00572	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00573	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室外部	1988	23	18	4.5	全体	―	
00574	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00575	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00576	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00577	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00578	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00579	付帯設備	手摺	手摺(SUS)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00580	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00581	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	4.5	全体	―	
00582	付帯設備	簡易覆蓋	縞鋼板_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	2.0	全体	―	損傷等・大
00583	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	2.0	全体	―	受枠部損傷等・大
00584	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	4.5	全体	―	
00585	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	18	4.5	全体	―	
00586	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	10	4.0	全体	―	
00587	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F流入水路上部	1988	23	18	4.0	全体	―	
00588	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	18	4.5	全体	―	
00589	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	10	4.0	全体	―	
00590	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	全体	―	

４．改築必要性の検討

健全度判定結果に基づき、長寿命化計画期間(平成 27 年度から平成 31 年度まで)の最終年に健全度が 2.0 以下となる設備を「改築必要」、2.0 を上回る設備を「改築不要」として評価する。なお、長寿命化検討対象の設備においては、設備単位(全体)で健全度 2.0 を上回る場合でも、各部品単位で健全度 2.0 を下回っているものがあれば、部品単位において「改築必要」の評価となる。

4.1　長寿命化検討対象外設備

4.1.1　健全度予測の考え方

長寿命化検討対象外の資産は、資産全体を対象として健全度の予測を行う。資産全体の健全度予測の概要を図４－1 に示す。設置年度の健全度を 5.0 とし、評価年数の健全度を結んだ健全度推移線を設定し、これを基に長寿命化計画期間最終年度の健全度の値を求める。

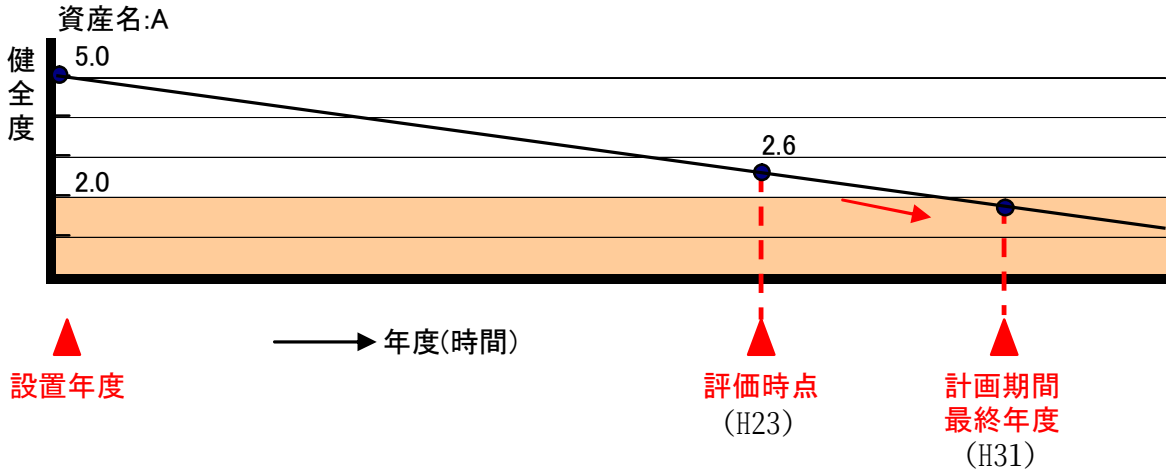


図４-１　健全度予測の概要(長寿命化検討対象設備)

なお、鳥栖市の長寿命化計画は、平成 26 年度から実施する予定で進めていることから、計画期間最終年度は平成 31 年度とした。

4.1.2　改築必要性の判定結果

長寿命化検討対象外設備における改築必要性の結果を次ページに示す。

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

機械設備 （1/4）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度（H23）	長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）	更新対象
00001	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	3.4	―
00002	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	3.4	―
00008	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	2.9	―
00009	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	2.9	―
00010	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	2.9	―
00011	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	3.7	3.2	―
00012	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	3.7	3.2	―
00013	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	3.5	2.9	―
00014	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	3.5	2.9	―
00015	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	ﾎﾟﾝﾌﾟ井連絡ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	3.4	―
00017	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.0	2.3	―
00018	汚水沈砂設備	沈砂分離機	ｻｲｸﾛﾝ	1988	23	15	3.0	2.3	―
00019	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.1し渣搬出機	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00020	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.2し渣搬出機	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00022	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2001	10	15	2.0	2.0以下	○
00024	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	3.0	2.3	―
00025	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	3.0	2.3	―
00026	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.1ｶﾗ3用)	1988	23	20	3.5	2.9	―
00027	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4用)	1992	19	20	3.7	3.2	―
00028	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.5用)	1992	19	20	3.7	3.2	―
00029	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4ｶﾗ5横行用)	1992	19	20	3.0	2.2	―
00030	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置	1988	23	20	3.0	2.3	―
00031	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	沈砂し渣吊上装置	1988	23	20	3.5	2.9	―
00032	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.5	2.9	―
00033	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1A最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	○
00034	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1B最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	○
00035	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	○
00036	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	○
00037	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	○
00038	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	ﾊﾞｲﾊﾟｽ可動堰	1989	22	25	3.5	3.0	―
00044	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	2.0	2.0以下	○
00045	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	2.0	2.0以下	○
00046	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	2.0	2.0以下	○
00047	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	2.0	2.0以下	○
00048	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00049	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00050	配管類	電動弁	No.1-1A初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	3.6	―
00051	配管類	電動弁	No.1-1B初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	3.6	―
00052	配管類	電動弁	No.1-2初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	―
00053	配管類	電動弁	No.1-3初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	―
00054	配管類	電動弁	No.1-4初沈汚泥引抜弁	1996	15	15	4.3	4.0	―
00055	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00056	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00057	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	―
00058	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	○
00059	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	○
00060	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	○
00061	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1996	15	25	2.0	2.0以下	○
00062	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1返送汚泥流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	○
00063	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	○
00064	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	○
00065	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4返送汚泥流入可動堰	1996	15	25	2.0	2.0以下	○
00066	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.0	2.3	―
00067	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.0	2.3	―

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

機械設備 （2/4）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度（H23）	長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）	更新対象
00068	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.5	3.0	―
00069	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	―
00070	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	―
00071	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	―
00072	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	―
00073	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	―
00074	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.5	2.8	―
00075	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	2.5	2.0以下	○
00076	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	3.5	2.7	―
00077	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	4.2	3.8	―
00078	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1988	23	10	2.0	2.0以下	○
00085	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	―
00086	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1A終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.5	3.0	―
00087	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1B終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.5	3.0	―
00088	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-2終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	4.1	3.6	―
00089	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-3終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	4.1	3.6	―
00090	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-4終沈流入ｹﾞｰﾄ	1996	15	25	4.2	3.8	―
00096	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	2.0	2.0以下	○
00097	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	3.4	2.7	―
00098	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	3.4	2.7	―
00099	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	3.7	3.0	―
00100	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	3.7	3.0	―
00101	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00102	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00103	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	―
00104	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	―
00105	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	3.7	3.0	―
00106	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00107	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00108	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	―
00109	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	―
00110	配管類	電動弁	No.1-1終沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	3.6	―
00111	配管類	電動弁	No.1-2終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	―
00112	配管類	電動弁	No.1-3終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	―
00113	配管類	電動弁	No.1-4終沈汚泥引抜弁	1996	15	15	4.3	4.0	―
00114	配管類	電動弁	No.1-1返送汚泥流量調整弁	1989	22	15	4.0	3.6	―
00115	配管類	電動弁	No.1-2返送汚泥流量調整弁	1993	18	15	4.2	3.8	―
00116	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	―
00120	反応ﾀﾝｸ設備	吐出弁	No.4送風機吐出弁	1993	18	15	3.8	3.3	―
00122	反応ﾀﾝｸ設備	吐出弁	No.5送風機吐出弁	1993	18	15	3.8	3.3	―
00127	反応ﾀﾝｸ設備	湿式ﾌｨﾙﾀ	No.2空気ろ過器	1993	18	15	3.4	2.7	―
00128	配管類	仕切弁	増設用弁(1)	1993	18	30	4.2	3.8	―
00129	配管類	仕切弁	増設用弁(2)	2004	7	30	4.7	4.3	―
00130	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	3.0	2.1	―
00131	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	3.0	2.1	―
00132	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井ｸﾚｰﾝ	1993	18	20	3.8	3.3	―
00133	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	送風機吊上装置	1988	23	20	3.5	2.9	―
00134	用水設備	ろ過機	No.1砂ろ過器	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00135	用水設備	ろ過機	No.2砂ろ過器	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00136	用水設備	ろ過機	No.3砂ろ過器	2001	10	15	4.1	3.4	―
00137	用水設備	ろ過機	No.4砂ろ過器	2001	10	15	4.1	3.4	―
00138	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00139	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00140	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	4.1	3.4	―

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

機械設備 (3/4)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度(H23)	長寿命化計画期間の最終年度の健全度(H31)	更新対象
00141	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	4.1	3.4	—
00142	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00143	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00144	用水設備	自動給水装置	自動給水装置	1989	22	15	3.1	2.4	—
00145	用水設備	自動給水装置	散水用給水装置	1989	22	15	3.1	2.4	—
00146	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00147	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00148	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	2.3	—
00149	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ(小)	2001	10	15	3.5	2.3	—
00150	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.1原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	3.5	3.0	—
00151	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.2原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	3.5	3.0	—
00152	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.3原水ｽﾄﾚｰﾅ	2001	10	20	4.3	3.8	—
00153	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	4.5	4.0	—
00154	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.2原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	4.5	4.0	—
00155	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝ	原水ｽｸﾘｰﾝ	2001	10	15	4.1	3.4	—
00156	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00157	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00158	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	2.3	—
00159	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	2.3	—
00160	配管類	空気作動弁	No.1空気圧縮機	2001	10	15	4.1	3.4	—
00161	配管類	空気作動弁	No.2空気圧縮機	2001	10	15	4.1	3.4	—
00162	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	—
00163	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	—
00164	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	3.7	2.6	—
00165	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	3.7	2.6	—
00166	消毒設備	薬品注入機	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.0	2.1	—
00167	消毒設備	薬品注入機	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.0	2.1	—
00168	消毒設備	薬品注入機	No.3次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	2.6	—
00169	消毒設備	薬品注入機	No.4次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2008	3	15	4.6	3.5	—
00170	消毒設備	薬品注入機	No.1用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	2.6	—
00171	消毒設備	薬品注入機	No.2用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	2.6	—
00172	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	2.5	2.0以下	○
00173	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	2.5	2.0以下	○
00174	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	混和池ﾊﾞｲﾊﾟｽｹﾞｰﾄ	1989	22	25	3.8	3.4	—
00175	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	放流ｹﾞｰﾄ	1989	22	25	3.8	3.4	—
00176	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.1濃縮汚泥掻寄機	1990	21	15	2.0	2.0以下	○
00177	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.2濃縮汚泥掻寄機	1994	17	15	2.0	2.0以下	○
00178	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	4.2	3.9	—
00179	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	4.2	3.9	—
00180	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	3.2	2.5	—
00181	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	3.2	2.5	—
00182	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	4.1	3.7	—
00183	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	4.1	3.7	—
00184	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	濃縮棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	—
00185	汚泥輸送・前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2002	9	15	4.2	3.5	—
00186	汚泥輸送・前処理設備	ｽｸﾘｭｰｺﾝﾍﾞﾔ	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ	2002	9	15	4.2	3.5	—
00187	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1汚泥分配可動堰	1994	17	25	2.5	2.0以下	○
00188	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.2汚泥分配可動堰	1994	17	25	2.5	2.0以下	○
00190	汚泥輸送・前処理設備	貯留装置	汚泥ｽｸﾘｰﾝ用ｺﾝﾃﾅ	2002	9	15	4.2	3.5	—
00191	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	機器搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯｸ	1990	21	20	3.6	3.1	—
00192	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	消化棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	—
00193	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1消化ｶﾞｽ昇圧ﾌﾞﾛﾜ	1994	17	10	3.0	2.1	—
00194	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗｰ	1994	17	8	3.0	2.1	—
00195	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	—

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

機械設備 （4/4）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度（H23）	長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）	更新対象
00196	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00197	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00198	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00199	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	2.0	2.0以下	○
00200	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00201	配管類	送気	ｽﾁｰﾑﾍｯﾀﾞｰ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00202	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	原水ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.0	2.1	―
00203	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水化装置	1994	17	15	3.0	2.1	―
00204	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.0	2.1	―
00205	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	ｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ(重油)	1994	17	15	3.5	2.8	―
00206	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	地下重油貯蔵ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00207	配管類	排水	缶水受桝	1994	17	15	3.5	2.8	―
00208	配管類	電動弁	No.1受水槽入口弁	1990	21	15	4.1	3.8	―
00209	配管類	電動弁	No.2受水槽入口弁	1990	21	15	4.1	3.8	―
00210	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	2.0	2.0以下	○
00211	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	2.0	2.0以下	○
00212	配管類	電動弁	No.1消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	4.1	3.7	―
00213	配管類	電動弁	No.2消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	4.1	3.7	―
00214	汚泥貯留設備	機械式攪拌機	No.1汚泥貯留ﾀﾝｸ攪拌機	1990	21	10	2.0	2.0以下	○
00215	汚泥貯留設備	機械式攪拌機	No.2汚泥貯留ﾀﾝｸ攪拌機	1990	21	10	3.2	2.5	―
00216	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	―
00217	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	―
00218	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	―
00219	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	―
00220	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1空気圧縮機	1990	21	15	3.2	2.5	―
00221	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2空気圧縮機	1990	21	15	3.2	2.5	―
00222	汚泥脱水設備	ﾍﾞﾙﾄｺﾝﾍﾞﾔ	No.2脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ	1990	21	15	3.2	2.5	―
00223	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1除湿機	1990	21	15	3.2	2.5	―
00224	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2除湿機	1990	21	15	3.2	2.5	―
00225	脱臭設備	活性炭吸着装置	吸着塔	1990	21	10	3.0	2.2	―
00226	脱臭設備	ﾌｧﾝ	脱臭ﾌｧﾝ	1990	21	10	3.0	2.2	―
00227	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	ﾐｽﾄｾﾊﾟﾚｰﾀ	1990	21	10	3.0	2.2	―
00229	給排水・衛生・ｶﾞｽ設備	受水槽・高架水槽	高架水ﾀﾝｸ	1990	21	15	4.2	3.9	―
00230	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井走行ｸﾚｰﾝ	1990	21	20	3.6	3.1	―
00232	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00233	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00234	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00235	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00236	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00237	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	―
00238	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ	2002	9	15	4.2	3.5	―
00239	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ攪拌機	2002	9	15	4.2	3.5	―
00240	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給機	2002	9	15	4.2	3.5	―
00241	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	薬品搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯ	1990	21	20	3.6	3.1	―
00242	配管類	送泥	水処理鋳鉄管	1989	22	30	4.0	3.6	―
00243	配管類	給水	水処理鋳鉄管以外	1989	22	15	2.0	2.0以下	○
00244	配管類	給水	用水鋳鉄管以外	1989	22	15	3.1	2.4	―
00245	配管類	送泥	汚泥処理鋳鉄管	1990	21	30	4.1	3.7	―
00246	配管類	給水	汚泥処理鋳鉄管以外	1990	21	15	3.2	2.5	―
00247	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	脱臭ﾀﾞｸﾄ	1990	21	10	3.0	2.2	―

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

電気設備 (1/5)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度(H23)	長寿命化計画期間の最終年度の健全度(H31)	更新対象
00248	受変電設備	柱上開閉器	柱上気中開閉器	1989	22	15	2.0	2.0以下	○
00249	計測設備	雨量計	雨量計	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00250	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	風向.風速計	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00251	受変電設備	低圧主幹盤	分電盤	1989	22	20	2.8	2.0以下	○
00252	監視制御設備	計装計器盤	計装盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00253	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	中継端子盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00254	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00255	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00256	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00257	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(4)	2001	10	15	3.7	2.7	—
00258	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(5)	2004	7	15	4.1	3.1	—
00259	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾛｷﾞﾝｸﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00260	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00261	監視制御設備	CRT操作卓	CRT監視操作卓	2004	7	10	3.6	2.0以下	○
00262	監視制御設備	CRT操作卓	CRT操作卓	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00263	監視制御設備	監視盤	受変電監視操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00264	監視制御設備	監視盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ.ﾌﾟﾛﾜ監視操作卓	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00265	監視制御設備	監視盤	1系水処理監視操作卓	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00266	監視制御設備	監視ｺﾝﾄﾛｰﾗ	監視制御ｺﾝﾄﾛｰﾗ盤	2004	7	10	3.6	2.0以下	○
00267	監視制御設備	ﾊﾟｿｺﾝ応用装置	ﾌﾟﾘﾝﾀ	2004	7	7	3.1	2.0以下	○
00268	受変電設備	断路器盤	引込盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00269	受変電設備	断路器盤	受電盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00270	受変電設備	遮断器盤	No.1照明一次盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00271	受変電設備	遮断器盤	No.1動力一次盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00272	受変電設備	遮断器盤	母連盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00273	受変電設備	断路器盤	発電機引込盤	1993	18	20	3.2	2.4	—
00274	受変電設備	遮断器盤	No.2照明1次盤	1993	18	20	3.2	2.4	—
00275	受変電設備	遮断器盤	No.2動力1次盤	1993	18	20	3.2	2.4	—
00276	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-2_400V主幹盤	2002	9	20	4.1	3.3	—
00277	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	2001	10	20	4.0	3.2	—
00278	受変電設備	変圧器盤	No.2動力ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	3.2	2.4	—
00279	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-1_400V主幹盤	1993	18	20	3.2	2.4	—
00280	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.1-2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00281	受変電設備	低圧主幹盤	No.1-1_400V主幹盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00282	受変電設備	変圧器盤	No.1動力ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00283	受変電設備	変圧器盤	No.2照明ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	3.2	2.4	—
00284	受変電設備	変圧器盤	No.1照明ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	○
00285	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	蓄電池盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00286	制御電源及び計装用電源設備	充電器盤	充電器盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00287	制御電源及び計装用電源設備	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00288	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	No.1始動用直流電源盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00289	自家発電設備	補機盤	No.1発電機補機盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00290	自家発電設備	発電機盤	No.1発電機盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00291	自家発電設備	自動始動盤	No.1自動始動盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00292	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料小出槽	1989	22	15	3.1	2.4	—
00293	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00294	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00295	自家発電設備	発電機	発電機	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00297	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	排気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00298	自家発電設備	消音器	排気消音器	1989	22	15	3.1	2.4	—
00299	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	換気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00300	自家発電設備	給気ﾌｧﾝ	給気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	2.4	—
00301	自家発電設備	消音器	1次排気消音器	1989	22	15	3.1	2.4	—
00302	自家発電設備	消音器	2次排気消音器	1989	22	15	3.1	2.4	—

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

電気設備 （2/5）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度（H23）	長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）	更新対象
00303	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料貯留ﾀﾝｸ	1989	22	15	3.1	2.4	―
00304	監視制御設備	現場盤	燃料貯留ﾀﾝｸ液位計盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00305	監視制御設備	現場盤	給油ﾎﾞｯｸｽ	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00306	監視制御設備	計装計器盤	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟計装変換器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00307	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00308	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	2004	7	10	3.6	2.0以下	○
00309	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	沈砂池設備補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00310	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	沈砂池設備補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00311	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.1_3主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00312	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00313	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00314	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00315	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00316	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00317	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	2004	7	15	4.1	3.1	―
00318	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00319	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00320	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00321	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00323	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	2001	10	15	3.7	2.7	―
00324	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	2001	10	15	3.7	2.7	―
00325	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2004	7	15	4.1	3.1	―
00326	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	2001	10	10	3.0	2.0以下	○
00327	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00328	監視制御設備	現場盤	No.3_5汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00329	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00330	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室作業用電源盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00331	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00332	監視制御設備	現場盤	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00333	監視制御設備	現場盤	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00334	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00335	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ切替盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00336	監視制御設備	現場盤	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00337	監視制御設備	現場盤	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.0	2.0以下	○
00338	監視制御設備	現場盤	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.0	2.0以下	○
00339	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00340	監視制御設備	現場盤	No.1_2自動除塵機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00341	監視制御設備	現場盤	No.1_2ｽｶﾑ分離機現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00342	監視制御設備	現場盤	沈砂し渣洗浄機.し渣搬出機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00343	監視制御設備	現場盤	し渣脱水機現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00344	計測設備	流量計	No.1初沈流入流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00345	計測設備	流量計	No.2初沈流入流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00346	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	流入渠水位計	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00347	監視制御設備	現場盤	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00348	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00349	監視制御設備	現場盤	No.3沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00350	計測設備	流量計	放流水流量	2001	10	10	3.0	2.0以下	○
00351	監視制御設備	現場盤	塩素混和池電源盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00352	監視制御設備	現場盤	次亜塩補給盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00353	計測設備	流量計	次亜塩注入流量	2001	10	10	3.0	2.0以下	○
00354	監視制御設備	現場盤	次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00355	監視制御設備	現場盤	用水設備次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00356	監視制御設備	現場盤	No.3_5次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00357	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系初沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

電気設備 (3/5)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度(H23)	長寿命化計画期間の最終年度の健全度(H31)	更新対象
00358	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系初沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00359	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00360	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00361	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00362	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.1_3送風機補助継電器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00363	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00364	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00365	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00366	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00367	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00368	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1996	15	15	3.1	2.0以下	○
00369	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00370	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00371	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00372	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00373	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00374	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00375	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	VVVF盤(No.1_2送風機用)	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00376	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00377	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00378	監視制御設備	計装計器盤	1系水処理計装変換器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00379	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(1)	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00380	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00381	監視制御設備	現場盤	No.1_3送風機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00382	監視制御設備	現場盤	No.1-1A初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00383	監視制御設備	現場盤	No.1-1B初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00384	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00385	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00386	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	○
00387	監視制御設備	現場盤	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00388	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00389	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00390	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	○
00391	計測設備	DO計	No.1ｴｱﾀﾝDO	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00392	計測設備	MLSS計	No.1ｴｱﾀﾝMLSS	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00393	計測設備	DO計	No.1-2ｴｱﾀﾝDO	1996	15	10	2.0	2.0以下	○
00394	計測設備	MLSS計	No.1-2ｴｱﾀﾝMLSS	1996	15	10	2.0	2.0以下	○
00395	監視制御設備	現場盤	No.1-1A終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00396	監視制御設備	現場盤	No.1-1B終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00397	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00398	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00399	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	○
00400	監視制御設備	現場盤	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00401	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00402	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00403	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	○
00404	監視制御設備	現場盤	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00405	計測設備	濃度計	No.1初沈汚泥濃度計	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00406	計測設備	流量計	初沈汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00407	監視制御設備	現場盤	初沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00408	監視制御設備	現場盤	No.1-3_4初沈汚泥引抜弁現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00409	監視制御設備	現場盤	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00410	計測設備	温度計	曝気風量温度	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00411	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量圧力	1989	22	10	2.0	2.0以下	○

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

電気設備 （4/5）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度（H23）	長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）	更新対象
00412	監視制御設備	現場盤	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00413	計測設備	流量計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00414	計測設備	流量計	No.1-2ｴｱﾀﾝ送風量	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00415	監視制御設備	現場盤	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00416	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00417	計測設備	濃度計	No.1-1返送汚泥濃度	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00418	計測設備	濃度計	No.1-2返送汚泥濃度計	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00419	計測設備	流量計	No.1-2返送汚泥流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00420	計測設備	流量計	No.1-1終沈汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00421	計測設備	流量計	返送汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00422	計測設備	流量計	No.1-2終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00423	計測設備	流量計	No.1-3終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00424	計測設備	流量計	No.1-4終沈汚泥引抜流量	1996	15	10	2.0	2.0以下	○
00425	監視制御設備	現場盤	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	○
00426	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜(2)現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00427	監視制御設備	現場盤	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	○
00428	監視制御設備	現場盤	用水設備現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00429	監視制御設備	現場盤	No.1_2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00430	監視制御設備	現場盤	送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00431	監視制御設備	現場盤	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	4.1	3.1	―
00432	監視制御設備	現場盤	潤滑油ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	4.1	3.1	―
00433	計測設備	流量計	No.5送風機吸込風量	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00434	計測設備	流量計	No.4送風機吸込風量	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00435	監視制御設備	現場盤	No.5送風機計器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00436	監視制御設備	現場盤	No.5送風機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00437	監視制御設備	現場盤	No.4送風機計器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00438	監視制御設備	現場盤	No.4送風機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00439	監視制御設備	計装計器盤	送風機棟計装変換器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00440	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	送風機棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00441	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	送風機設備補助継電器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00442	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒用水設備(3)補助継電器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00443	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(4)	2001	10	15	3.7	2.7	―
00444	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00445	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00446	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00447	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00448	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	2.0以下	○
00449	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2001	10	15	3.7	2.7	―
00450	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	2004	7	15	4.1	3.1	―
00451	監視制御設備	現場盤	砂ろ過器現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	○
00452	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	砂ろ過水槽水位(1)	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00453	監視制御設備	現場盤	No.3_5砂ろ過器現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00454	監視制御設備	現場盤	用水上部作業用電源盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00455	監視制御設備	現場盤	No.3_5原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00456	監視制御設備	現場盤	No.3_4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00457	監視制御設備	現場盤	砂ろ過送水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00458	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	3.0	2.0以下	○
00459	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	3.0	2.0以下	○
00460	監視制御設備	現場盤	洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00461	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00462	監視制御設備	現場盤	用水管廊作業用電源盤	2001	10	15	3.7	2.7	―
00463	計測設備	流量計	砂ろ過送水流量	2001	10	10	3.0	2.0以下	○
00464	監視制御設備	現場盤	連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00465	監視制御設備	現場盤	濃縮管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

電気設備 (5/5)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度(H23)	長寿命化計画期間の最終年度の健全度(H31)	更新対象
00466	計測設備	濃度計	重力汚泥濃度	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00467	計測設備	流量計	濃縮汚泥量	1990	21	10	2.0	2.0以下	○
00468	監視制御設備	現場盤	濃縮汚泥引抜現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00469	監視制御設備	現場盤	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	—
00470	監視制御設備	現場盤	汚泥ｽｸﾘｰﾝ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00471	監視制御設備	現場盤	No.1濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00472	監視制御設備	現場盤	No.2濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00473	監視制御設備	現場盤	重油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00474	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00475	監視制御設備	現場盤	原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00476	監視制御設備	現場盤	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗ制御盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00477	計測設備	濃度計	ばい煙濃度	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00478	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ炉内圧力	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00479	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ圧力	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00480	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給水流量積算計	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00481	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給油流量積算計	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00482	計測設備	温度計	ﾎﾞｲﾗｰ排気ｶﾞｽ温度	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00483	計測設備	温度計	油温度	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00484	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	油圧力	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00485	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00486	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00487	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(1)	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00488	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(2)	2002	9	15	3.8	2.8	—
00489	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00490	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00491	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00492	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤(2)	2002	9	15	3.8	2.8	—
00493	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥処理中継端子盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00494	計測設備	流量計	No.3脱水機供給汚泥流量	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00495	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00496	監視制御設備	現場盤	脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00497	計測設備	流量計	No.3薬品供給量	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00498	監視制御設備	現場盤	No.3_4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00499	監視制御設備	現場盤	No.5薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	—
00500	監視制御設備	現場盤	No.3薬品供給設備現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	—
00501	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ液位計	2002	9	10	3.2	2.0以下	○
00502	監視制御設備	現場盤	脱臭ﾌｧﾝ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00503	監視制御設備	現場盤	汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00504	監視制御設備	現場盤	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00505	監視制御設備	現場盤	No.5汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	—
00506	監視制御設備	現場盤	No.3_4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00507	監視制御設備	現場盤	No.3_4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	○
00508	監視制御設備	現場盤	脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00509	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線1	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00510	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線2	1990	21	15	2.3	2.0以下	○
00511	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線3	1988	23	15	2.0	2.0以下	○
00512	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00513	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	2.0	2.0以下	○
00514	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	重油ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00515	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ水位	1994	17	10	2.0	2.0以下	○

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

土木 (1/2)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度（H23）	長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）	更新対象
00516	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	2.0	2.0以下	○
00517	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00518	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	―
00519	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	―
00520	付帯設備	簡易覆蓋	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00521	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00522	付帯設備	内部防食	内部防食_1系最初沈殿池	1987	24	10	2.0	2.0以下	○
00523	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	3.7	―
00524	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	3.7	―
00525	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋(ｽﾗｲﾄﾞ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.5	4.3	―
00526	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	3.7	―
00527	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.5	4.3	―
00528	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00529	付帯設備	簡易覆蓋	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00530	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00531	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最終沈殿池	1987	24	18	2.0	2.0以下	○
00532	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00533	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00534	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	―
00535	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	―
00536	付帯設備	簡易覆蓋	ｱﾙﾐ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	―
00537	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽外部	1989	22	18	4.5	4.3	―
00538	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	1.0	2.0以下	○
00539	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	2.0	2.0以下	○
00540	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00541	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽外部	1989	22	18	4.5	4.3	―
00542	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	1.0	2.0以下	○
00543	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	2.0	2.0以下	○
00544	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	10	2.0	2.0以下	○
00545	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_汚泥処理棟B1F汚泥貯留槽	1989	22	18	4.5	4.3	―
00546	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	2.0	2.0以下	○
00547	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00548	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	―
00549	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	―
00550	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00551	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	―
00552	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	―
00553	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	3.5	―
00554	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	2.0	2.0以下	○
00555	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	2.0	2.0以下	○
00556	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	―
00557	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	―
00558	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	3.5	―
00559	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	―
00560	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	―
00561	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	3.5	―
00562	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	4.3	―
00563	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	4.3	―
00564	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	4.3	―
00565	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬入室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00566	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	2.0	2.0以下	○
00567	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00568	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00569	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	4.3	―

長寿命化検討対象外設備における改築必要性判定表

土木 (2/2)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度（H23）	長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）	更新対象
00570	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.0	3.7	―
00571	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00572	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00573	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室外部	1988	23	18	4.5	4.3	―
00574	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00575	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00576	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00577	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00578	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00579	付帯設備	手摺	手摺(SUS)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00580	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00581	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	4.5	4.3	―
00582	付帯設備	簡易覆蓋	縞鋼板_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	2.0	2.0以下	○
00583	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	2.0	2.0以下	○
00584	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	4.5	4.3	―
00585	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	18	4.5	4.3	―
00586	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	10	4.0	3.7	―
00587	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F流入水路上部	1988	23	18	4.0	3.7	―
00588	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	18	4.5	4.3	―
00589	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	10	4.0	3.7	―
00590	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	―

４．２　長寿命化検討対象設備

4.2.1　健全度予測の考え方

長寿命化検討対象の資産は、構成している各部品の健全度の予測を行う。各部品の健全度予測の概要を図４－２に示す。各設置年度の健全度を 5.0 とし、評価年度の健全度を結び健全度推移線を設定し、長寿命化計画期間最終年度の健全度の値を求める。

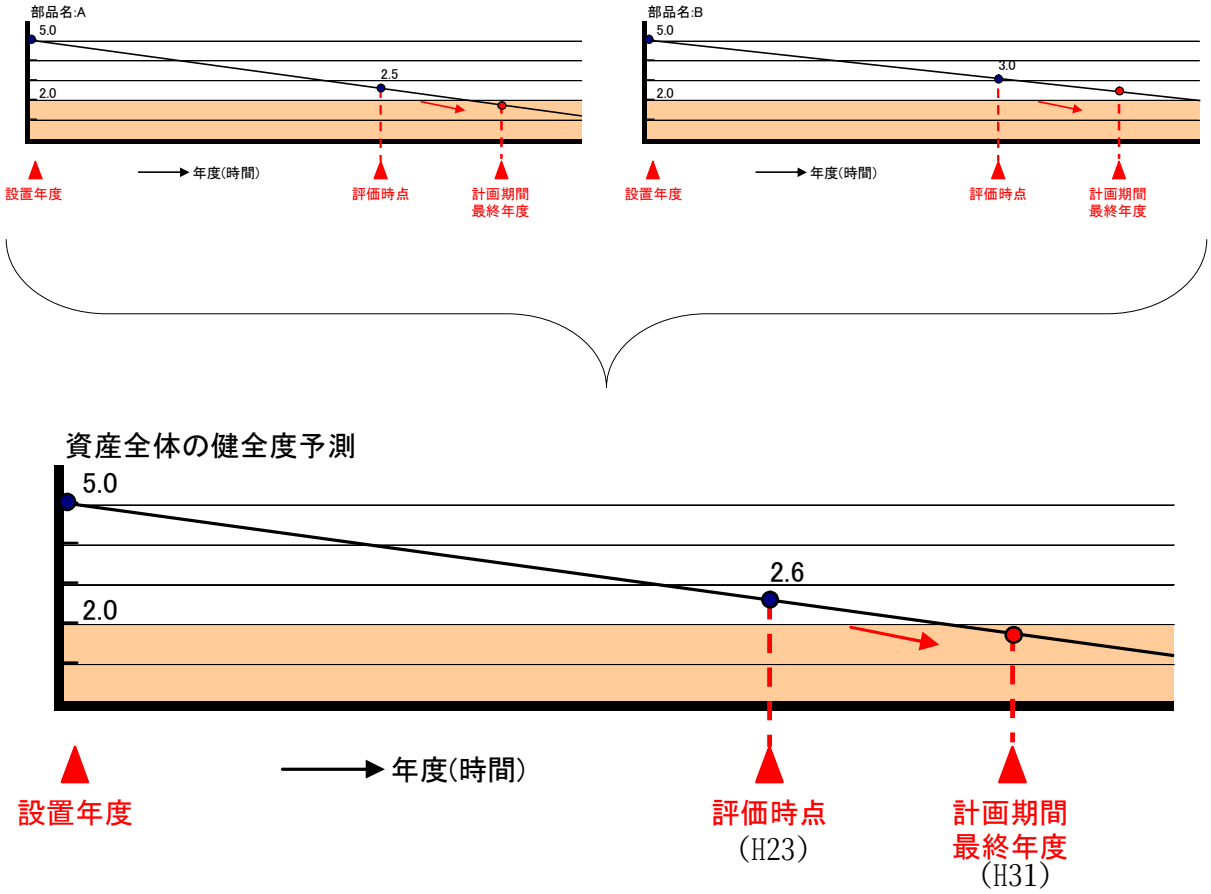


図４-２　健全度予測の概要(長寿命化検討対象設備)

なお、鳥栖市の長寿命化計画は、平成 26 年度から実施する予定で進めていることから、計画期間最終年度は平成 31 年度とした。

4.2.2　改築必要性の判定結果

長寿命化検討対象設備における改築必要性の判定結果を次ページに示す。

長寿命化検討対象設備における改築必要性判定表　機械設備

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	部品名称	評価時の部品健全度（H23）		長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）		更新対象
00003	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.5	2.7	2.9	2.0以下	—
							本体外観	2.0		2.0以下		○
							電動機	2.0		2.0以下		○
							軸ｼｰﾙ	3.5		2.9		—
							主軸	3.5		2.9		—
							計装機器	3.5		2.9		—
00004	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.5	2.7	2.9	2.0以下	—
							本体外観	2.0		2.0以下		○
							電動機	2.0		2.0以下		○
							軸ｼｰﾙ	3.5		2.9		—
							主軸	3.5		2.9		—
							計装機器	3.5		2.9		—
00005	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.5	3.5	2.9	2.9	—
							本体外観	3.5		2.9		—
							電動機	3.5		2.9		—
							軸ｼｰﾙ	3.5		2.9		—
							主軸	3.5		2.9		—
							計装機器	3.5		2.9		—
00006	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.7	3.7	3.2	3.2	—
							本体外観	3.7		3.2		—
							電動機	3.7		3.2		—
							軸ｼｰﾙ	3.7		3.2		—
							主軸	3.7		3.2		—
							計装機器	3.7		3.2		—
00007	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.7	3.7	3.2	3.2	—
							本体外観	3.7		3.2		—
							電動機	3.7		3.2		—
							軸ｼｰﾙ	3.7		3.2		—
							主軸	3.7		3.2		—
							計装機器	3.7		3.2		—
00016	ｽｸﾘｰﾝかす設備	自動除塵機	No.1自動除塵機	1988	23	15	ﾊﾟｰｽｸﾘｰﾝ	3.0	2.3	2.3	2.0以下	—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.0		2.3		—
							ﾁｪｰﾝ、ﾛｰﾗｶﾞｲﾄﾞ	2.0		2.0以下		○
							ﾚｰｷｱｰﾑ	2.0		2.0以下		○
							本体電動機	2.0		2.0以下		○
							ｹｰｼﾝｸﾞ	2.0		2.0以下		○
							ﾌﾚｰﾑ	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.1		2.4		—
							制御盤	3.1		2.4		—
00021	汚水沈砂設備	沈砂洗浄機	沈砂し渣洗浄機	1988	23	15	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.0	2.8	2.3	2.0以下	—
							軸ｼｰﾙ	3.0		2.3		—
							電動機	3.0		2.3		—
							ﾀﾝｸ外面	3.0		2.3		—
							ﾀﾝｸ内面	2.0		2.0以下		○
							自動ｽｸﾘｰﾝ	3.0		2.3		—
00023	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ分離機	ｽｶﾑ分離機	2001	10	15	回転ｽｸﾘｰﾝ	4.1	3.5	3.4	2.3	—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	4.1		3.4		—
							ﾌﾚｰﾑ	2.0		2.0以下		○
							電動機	4.1		3.4		—
							潤滑油装置	4.1		3.4		—
							制御盤	4.1		3.4		—
00039	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	変減速機	3.5	2.9	2.9	2.1	—
							電動機	3.5		2.9		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5		2.9		—
							走行ﾚｰﾙ	3.5		2.9		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.5		2.9		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.5		2.9		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5		2.9		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.5		2.9		—

長寿命化検討対象設備における改築必要性判定表　機械設備

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	部品名称	評価時の部品健全度（H23）		長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）		更新対象
00040	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	変減速機	3.5	2.9	2.9	2.1	—
							電動機	3.5		2.9		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5		2.9		—
							走行ﾚｰﾙ	3.5		2.9		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.5		2.9		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.5		2.9		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5		2.9		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.5		2.9		—
00041	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	変減速機	2.5	3.0	2.0以下	2.1	○
							電動機	3.5		2.8		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	2.5		2.0以下		○
							走行ﾚｰﾙ	3.8		3.3		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.8		3.3		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.8		3.3		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8		3.3		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.8		3.3		—
00042	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	変減速機	3.8	3.0	3.3	2.1	—
							電動機	2.0		2.0以下		○
							ｹｰｼﾝｸﾞ	2.5		2.0以下		○
							走行ﾚｰﾙ	3.8		3.3		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.8		3.3		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.8		3.3		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8		3.3		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.8		3.3		—
00043	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4初沈汚泥掻寄機	1996	15	15	変減速機	4.0	3.8	3.5	3.2	—
							電動機	4.0		3.4		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	2.5		2.0以下		○
							走行ﾚｰﾙ	4.0		3.5		—
							本体用ﾁｪﾝ	4.0		3.5		—
							ﾌﾗｲﾄ	4.0		3.5		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	4.0		3.5		—
							駆動軸	4.0		3.5		—
							水中軸	4.0		3.5		—
							潤滑油装置	2.0		2.0以下		○
00079	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	散気板、散気筒	3.0	3.0	2.2	2.2	—
							配管類	3.0		2.2		—
00080	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	散気板、散気筒	3.0	3.0	2.2	2.2	—
							配管類	3.0		2.2		—
00081	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	散気板、散気筒	3.0	3.0	2.2	2.2	—
							配管類	3.0		2.2		—
00082	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	散気板、散気筒	3.0	3.0	2.2	2.2	—
							配管類	3.0		2.2		—
00083	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	散気板、散気筒	3.0	3.0	2.1	2.1	—
							配管類	3.0		2.1		—
00084	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	散気板、散気筒	3.0	3.0	2.1	2.1	—
							配管類	3.0		2.1		—
00091	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	変減速機	3.5	2.9	2.9	2.1	—
							電動機	3.5		2.9		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5		2.9		—
							走行ﾚｰﾙ	3.5		2.9		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.5		2.9		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.5		2.9		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5		2.9		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.5		2.9		—

長寿命化検討対象設備における改築必要性判定表　機械設備

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	部品名称	評価時の部品健全度（H23）		長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）		更新対象
00092	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	変減速機	3.5	2.9	2.9	2.1	—
							電動機	3.5		2.9		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	3.5		2.9		—
							走行ﾚｰﾙ	3.5		2.9		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.5		2.9		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.5		2.9		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.5		2.9		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.5		2.9		—
00093	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	変減速機	3.8	3.1	3.3	2.2	—
							電動機	3.8		3.3		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	3.8		3.3		—
							走行ﾚｰﾙ	3.5		2.8		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.8		3.3		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.8		3.3		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8		3.3		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.8		3.3		—
00094	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	変減速機	3.8	3.0	3.3	2.2	—
							電動機	3.4		2.6		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	3.8		3.3		—
							走行ﾚｰﾙ	3.5		2.8		—
							本体用ﾁｪﾝ	3.8		3.3		—
							ﾌﾗｲﾄ	3.8		3.3		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	3.8		3.3		—
							駆動軸	2.0		2.0以下		○
							水中軸	2.0		2.0以下		○
							潤滑油装置	3.8		3.3		—
00095	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4終沈汚泥掻寄機	1996	15	15	変減速機	4.0	4.0	3.5	3.5	—
							電動機	4.0		3.5		—
							ｹｰｼﾝｸﾞ	4.0		3.5		—
							走行ﾚｰﾙ	4.0		3.5		—
							本体用ﾁｪﾝ	4.0		3.5		—
							ﾌﾗｲﾄ	4.0		3.5		—
							ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	4.0		3.5		—
							駆動軸	4.0		3.5		—
							水中軸	4.0		3.5		—
							潤滑油装置	4.0		3.5		—
00117	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.1送風機	1988	23	20	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.9	3.7	3.5	3.2	—
							本体外観	3.9		3.5		—
							軸ｼｰﾙ	3.9		3.5		—
							軸受	2.0		2.0以下		○
							主軸	3.9		3.5		—
							変減速機	3.9		3.5		—
							計装盤	3.9		3.5		—
00118	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.2送風機	1988	23	20	ｲﾝﾍﾟﾗ	3.9	3.8	3.5	3.3	—
							本体外観	3.9		3.5		—
							軸ｼｰﾙ	3.9		3.5		—
							軸受	3.0		2.3		—
							主軸	3.9		3.5		—
							変減速機	3.9		3.5		—
							計装盤	3.9		3.5		—
00119	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.4送風機	1993	18	20	ｲﾝﾍﾟﾗ	4.1	4.1	3.7	3.7	—
							本体外観	4.1		3.7		—
							軸ｼｰﾙ	4.1		3.7		—
							軸継手	4.1		3.7		—
							軸受	3.9		3.3		—
							主軸	4.1		3.7		—
							ｲﾝﾚｯﾄﾍﾞｰﾝ	4.1		3.7		—
							計装盤	4.1		3.7		—

長寿命化検討対象設備における改築必要性判定表　機械設備

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	部品名称	評価時の部品健全度（H23）		長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）		更新対象
00121	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.5送風機	1993	18	20	ｲﾝﾍﾟﾗ	4.1	4.0	3.7	3.5	—
							本体外観	4.1		3.7		—
							軸ｼｰﾙ	4.1		3.7		—
							軸継手	4.1		3.7		—
							軸受	2.7		2.0以下		○
							主軸	4.1		3.7		—
							ｲﾝﾚｯﾄﾍﾞｰﾝ	4.1		3.7		—
							計装盤	4.1		3.7		—
00123	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.1送風機用電動機	1988	23	20	軸	3.5	3.7	3.0	3.3	—
							軸受	3.0		2.3		—
							コイル	3.9		3.5		—
							本体外観	3.9		3.5		—
00124	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.2送風機用電動機	1988	23	20	軸	3.0	3.5	2.3	3.0	—
							軸受	3.0		2.3		—
							コイル	3.9		3.5		—
							本体外観	3.5		3.0		—
00125	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.4送風機用電動機	1993	18	20	軸	4.1	3.9	3.7	3.4	—
							軸受	4.1		3.7		—
							コイル	4.1		3.7		—
							本体外観	3.5		2.8		—
00126	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.5送風機用電動機	1993	18	20	軸	4.1	3.8	3.7	3.3	—
							軸受	3.5		2.8		—
							コイル	4.1		3.7		—
							本体外観	3.5		2.8		—
00189	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす洗浄機	汚泥ｽｸﾘｰﾝ(新)	2002	9	15	ｲﾝﾍﾟﾗ	4.2	3.5	3.5	2.1	—
							軸ｼｰﾙ	3.5		2.2		—
							電動機	4.2		3.5		—
							ﾀﾝｸ外面	2.5		2.2		—
							ﾀﾝｸ内面	2.5		2.2		—
							自動ｽｸﾘｰﾝ	4.2		3.6		—
00228	汚泥輸送･前処理設備	貯留装置	ｹｰｷﾎｯﾊﾟｰ	1990	21	15	ﾎｯﾊﾟ外部	3.2	2.7	2.5	2.0以下	—
							ﾎｯﾊﾟ内部	2.0		2.0以下		○
							電動ｼﾘﾝﾀﾞｰ	3.2		2.5		—
							重量計	3.2		2.5		—
							制御盤	3.2		2.5		—
00231	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	No.3脱水機	1994	17	15	ﾛｰﾙ、軸受	2.0	2.5	2.0以下	2.0以下	○
							変減速機	2.0		2.0以下		○
							電動機	3.0		2.1		—
							潤滑油装置	3.9		3.3		—
							ﾌﾚｰﾑ、ｹｰｼﾝｸﾞ、ｼｭｰﾄ	2.0		2.0以下		○
							制御盤	3.9		3.3		—
							計装機器	3.9		3.3		—
							ろ布	3.9		3.3		—
00296	自家発電設備	原動機	原動機	1989	22	15	本体外観	3.1	3.1	2.4	2.4	—
							ﾀｰﾋﾞﾝ部	3.1		2.4		—
							ｲﾝﾍﾟﾗ	3.1		2.4		—
							軸継手	3.1		2.4		—
							軸受	3.1		2.4		—
							出力軸、軸受	3.1		2.4		—
							軸	3.1		2.4		—
							配管、ﾀﾞｸﾄ類	3.1		2.4		—
							燃料供給噴射装置	3.1		2.4		—
							冷却装置	3.1		2.4		—
							計装機器	3.1		2.4		—

長寿命化検討対象設備における改築必要性判定表　機械設備

：根幹部品を示す

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	部品名称	評価時の部品健全度（H23）		長寿命化計画期間の最終年度の健全度（H31）		更新対象
00322	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4汚水ﾎﾟﾝﾌﾟVVVF盤	2004	7	10	筐体	3.6	3.6	2.0以下	2.0以下	○
							ﾕﾆｯﾄ	3.6		2.0以下		○
							VVVFﾕﾆｯﾄ	3.6		2.0以下		○
							銅帯	3.6		2.0以下		○
							主回路	3.6		2.0以下		○
							制御回路(配線機器含む)	3.6		2.0以下		○
							指示計器	3.6		2.0以下		○
							状態表示灯	3.6		2.0以下		○
							換気ﾌｧﾝ	3.6		2.0以下		○

５．長寿命化対策等の基本方針の検討

5.1　各種アクションの設定

長寿命化検討対象と位置づけられた各施設・設備について、健全度判定結果を元に劣化予測を行い、複数のアクションを設定し、評価期間における費用及び健全度推移をシミュレーションすることで比較を行う。これにより最適アクションを選定する。最適アクション選定までの手順は以下の通りである。

(1)　健全度予測
(2)　アクションの選定
(3)　LCC（ライフサイクルコスト）比較
(4)　最適アクションの選定

(1)　健全度予測

「4.2　長寿命化検討対象設備」において、改築必要と判定された設備について、部品毎の健全度評価値から劣化予測を行い、健全度推移グラフを作成する。

(2)　アクションの選定

費用期間の予測は、検討パターン（アクション）を設定し、アクション毎の期間費用を算出し、その年価の比較により最適アクションを選定する。アクションは以下のように設定する。

●アクション 1：更新シナリオ

各部品のうち、どれか一つの健全度が 2 以下になった時点で設備単位にて更新する。

●アクション 2：長寿命化シナリオ

各部品のうち、どれか一つの健全度が 2 以下になった時点で部品交換を行って健全度を回復させ、設備単位の更新が必要な状態※になるまで長寿命化する。

※　特に設備の根幹を構成する部品※※の健全度が 2 以下になる場合や、健全度が 2 以下になった部品が生産中止で交換不可能な状態などを指す。

長寿命化検討対象の設備に設定した各アクションにおける健全度予測を行い、評価期間（設備のライフサイクル）を算出する。
各年度の健全度は、対象部品ごとにそれぞれ特性を考慮して算出・設定した経過年数と健全度の関係式を用いて算出する。

※※　設備の根幹を構成する部品とは、その部品の交換を考えた場合に単体での交換が不可能なもの、高額なもので設備全体の更新より不経済となるものを示す。

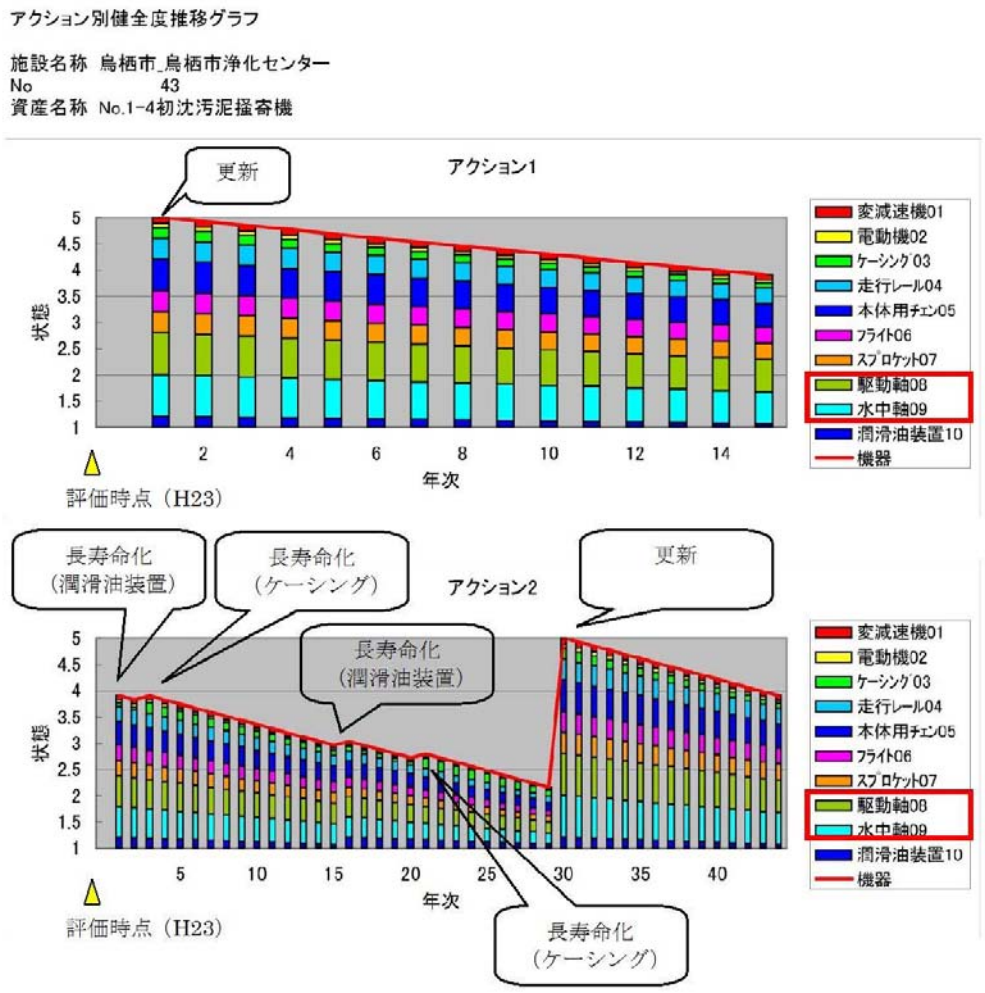
長寿命化検討対象設備における改築必要性判定表

No.	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	アクションの選定	長寿命化期間内のアクション検討
00003	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「本体外観」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00004	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「本体外観」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00005	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00006	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00007	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00016	ｽｸﾘｰﾝかす設備	自動除塵機	No.1自動除塵機	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「フレーム」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00021	汚水沈砂設備	沈砂洗浄機	沈砂し渣洗浄機	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「タンク内面」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00023	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ分離機	ｽｶﾑ分離機	2001	10	15	計画期間内に、根幹部品である「フレーム」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00039	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00040	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00041	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00042	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00043	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4初沈汚泥掻寄機	1996	15	15	計画期間内に、「ケーシング」、「潤滑油装置」の健全度が2.0以下となるため、アクション比較を行う。	有
00079	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00080	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00081	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00082	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00083	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00084	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00091	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00092	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00093	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00094	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	計画期間内に、根幹部品である「駆動軸」、「水中軸」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00095	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4終沈汚泥掻寄機	1996	15	15	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無

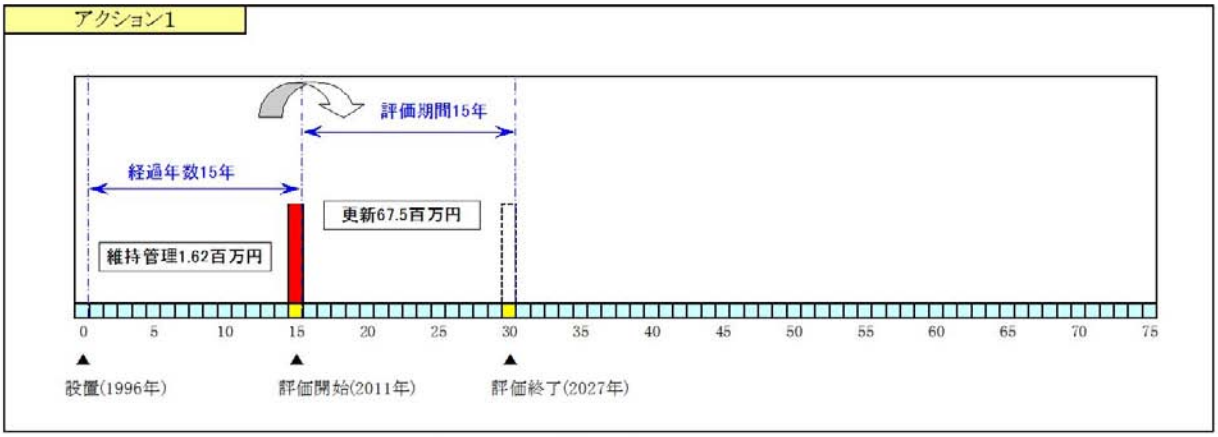
長寿命化検討対象設備における改築必要性判定表

No.	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準耐用年数	アクションの選定	長寿命化期間内のアクション検討
00117	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.1送風機	1988	23	20	計画期間内に、「軸受け」の健全度が2.0以下となるため、アクション比較を行う。	有
00118	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.2送風機	1988	23	20	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00119	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.4送風機	1993	18	20	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00121	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.5送風機	1993	18	20	計画期間内に、「軸受け」の健全度が2.0以下となるため、アクション比較を行う。	有
00123	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.1送風機用電動機	1988	23	20	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00124	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.2送風機用電動機	1988	23	20	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00125	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.4送風機用電動機	1993	18	20	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00126	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.5送風機用電動機	1993	18	20	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00189	汚泥輸送･前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす洗浄機	汚泥ｽｸﾘｰﾝ(新)	2002	9	15	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00228	汚泥輸送･前処理設備	貯留装置	ｹｰｷﾎｯﾊﾟｰ	1990	21	15	計画期間内に、根幹部品である「ホッパ内部」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00231	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	No.3脱水機	1994	17	15	計画期間内に、根幹部品である「フレーム、ケーシング、シュート」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無
00296	自家発電設備	原動機	原動機	1989	22	15	計画期間内に、すべての部品の健全度が2.0以下とならないため、維持とする。	無
00322	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4汚水ﾎﾟﾝﾌﾟVVVF盤	2004	7	10	計画期間内に、根幹部品である「筐体」の健全度が2.0以下となるため、更新する。	無

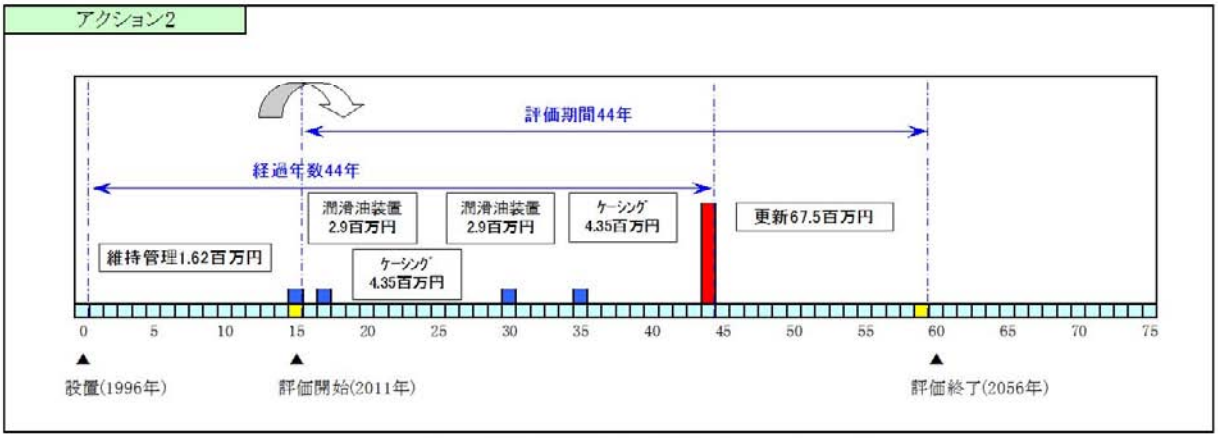
(3)　LCC（ライフサイクルコスト）比較



部品名称	健全度（H23		
変減速機	4.0		
電動機	4.0		
ｹｰｼﾝｸﾞ	2.5		
走行ﾚｰﾙ	4.0		
本体用ﾁｪﾝ	4.0		
ﾌﾗｲﾄ	4.0		
ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	4.0		
駆動軸	4.0	→	根幹部品
水中軸	4.0	→	根幹部品
潤滑油装置	2.0		



No.1-4 最初沈殿池汚泥掻き寄せ機(アクション1)のコスト



No.1-4 最初沈殿池汚泥掻き寄せ機(アクション2)のコスト

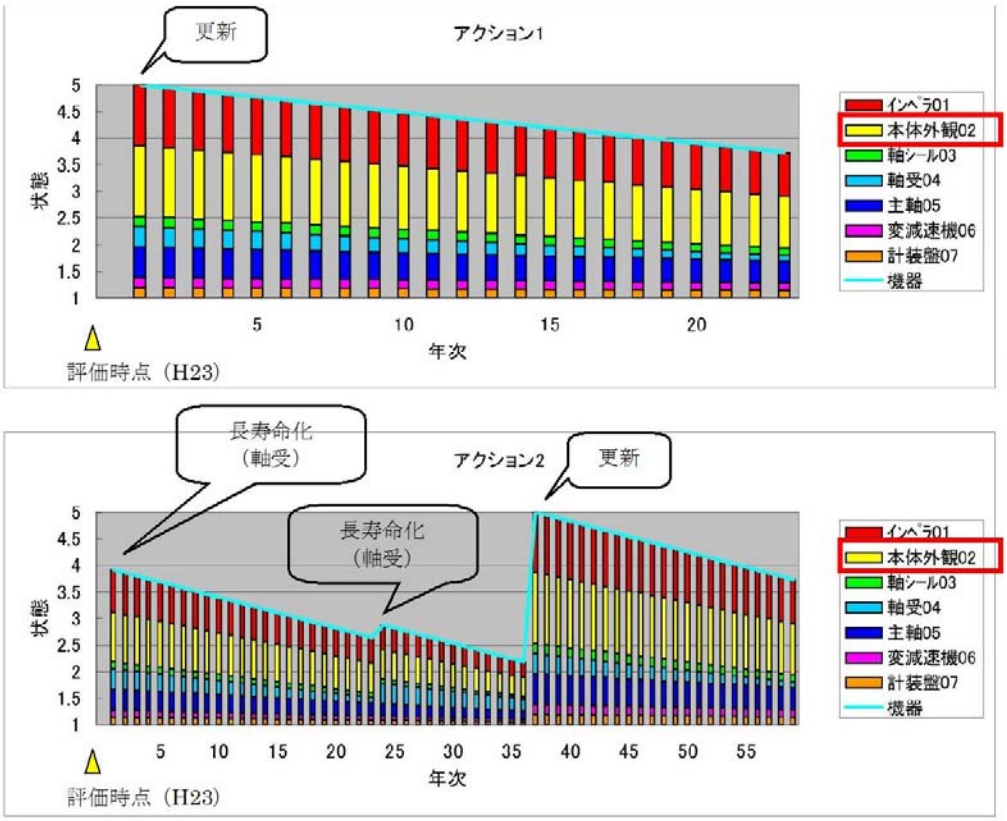
○下水道長寿命化支援制度の要件への合致について

- 長寿命化対策実施時点における設備の使用年数　15 年 ≧ 処分制限期間 7年 ：OK(潤滑油装置)
- 長寿命化対策実施時点における設備の使用年数　17 年 ≧ 処分制限期間 7年 ：OK(ｹｰｼﾝｸﾞ)
- 長寿命化対策実施後の設備の使用年数　15 年 ≧ 処分制限期間 7年 ：OK(潤滑油装置)
- 長寿命化対策実施後の設備の使用年数　18 年 ≧ 処分制限期間 7年 ：OK(ｹｰｼﾝｸﾞ)
- 設置から更新までの設備の使用年数　44 年 ≧ 標準耐用年数 15年 ：OK

		使用年数（年）	累積費用（百万円）	年平均費用（百万円）	評　価
00043 No.1-4初沈汚泥掻寄機	アクション1	15	91.8	6.1	
	アクション2	44	153.3	3.5	○
	コスト削減効果	6.1 - 3.5 = 2.6百万円/年のコスト削減			

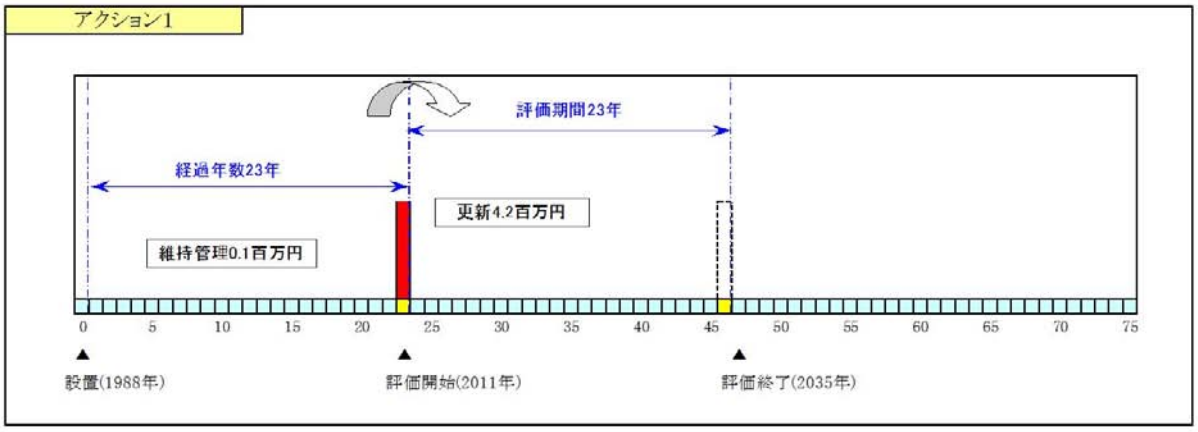
アクション別健全度推移グラフ

施設名称 鳥栖市_鳥栖市浄化センター
No 117
資産名称 No.1送風機

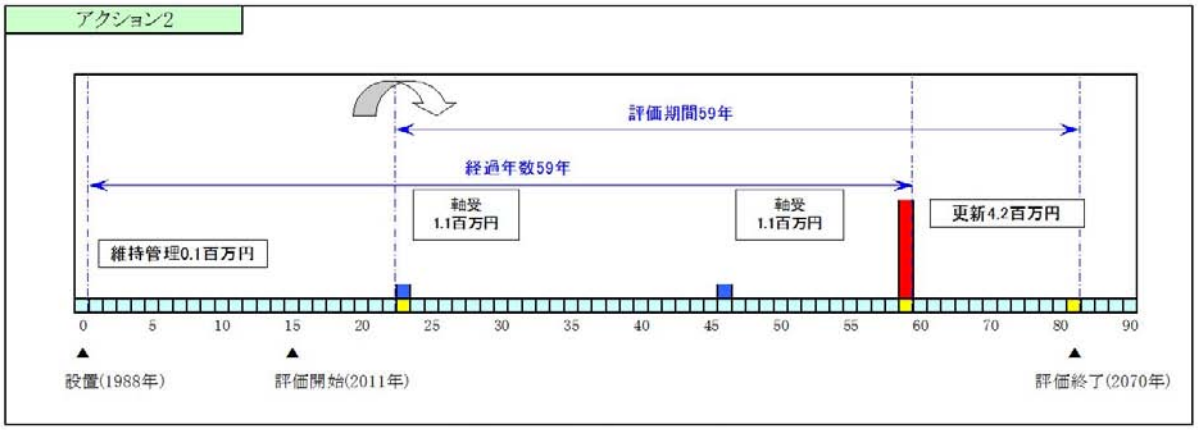


部品名称	健全度（H23）
ｲﾝﾍﾟﾗ	3.9
本体外観	3.9
軸ｼｰﾙ	3.9
軸受	2.0
主軸	3.9
変減速機	3.9
計装盤	3.9

→ 根幹部品



No.1　送風機(アクション1)のコスト



No.1　送風機(アクション2)のコスト

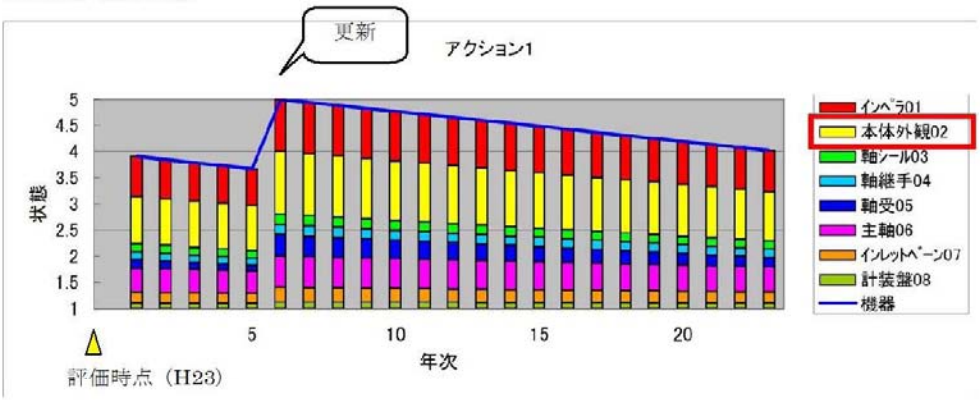
○下水道長寿命化支援制度の要件への合致について

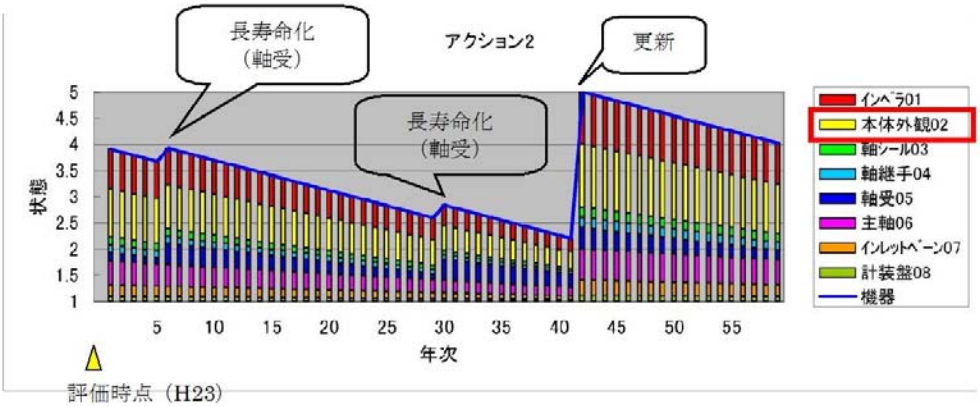
- 長寿命化対策実施時点における設備の使用年数　23 年 ≧ 処分制限期間 7年 ：OK
- 長寿命化対策実施後の設備の使用年数　23 年 ≧ 処分制限期間 7年 ：OK
- 設置から更新までの設備の使用年数　59 年 ≧ 標準耐用年数 15年 ：OK

		使用年数 (年)	累積費用 (百万円)	年平均費用 (百万円)	評　価
00117 No1送風機	アクション1	23	6.5	0.3	
	アクション2	59	12.3	0.2	○
	コスト削減効果	0.3 - 0.2 = 0.1百万円/年のコスト削減			

アクション別健全度推移グラフ

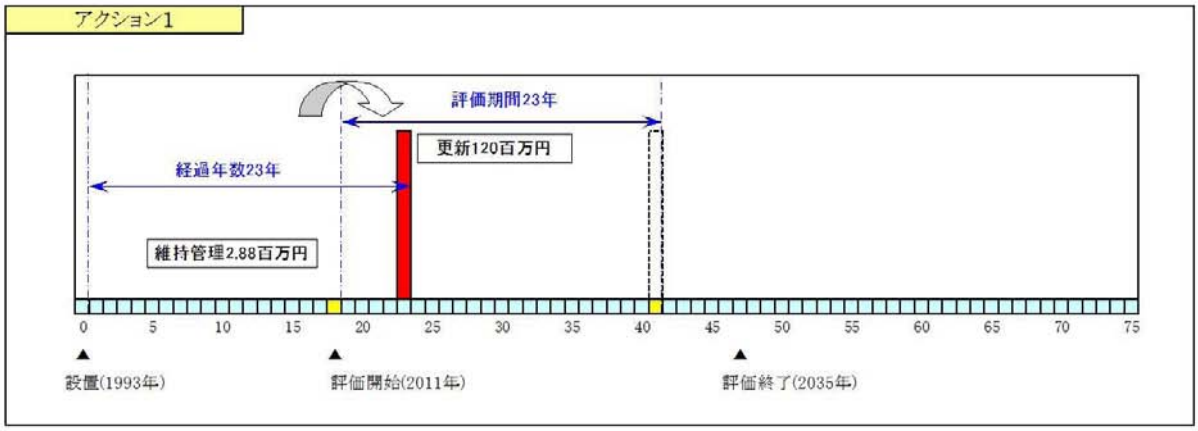
施設名称 鳥栖市_鳥栖市浄化センター
No 121
資産名称 No.5送風機



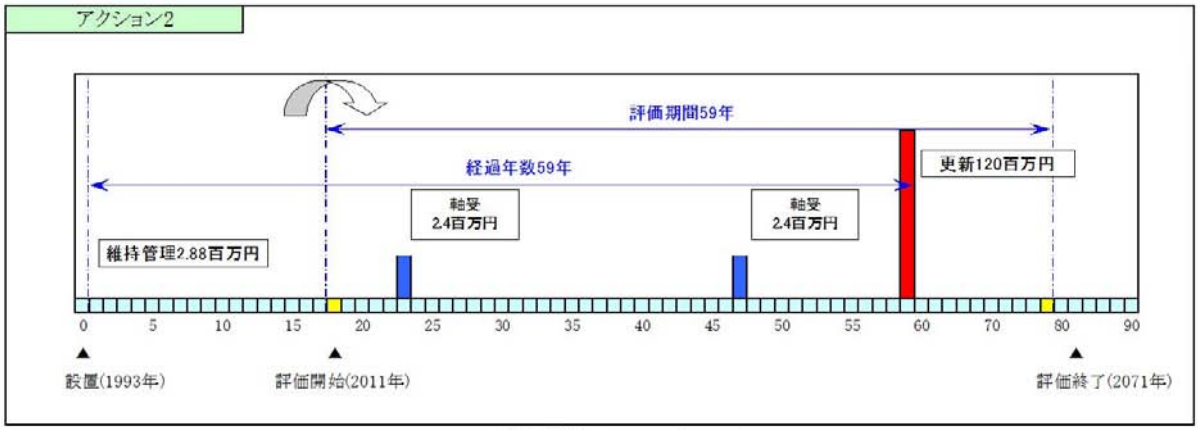


部品名称	健全度（H23）
ｲﾝﾍﾟﾗ	4.1
本体外観	4.1
軸ｼｰﾙ	4.1
軸継手	4.1
軸受	2.7
主軸	4.1
ｲﾝﾚｯﾄﾍﾞｰﾝ	4.1
計装盤	4.1

→ 根幹部品



No.5 送風機(アクション1)のコスト



No.5 送風機(アクション2)のコスト

○下水道長寿命化支援制度の要件への合致について

- 長寿命化対策実施時点における設備の使用年数　23　年 ≧ 処分制限期間　7年　：OK
- 長寿命化対策実施後の設備の使用年数　24　年 ≧ 処分制限期間　7年　：OK
- 設置から更新までの設備の使用年数　59　年 ≧ 標準耐用年数　15年　：OK

		使用年数(年)	累積費用(百万円)	年平均費用(百万円)	評　価
00121 No5送風機	アクション1	23	186.2	8.1	
	アクション2	59	294.7	5.0	○
	コスト削減効果	8.1 - 5 = 3.1百万円/年のコスト削減			

(4)　最適アクションの選定

　各アクションの年平均費用を算定することにより、最適アクションの選定を行う。年平均費用は累積費用を使用年数（当該・設備の設置から再構築までの年数）で除した値と定める。結果を以下に示す。

		使用年数 （年）	累積費用 （百万円）	年平均費用 （百万円）	評　価
00043 No.1-4初沈汚泥掻寄機	アクション1	15	91.8	6.1	
	アクション2	44	153.3	3.5	○
	コスト削減効果	6.1 - 3.5 = 2.6百万円/年のコスト削減			
00117 No1送風機	アクション1	23	6.5	0.3	
	アクション2	59	12.3	0.2	○
	コスト削減効果	0.3 - 0.2 = 0.1百万円/年のコスト削減			
00121 No5送風機	アクション1	23	186.2	8.1	
	アクション2	59	294.7	5.0	○
	コスト削減効果	8.1 - 5 = 3.1百万円/年のコスト削減			

※アクション1　＝　更新費用+維持管理費用
　アクション2　＝　更新費用+長寿命化費用+維持管理費用

ライフサイクルコスト縮減額の算定

前項までの検討内容をもとに、ライフサイクルコストの縮減額を算定した結果を以下に示す。

百万円

43	年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	改善額累計
	毎年度の改善額	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	
	年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
No.1-4初沈汚泥掻寄機	毎年度の改善額	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	55.5
	年度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44		
	毎年度の改善額	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5		

百万円

117	年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	改善額累計
	毎年度の改善額	0.07	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	
	年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	毎年度の改善額	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	
	年度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
No1送風機	毎年度の改善額	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	1.7
	年度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59		
	毎年度の改善額	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		

百万円

121	年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	改善額累計
	毎年度の改善額	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7	2.5	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1	2.0	1.9	1.9	1.8	
	年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	毎年度の改善額	1.7	1.7	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	
	年度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
No5送風機	毎年度の改善額	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	73.1
	年度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59		
	毎年度の改善額	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3		

※「改善額累計」は以下の計算式による。
(毎年度の改善額)＝(コスト縮減額)/(1+r)j-1
より、
(改善額累計)＝(コスト縮減額)×{1-(1+r)-j}/{1-(1+r)-1}

ただし、各変数の意味は以下のとおりとする。
r:社会的割引率(0.04)
j:年次

百万円

改善額合計
130.3

5.2　長寿命化検討期間における対策方針

調査結果に基づき、計画期間内に実施する施設・設備は以下のとおりである（詳細は「今後の対策方針　検討結果一覧表」参照)。

機械設備はスクリーンかす設備の自動除塵機、スクリーンかす脱水機、汚泥沈砂設備の沈砂分離機、トラフコンベヤ等、最初沈殿池設備のスカム分離機、汚泥かき寄せ機等、ゲート設備の可動堰、反応タンク設備の散気装置、最終沈殿池設備の汚泥かき寄せ機、スカム除去装置、用水設備のろ過機、ポンプ、消毒設備の薬品貯留タンク、汚泥濃縮設備の汚泥かき寄せ機、汚泥貯留設備の機械式撹拌機、汚泥輸送・前処理設備の貯留装置、汚泥脱水設備の汚泥脱水機、汚泥供給ポンプ、調質設備の有機凝集剤注入装置、配管類の更新を行う。また、No１－４初沈汚泥かき寄せ機設備、No１送風機設備、No５送風機設備については、部品交換による長寿命化対策を実施する。

なお、長寿命化計画期間最終年度の健全度が 2.0 以下でない資産のうち、汚水沈砂設備の沈砂分離機は沈砂洗浄機に付随する機器であるため、汚泥脱水設備の No３汚泥供給ポンプ、No３薬品供給ポンプは No３脱水機に付随する機器であるため更新を行う。長寿命化計画期間最終年度の健全度が 2.0 以下である資産のうち、ゲート設備の No１－４稼動堰、No１－４－１エアタンステップ流入可動堰、No１、２汚泥分配可動堰は長寿命化計画期間内に標準的耐用年数を経過しないため、汚水ポンプ設備の No１、２主ポンプについては初期対応ポンプであり、休止しても揚水能力に問題が生じないため維持とする。

電気設備は、受変電設備、計測設備、監視制御設備、制御用電源及び計装用電源設備、負荷設備の更新を行う。

なお、長寿命化計画期間最終年度の健全度が 2.0 以下でない資産のうち、監視制御設備の No1_2 スカム分離機現場操作盤、し渣脱水機現場操作盤は更新を行う。長寿命化計画期間最終年度の健全度が 2.0 以下である資産のうち、計測設備のレベル計、濃度計、流量計の一部、受変電設備の変圧器盤、監視制御設備のＣＲＴ操作卓等、自家発電設備の一式については維持管理の状況、事業の優先度を考慮して維持に、監視制御設備の現場盤、補助リレー盤、負荷設備のコントロールセンタで機械設備が今回の計画期間内に更新を行わないものは維持とする。

土木施設は、付帯設備の簡易覆蓋、内部防食、金属物のタラップの更新を行う。

なお、長寿命化計画期間最終年度の健全度が 2.0 以下である資産のうち、事業の優先度を考慮し、付帯設備、金属物の一部を維持とする。

次ページ以降に工種毎の詳細、仕様の検討結果を示す。

5.2.1　機械設備

■基本方針

（1）沈砂池設備

1）スクリーンかす・沈砂設備

No.1 自動除塵機は、「チェーン、ローラガイド」「レーキアーム」「本体電動機」「ケーシング」「フレーム」（根幹部品）の錆・腐食が著しく、部品健全度が全て 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

既設 No1 自動除塵機の形式は「間欠式」であり、実績が多く信頼性がある。また既設 No2.3 自動除塵機（今回対象外）の形式は「間欠式」であることから維持管理性を考慮し、更新後の形式は既設同様に「間欠式」とする。

No1.2 し渣搬出機は、ケーシング、ローラ部等に錆・腐食が著しく、健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

沈砂し渣洗浄機は、「タンク内面」（根幹部品）の錆・腐食が著しく、部品健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

し渣脱水機は、ケーシング及び内面等の錆・腐食が著しく、健全度が 2.0 以下となるため**「更新」**とする。

サイクロンは、沈砂し渣洗浄機に付帯している機器であり、沈砂し渣洗浄機は前述より更新することから、併せて**「更新」**とする。

沈砂及びし渣の除去設備については、現状のシステムでの維持管理性は特に問題ないことから、現状と同様に以下とする。

・沈砂系統：揚砂ポンプ→**沈砂し渣洗浄機**→コンテナ受け

・し渣系統：自動除塵機→し渣搬出機→**沈砂し渣洗浄機**→し渣脱水機→コンテナ受け

沈砂し渣洗浄機は、沈砂系統及びし渣系統の共通機器であり、沈砂・しさを1つの機器で同時に洗浄・脱水処理が可能である。

沈砂及びし渣の除去方式を既設と同様とすることから、沈砂し渣洗浄機形式についても既設同様に**「機械撹拌式」**とする。

（2）汚水ポンプ設備

1）汚水ポンプ設備

No1.2 主ポンプは、「本体外観」（根幹部品）の錆・腐食が著しく、部品健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。ただし、事業計画期間中に No1.2 主ポンプの運転を停止した状態においても、既設汚水ポンプ能力の方が予想流入水量を上回ることが確認できることから**事業計画期間中は更新を行わず「維持」とする。**

また既設 No1.2 主ポンプの形式は「水中汚水ポンプ」であるが、今後増設す

る汚水ポンプは槽外型の計画であることから、増設機種と同様に**「立軸渦巻斜流ポンプ」**とする。

（3）水処理設備

1）ゲート設備

No1-1～1-4 最初沈殿池流入可動堰、No1-1～1-3 エアタン流入可動堰、No1-1～1-3 返送汚泥流入可動堰は、錆・腐食が著しく、健全度が 2.0 以下となるため**「更新」**とする。

2）最初沈殿池設備

No1-1～1-3 初沈汚泥掻寄機は、「駆動軸」、「水中軸」（両部品とも根幹部品）の劣化が著しく、部品健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

No1-4 初沈汚泥掻寄機は、「ケーシング」、「潤滑油装置」の損傷が著しく、部品健全度が 2.0 以下となる。

LCC 比較検討の結果、「ケーシング」、「潤滑油装置」の交換を行う**「長寿命化」**とする。

No1-1～1-4 初沈スカムスキマは、パイプスキマ部の錆・腐食が著しく、健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

スカム分離機は、「フレーム」（根幹部品）の損傷が著しく、部品健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

3）反応タンク設備

No1-1 エアタン散気装置は、経過年数が 23 年で標準耐用年数（10 年）を 13 年経過している。散気状態は良好でなく、健全度が 2.0 以下となるため**「更新」**とする。

更新後の機種は、既設（反応タンク 2 系 3/4 池）と同様に**「超微細気泡式散気装置」（第 2・4 槽目）と、「水中機械式曝気機」（第 1・3 槽目）**とする。

4）最終沈殿池設備

No1-1～1-3 終沈汚泥掻寄機は、「駆動軸」、「水中軸」（両部品とも根幹部品）の腐食が著しく、部品健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

No1-1終沈スカムスキマは、動作不良及びパイプスキマ部の錆・腐食が著しく、健全度が2.0以下となるため、**「更新」**とする。

（4）送風機設備

1）反応タンク設備

No1 送風機は、「軸受」の振動値が高く、部品健全度が 2.0 以下となる。

LCC 比較検討の結果、「軸受」の交換を行う**「長寿命化」**とする。

No5 送風機は、「軸受」の温度が高く、部品健全度が 2.0 以下となる。

LCC 比較検討の結果、「軸受」の交換を行う**「長寿命化」**とする。

（5）用水設備

1）用水設備

No1.2 砂ろ過器は、錆・腐食等が著しく、健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

既設 No1.2 砂ろ過器の形式は、「圧力式ろ過器」であるが、増設された砂ろ過器は「移床式連続式砂ろ過器」であることから、更新後の形式は増設機器と同様に「移床式連続式砂ろ過器」とする。

No1.2 原水ポンプは、錆・腐食が著しく、健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。また更新後の移床式砂ろ過器の基数に合せ、1 台のみの更新とする。

No1.2 逆洗ポンプは、圧力式ろ過器の撤去により、**「廃止」**とする。

No1.2 原水ストレーナーは、圧力式ろ過器の撤去により、**「廃止」**とする。

（6）消毒設備

1）消毒設備

No1 次亜塩素酸ソーダ貯槽は、クラック及びピンホールの発生により、応急的な修繕を行っていることから、健全度を 2.0 以下とし、**「更新」**とする。

No2 次亜塩素酸ソーダ貯槽は、No1 次亜塩素酸ソーダ貯槽と同時期に設置されており、同様にクラック及びピンホールの発生が想定され、応急修繕等の対応が迫られる懸念がある。よって健全度を 2.0 以下とし、**「更新」**とする。

（7）汚泥処理設備

1）汚泥濃縮設備

No1.2 濃縮汚泥掻寄機は、全体的に錆・腐食が著しく、健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

2）汚泥脱水設備

No3 脱水機は、「フレーム・ケーシング・シュー」（根幹部品）の錆・腐食が著しく、部品健全度が 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

既設 No3 脱水機の形式は「ベルトプレス脱水機」であるが、更新後の形式は、既に 1 台更新されている機種と同様に「高効率型圧入式スクリュープレス脱水機」とする。

No3汚泥供給ポンプは、脱水機の更新に併せて**「更新」**とする。

3）汚泥貯留設備

No1 汚泥貯留タンク撹拌機は、異音が確認でき健全度は 2.0 以下となるため、**「更新」**とする。

4）調質設備

No3 薬品供給ポンプは、脱水機の更新に併せて**「更新」**とする。

5）汚泥消化タンク設備

No1給水ポンプは、全体的に錆・腐食が著しく、健全度が2.0以下となるため、**「更新」**とする。

6）汚泥輸送・前処理設備

ケーキホッパーは、「ホッパー内部」（根幹部品）の劣化が著しく、部品健全度が 2.0 以下となるため**「更新」**とする。

更新仕様一覧

下記の表に機械設備の更新後の仕様とその採用理由について示す。

表　更新仕様および採用理由一覧表（機械設備）

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
00016 No.1 自動除塵機	間欠型自動除塵機(回転ｱｰﾑ型)(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00018 サイクロン	サイクロン	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00019、00020 No.1.2 し渣搬出機	ﾄﾗﾌ形ﾍﾞﾙﾄｺﾝﾍﾞﾔ(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00021 沈砂し渣洗浄機	沈砂・し渣洗浄機(機械攪拌式)(SS+塗装)	同左	沈砂・し渣の同時除去方式として、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00022 し渣脱水機	しさ脱水機(ｽｸﾘｭｰ式)(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00023 スカム分離機	回転ｽｸﾘｰﾝ式ｽｶﾑ分離機(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
00033～00037 No.1-1～1-4 最初沈殿池流入可動堰	角型外ねじ式可動堰(ｾﾊﾟﾚｰﾄ形)(鋳鉄)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00039～00042 No.1-1～1-3 初沈汚泥掻寄機	ﾁｪｰﾝﾌﾗｲﾄ式(SUSﾁｪｰﾝ)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00043 No.1-4 初沈汚泥掻寄機	ﾁｪｰﾝﾌﾗｲﾄ式(SUSﾁｪｰﾝ)	同左	既設同様（長寿命化） 交換部品：ケーシング、潤滑油装置
00044～00047 No.1-1～1-4 初沈スカムスキマ	矩形池用ﾊﾟｲﾌﾟｽｷﾏ(電動式)(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00058～00060 No.1-1～1-3 エアタン流入可動堰	角型外ねじ式可動堰(ｾﾊﾟﾚｰﾄ形)(鋳鉄)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00062～00064 No.1-1～1-3 返送汚泥流入可動堰	角型外ねじ式可動堰(ｾﾊﾟﾚｰﾄ形)(鋳鉄)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00078 No1-1 エアタン散気装置	散気板	第 2・4 槽：超微細気泡式 第 1・3 槽：水中機械式曝気機	増設済みの機種と同一形式とする。 （JS 標準形式）

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
00091～00094 No.1-1～1-3 終沈汚泥掻寄機	ﾁｪｰﾝﾌﾗｲﾄ式(SUSﾁｪｰﾝ)	ﾁｪｰﾝﾌﾗｲﾄ式(樹脂ﾁｪｰﾝ)	増設済みの機種と同一形式とする。 （JS 標準形式）
00096 No.1-1 終沈スカムスキマ	矩形池用ﾊﾟｲﾌﾟｽｷﾏ(電動式)(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。（JS 標準形式）
00117 No1 送風機	ルーツブロワ	同左	既設同様（長寿命化） 交換部品：軸受
00121 No5 送風機	多段ターボブロワ	同左	既設同様（長寿命化） 交換部品：軸受
00134、00135 No.1.2 砂ろ過器	圧力式砂ろ過器	移床式連続式砂ろ過器(SS+塗装) （1 基は廃止）	増設済みの機種と同一形式とする。 （JS 標準形式）
00138、00139 No.1.2 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	給水用渦巻ﾎﾟﾝﾌﾟ(鋳鉄)	同左 （1 台は廃止）	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。（JS 標準形式）
00142、00143 No.1.2 逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	給水用渦巻ﾎﾟﾝﾌﾟ(鋳鉄)	廃止	圧力式砂ろ過器の撤去に伴い廃止

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
00150、00151 No1.2 原水ストレーナー	自動洗浄ストレーナー	廃止	圧力式砂ろ過器の撤去に伴い廃止
00172、000173 No.1.2 次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	薬品貯留ﾀﾝｸ(FRP)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00176、00177 No.1.2 濃縮汚泥掻寄機	中央駆動懸垂型(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00199 No1 給水ポンプ	渦巻ポンプ	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00210、00211 No.1.2 揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	給水用渦巻ﾎﾟﾝﾌﾟ(鋳鉄)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00214 No1 汚泥貯留タンク撹拌機	竪型 2 段羽根式	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00228 ｹｰｷﾎｯﾊﾟｰ	ﾎｯﾊﾟ(電動ｶｯﾄｹﾞｰﾄ式)(SS+塗装)	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
00231 No.3 脱水機	ﾍﾞﾙﾄﾌﾟﾚｽろ過機(高効率形)(SS+塗装)	高効率型圧入式ｽｸﾘｭｰﾌﾟﾚｽ脱水機	更新済みの機種と同一形式する。(JS 標準形式)
00232 No3 汚泥供給ポンプ	一軸偏心ネジ式ポンプ	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)
00234 No3 薬品供給ポンプ	一軸偏心ネジ式ポンプ	同左	現在の更新機種として十分に実績があり、一般的な形式である既設形式を採用する。(JS 標準形式)

5.2.2　電気設備

■基本方針

1）受変電設備

柱上気中開閉器、引込盤、受電盤、No.1 照明一次盤、No.1 動力一次盤、母連盤、No.1-2 コンデンサ盤、No.1-1_400V 主幹盤、No.1 照明トランス盤は、長寿命化計画最終年度（H31）に経過年数が 31 年となり、健全度が「2.0 以下」となるため**「更新」**とした。

2）制御電源および計装電源設備

すべての資産において、長寿命化計画最終年度（H31）に経過年数が 30 年となり、健全度が「2.0 以下」となるため**「更新」**とした。

3）負荷設備

沈殿池設備、主ポンプ設備、最初沈電池設備、反応タンク設備、最終沈殿地設備、送風機設備、用水設備、消毒設備、濃縮設備、脱水設備関連の機械設備更新に伴い、負荷構成・負荷容量・給電方式の見直しが必要となる。

上記機械設備更新にあわせてコントロールセンタについては、沈砂池設備コントロールセンタ、1 系初沈コントロールセンタ、1 系終沈コントロールセンタ、消毒・用水設備コントロールセンタ、汚泥濃縮設備コントロールセンタ、汚泥脱水(2)・ボイラーコントロールセンタは、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となるため**「更新」**とするが、機械設備更新に必要な面数のみを「更新」とする。

上記機械設備更新にあわせて補助継電器盤については、沈砂池・ポンプ棟リモート IO 盤、沈砂池補助継電器盤、1 系初沈補助継電器盤、1 系終沈補助継電器盤、消毒・用水設備補助継電器盤、1 系水処理リモート IO 盤、送風機棟リモート IO 盤、汚泥濃縮設備補助継電器盤、汚泥脱水(2)・ボイラー補助継電器盤は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となるため**「更新」**とする。ただし、補助継電器盤は、機械設備更新に必要な面数のみを「更新」とする。

上記機械設備更新にあわせて現場操作盤は、No.1～2 主ポンプ現場操作盤、No.1_2 自動除塵機現場操作盤、No.1_2 スカム分離機現場操作盤、沈砂し渣洗浄機・し渣搬出機現場操作盤、し渣脱水機現場操作盤、次亜塩補給盤、No.1-1A～1-3 初沈汚泥掻寄機現場操作盤、N0.1-1～1-4 初沈スカムスキマ現

場操作盤、No.1-1A～1-3 終沈汚泥掻寄機現場操作盤、NO.1-1 終沈スカムスキマ現場操作盤、用水設備現場操作盤、砂ろ過器現場操作盤、No.1～2 濃縮汚泥掻寄機現場操作盤、No.1 蒸気ボイラー制御盤、No.3_4 薬品供給ポンプ現場操作盤、汚泥貯留タンク撹拌機、揚水ポンプ現場操作盤、No.3_4 汚泥供給ポンプ現場操作盤は**「更新」**とした。現場操作盤は、機械設備更新に伴い、運転方式等の見直しが必要となる。

4）計装設備

計装設備において更新する資産は以下のとおりである。なお、更新を行う時期は機械設備更新時期とする。

リスト番号	工種	資産名称	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度 H23 (2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度 H31 (2019年)	基本方針
00249	電気	雨量計	22	10	2.0	2.0以下	更新
00327	電気	No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	22	10	2.0	2.0以下	更新
00331	電気	No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	22	10	2.0	2.0以下	更新
00346	電気	流入渠水位計	22	10	2.0	2.0以下	更新
00391	電気	No.1ｴｱﾀﾝDO	22	10	2.0	2.0以下	更新
00392	電気	No.1ｴｱﾀﾝMLSS	18	10	2.0	2.0以下	更新
00393	電気	No.1-2ｴｱﾀﾝDO	15	10	2.0	2.0以下	更新
00394	電気	No.1-2ｴｱﾀﾝMLSS	15	10	2.0	2.0以下	更新
00405	電気	No.1初沈汚泥濃度計	18	10	2.0	2.0以下	更新
00406	電気	初沈汚泥引抜流量	22	10	2.0	2.0以下	更新
00413	電気	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量	22	10	2.0	2.0以下	更新
00417	電気	No.1-1返送汚泥濃度	22	10	2.0	2.0以下	更新
00418	電気	No.1-2返送汚泥濃度計	18	10	2.0	2.0以下	更新
00419	電気	No.1-2返送汚泥流量	18	10	2.0	2.0以下	更新
00420	電気	No.1-1終沈汚泥引抜流量	22	10	2.0	2.0以下	更新
00421	電気	返送汚泥引抜流量	22	10	2.0	2.0以下	更新
00422	電気	No.1-2終沈汚泥引抜流量	18	10	2.0	2.0以下	更新
00423	電気	No.1-3終沈汚泥引抜流量	18	10	2.0	2.0以下	更新
00466	電気	重力汚泥濃度	17	10	2.0	2.0以下	更新
00467	電気	濃縮汚泥量	21	10	2.0	2.0以下	更新
00494	電気	No.3脱水機供給汚泥流量	17	10	2.0	2.0以下	更新
00497	電気	No.3薬品供給量	17	10	2.0	2.0以下	更新
00512	電気	No.1次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	18	10	2.0	2.0以下	更新
00513	電気	No.2次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	18	10	2.0	2.0以下	更新

5）監視制御設備

計装設備において更新する資産は以下のとおりである。なお、更新を行う時期は機械設備更新時期とする。

リスト番号	工種	資産名称	経過年数	標準耐用年数	評価時の健全度 H23 (2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度 H31 (2019年)	基本方針
00252	電気	計装盤	22	15	2.1	2.0以下	**更新**
00253	電気	中継端子盤	22	15	2.1	2.0以下	**更新**
00254	電気	監視制御盤(1)	22	15	2.1	2.0以下	**更新撤去**
00255	電気	監視制御盤(2)	22	15	2.1	2.0以下	**更新撤去**
00256	電気	監視制御盤(3)	18	15	2.7	2.0以下	**更新撤去**
00259	電気	ﾛｷﾞﾝｸﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	22	10	2.0	2.0以下	**更新撤去**
00260	電気	ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	22	10	2.0	2.0以下	**更新撤去**
00262	電気	CRT操作卓	22	10	2.0	2.0以下	**更新撤去**
00263	電気	受変電監視操作盤	22	15	2.1	2.0以下	**更新**
00264	電気	ﾎﾟﾝﾌﾟ.ﾌﾞﾛﾜ監視操作卓	22	15	2.1	2.0以下	**更新**
00265	電気	1系水処理監視操作卓	22	15	2.1	2.0以下	**更新**
00267	電気	ﾌﾟﾘﾝﾀ	7	7	3.1	2.0以下	**更新**
00306	電気	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟計装変換器盤	22	15	2.1	2.0以下	**更新**
00307	電気	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤	22	10	2.0	2.0以下	**更新**
00378	電気	1系水処理計装変換器盤	22	15	2.1	2.0以下	**更新**
00379	電気	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(1)	22	10	2.0	2.0以下	**更新**
00380	電気	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	22	10	2.0	2.0以下	**更新**
00440	電気	送風機棟ﾘﾓｰﾄIO盤	18	10	2.0	2.0以下	**更新**

6）ケーブル・配管類

ケーブル類および電線管類においては、機械設備更新に対応している箇所のみ**「更新」**する。

更新仕様一覧

下記の表に電気設備の更新後の仕様とその採用理由について示す。

表　更新仕様および採用理由一覧表（電気設備）

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
受変電設備	―	―	既設同様
制御電源および計装電源設備（No.1始動用直流電源盤）	― 蓄電池は、アルカリ蓄電池。	― 蓄電池は、鉛蓄電池（MSE）。	既設同様。 鉛蓄電池（MSE）は、比較的寿命化長く、価格が安価。
御電源および計装電源設備（蓄電池盤、充電器盤、インバータ盤）	― 蓄電池は、アルカリ蓄電池。	― 蓄電池は、鉛蓄電池（MSE）。	既設同様。 鉛蓄電池（MSE）は、比較的寿命化長く、価格が安価。
負荷設備	C/C＋Ry盤 ＋現場操作盤	同左	一般的な仕様とする。
計装設備（No.1/2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計、流入渠水位計）	投込式（No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計はフロート式）	投込式	信頼性が高く、実績も多い。
計装設備（No.1～2次亜塩貯留タンクレベル計）	圧力式	同左	既設同様

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
計装設備 （初沈汚泥引抜流量、No.1-2 返送汚泥流量、返送汚泥引抜流量、No.1-1～1-3 終沈汚泥引抜流量、濃縮汚泥量、 No.3 脱水機供給汚泥流量、No.3 薬品供給量）	電磁式	同左	既設同様
計装設備 （No.1-1 ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量）	超音波式	同左	既設同様
計装設備 （No.1 初沈汚泥濃度計、No.1-1 返送汚泥濃度）	超音波式	近赤外光式	保守点検がほとんど不要。
計装設備 （No.1-2 返送汚泥濃度、重力汚泥濃度）	近赤外光式	近赤外光式	保守点検がほとんど不要。
計装設備 （No.1 エアタン DO、No.1-2 エアタン DO）	浸漬式	蛍光式	信頼性が高く、実績も多い。
計装設備 （No.1 エアタン MLSS、No.1-2 エアタン MLSS）	浸漬式	同左	既設同様

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
計装設備 （雨量計）	―	―	既設同様
監視制御設備 （計装盤、中継端子盤、沈砂池・ポンプ棟計装変換器盤、沈砂池・ポンプ棟リモートIO盤、1系水処理計装変換器盤、1系水処理リモートIO盤(1)～(2)、送風機棟リモートIO盤）	―	―	既設同様
監視制御設備 （受変電監視操作盤、ポンプ・ブロワ監視操作卓、1系水処理監視操作卓）	ミニグラ操作卓 ＋LCD監視装置	LCD監視装置 （既設） ＋LCD監視装置 （増設）	現状、ミニグラの状態が良くなく、既に交換部品もない。 また、製造メーカーがグラパネの製造を注視したため。

5.2.3 土木施設

■ 基本方 針

1）１系最初沈殿池

① 内部防 食

内部防食は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となり、機械の汚泥かき寄せ機の更新と同時施工が可能であることから**「更新」**とした。

2）汚泥貯留槽（Ｎｏ．１，２）

① 簡易覆 蓋

簡易覆蓋は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となり、機械の撹拌機の更新と同時施工が可能であることから**「更新」**とした。

② タラッ プ

タラップは、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となり、機械の撹拌機の更新と同時施工が可能であることから**「更新」**とした。

③ 内部防 食

内部防食は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となり、機械の撹拌機の更新と同時施工が可能であることから**「更新」**とした。

3）汚泥濃縮タンク（Ｎｏ．１，２）

① 簡易覆 蓋

汚泥濃縮タンクのＦＲＰ製覆蓋は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となるため**「更新」**とした。

② 内部防 食

汚泥濃縮タンクの防食塗装は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となるため**「更新」**とした。

4）汚泥濃縮タンク脱離液ピット（Ｎｏ．１）

① 内部防 食

汚泥濃縮タンク**脱離液ピット**の防食塗装は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0 以下」となるため**「更新」**とした。

5）ポンプ棟（1階ゲート室，B1階ポンプ井上部）

① 簡易覆 蓋

ポンプ棟のマンホール蓋、縞鋼板は、長寿命化計画期間内に健全度が「2.0以下」となるため**「更新」**とした。

更新仕様一覧

下記の表に土木施設の更新後の仕様とその採用理由について示す。

表　更新仕様および採用理由一覧表（土木施設）

資産名	既設形式	更新形式	採用理由
簡易覆蓋 （マンホール蓋）	鋳鉄製 ＦＲＰ製	ＦＲＰ製	耐食性が高い
簡易覆蓋 （縞鋼板）	縞鋼板	合成木材蓋	耐食性が高く、維持管理において軽量で、剛性が高く取り扱いが容易
簡易覆蓋 （ＦＲＰ製覆蓋）	ＦＲＰ製	合成木材製	加工性・施工性が良好で、経済性の面でも優位となる
タラップ	樹脂製	ポリプロピレン樹脂被覆	耐食性が高い
手摺	アルミ製	アルミ製	設置部の躯体の欠落が見られるが、材料の損傷はないため、単純更新とする
内部防食	エポキシ樹脂	塗布型ライニング工法	日本下水道事業団の最新の仕様に基づくほか、耐酸性、耐久性に優れる

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00001	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	3.4	□	□	■	
00002	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	3.4	□	□	■	
00003	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.7	2.0以下	□	□	■	初期対応ポンプであり、本ポンプを休止しても他のポンプ能力で全量揚水可能であるため維持とする。
00004	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.7	2.0以下	□	□	■	初期対応ポンプであり、本ポンプを休止しても他のポンプ能力で全量揚水可能であるため維持とする。
00005	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.5	2.9	□	□	■	
00006	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	3.7	3.2	□	□	■	
00007	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ	1992	19	15	3.7	3.2	□	□	■	
00008	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	2.9	□	□	■	
00009	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	2.9	□	□	■	
00010	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1988	23	15	3.5	2.9	□	□	■	
00011	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	3.7	3.2	□	□	■	
00012	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	吐出弁	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ用吐出弁	1992	19	15	3.7	3.2	□	□	■	
00013	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.1沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	3.5	2.9	□	□	■	
00014	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	No.2沈砂池流出ｹﾞｰﾄ	1992	19	25	3.5	2.9	□	□	■	
00015	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	ﾎﾟﾝﾌﾟ井連絡ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.8	3.4	□	□	■	
00016	ｽｸﾘｰﾝかす設備	自動除塵機	No.1自動除塵機	1988	23	15	2.3	2.0以下	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00017	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	No.1揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.0	2.3	□	□	■	
00018	汚水沈砂設備	沈砂分離機	ｻｲｸﾛﾝ	1988	23	15	3.0	2.3	■	□	□	沈砂洗浄機の更新に伴い、一体的な更新が必要であるため更新する。
00019	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.1し渣搬出機	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00020	汚水沈砂設備	ﾄﾗﾌｺﾝﾍﾞﾔ	No.2し渣搬出機	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00021	汚水沈砂設備	沈砂洗浄機	沈砂し渣洗浄機	1988	23	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00022	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2001	10	15	2.0	2.0以下	■	□	□	スクリーンかす設備のユニットとして、耐用年数経過後(H29以降)更新とする。
00023	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ分離機	ｽｶﾑ分離機	2001	10	15	3.5	2.3	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため耐用年数経過後(H29以降)更新する。
00024	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	3.0	2.3	□	□	■	
00025	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	10	3.0	2.3	□	□	■	
00026	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.1ｶﾗ3用)	1988	23	20	3.5	2.9	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00027	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4用)	1992	19	20	3.7	3.2	□	□	■	
00028	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.5用)	1992	19	20	3.7	3.2	□	□	■	
00029	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	主ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置(No.4ｶﾗ5横行用)	1992	19	20	3.0	2.2	□	□	■	
00030	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ吊上装置	1988	23	20	3.0	2.3	□	□	■	
00031	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	沈砂し渣吊上装置	1988	23	20	3.5	2.9	□	□	■	
00032	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ本体	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	3.5	2.9	□	□	■	
00033	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1A最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H26年以降)に更新する。
00034	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1B最初沈殿池流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H26年以降)に更新する。
00035	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H31年以降)に更新する。
00036	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H31年以降)に更新する。
00037	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4最初沈殿池流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H31年以降)に更新する。
00038	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	ﾊﾞｲﾊﾟｽ可動堰	1989	22	25	3.5	3.0	□	□	■	
00039	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	2.1	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00040	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B初沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	2.1	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00041	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.0	2.1	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00042	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3初沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.0	2.1	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00043	最初沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4初沈汚泥掻寄機	1996	15	15	3.8	3.2	□	■	□	ケーシング(架台)、潤滑油装置の健全度が2.0以下であり、LCC比較検討結果、長寿命化を行う。
00044	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00045	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00046	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00047	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00048	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00049	最初沈殿池設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2初沈汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00050	配管類	電動弁	No.1-1A初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	3.6	□	□	■	
00051	配管類	電動弁	No.1-1B初沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	3.6	□	□	■	
00052	配管類	電動弁	No.1-2初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00053	配管類	電動弁	No.1-3初沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	□	□	■	
00054	配管類	電動弁	No.1-4初沈汚泥引抜弁	1996	15	15	4.3	4.0	□	□	■	
00055	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00056	最初沈殿池設備	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00057	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	□	□	■	
00058	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H26年以降)に更新する。
00059	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H31年以降)に更新する。
00060	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H31年以降)に更新する。
00061	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4ｴｱﾀﾝ流入可動堰	1996	15	25	2.0	2.0以下	□	□	■	健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。
00062	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1返送汚泥流入可動堰	1988	23	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H26年以降)に更新する。
00063	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H31年以降)に更新する。
00064	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3返送汚泥流入可動堰	1993	18	25	2.0	2.0以下	■	□	□	耐用年数経過後(H31年以降)に更新する。
00065	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4返送汚泥流入可動堰	1996	15	25	2.0	2.0以下	□	□	■	健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。
00066	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.0	2.3	□	□	■	
00067	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.0	2.3	□	□	■	
00068	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-1-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1988	23	25	3.5	3.0	□	□	■	
00069	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	□	□	■	
00070	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	□	□	■	
00071	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-2-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	□	□	■	
00072	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	□	□	■	
00073	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.0	2.1	□	□	■	
00074	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-3-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1993	18	25	3.5	2.8	□	□	■	
00075	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	2.5	2.0以下	□	□	■	健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。
00076	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-2ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	3.5	2.7	□	□	■	
00077	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1-4-3ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	1996	15	25	4.2	3.8	□	□	■	
00078	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1988	23	10	2.0	2.0以下	■	□	□	

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00079	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	2.2	□	□	■	
00080	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-2-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	2.2	□	□	■	
00081	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	2.2	□	□	■	
00082	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-3-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1993	18	10	3.0	2.2	□	□	■	
00083	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-1ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	3.0	2.1	□	□	■	
00084	反応ﾀﾝｸ設備	散気装置	No.1-4-2ｴｱﾀﾝ散気装置	1996	15	10	3.0	2.1	□	□	■	
00085	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	□	□	■	
00086	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1A終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.5	3.0	□	□	■	
00087	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-1B終沈流入ｹﾞｰﾄ	1988	23	25	3.5	3.0	□	□	■	
00088	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-2終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	4.1	3.6	□	□	■	
00089	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-3終沈流入ｹﾞｰﾄ	1993	18	25	4.1	3.6	□	□	■	
00090	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1-4終沈流入ｹﾞｰﾄ	1996	15	25	4.2	3.8	□	□	■	
00091	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1A終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	2.1	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00092	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-1B終沈汚泥掻寄機	1988	23	15	2.9	2.1	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00093	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-2終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.1	2.2	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00094	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-3終沈汚泥掻寄機	1993	18	15	3.0	2.2	■	□	□	根幹部品の健全度が2.0以下のため更新する。
00095	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No.1-4終沈汚泥掻寄機	1996	15	15	4.0	3.5	□	□	■	
00096	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1989	22	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00097	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	3.4	2.7	□	□	■	
00098	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1993	18	15	3.4	2.7	□	□	■	
00099	最終沈殿池設備	ｽｶﾑ除去装置	No.1-4終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	1996	15	15	3.7	3.0	□	□	■	
00100	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	3.7	3.0	□	□	■	
00101	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00102	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00103	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	□	□	■	
00104	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00105	最終沈殿池設備	返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1996	15	15	3.7	3.0	□	□	■	
00106	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-1余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00107	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-2余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00108	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-3余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	□	□	■	
00109	最終沈殿池設備	余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1-4余剰汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.4	2.7	□	□	■	
00110	配管類	電動弁	No.1-1終沈汚泥引抜弁	1989	22	15	4.0	3.6	□	□	■	
00111	配管類	電動弁	No.1-2終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	□	□	■	
00112	配管類	電動弁	No.1-3終沈汚泥引抜弁	1993	18	15	4.2	3.8	□	□	■	
00113	配管類	電動弁	No.1-4終沈汚泥引抜弁	1996	15	15	4.3	4.0	□	□	■	
00114	配管類	電動弁	No.1-1返送汚泥流量調整弁	1989	22	15	4.0	3.6	□	□	■	
00115	配管類	電動弁	No.1-2返送汚泥流量調整弁	1993	18	15	4.2	3.8	□	□	■	
00116	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	□	□	■	
00117	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.1送風機	1988	23	20	3.7	3.2	□	■	□	軸受けの健全度が2.0以下であり、LCC比較検討結果、長寿命化を行う。
00118	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.2送風機	1988	23	20	3.8	3.3	□	□	■	
00119	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.4送風機	1993	18	20	4.1	3.7	□	□	■	
00120	反応ﾀﾝｸ設備	吐出弁	No.4送風機吐出弁	1993	18	15	3.8	3.3	□	□	■	
00121	反応ﾀﾝｸ設備	送風機本体	No.5送風機	1993	18	20	4.0	3.5	□	■	□	軸受けの健全度が2.0以下であり、LCC比較検討結果、長寿命化を行う。
00122	反応ﾀﾝｸ設備	吐出弁	No.5送風機吐出弁	1993	18	15	3.8	3.3	□	□	■	
00123	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.1送風機用電動機	1988	23	20	3.7	3.3	□	□	■	
00124	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.2送風機用電動機	1988	23	20	3.5	3.0	□	□	■	
00125	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.4送風機用電動機	1993	18	20	3.9	3.4	□	□	■	
00126	反応ﾀﾝｸ設備	電動機	No.5送風機用電動機	1993	18	20	3.8	3.3	□	□	■	
00127	反応ﾀﾝｸ設備	湿式ﾌｨﾙﾀ	No.2空気ろ過器	1993	18	15	3.4	2.7	□	□	■	
00128	配管類	仕切弁	増設用弁(1)	1993	18	30	4.2	3.8	□	□	■	
00129	配管類	仕切弁	増設用弁(2)	2004	7	30	4.7	4.3	□	□	■	
00130	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	3.0	2.1	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00131	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	10	3.0	2.1	□	□	■	
00132	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井ｸﾚｰﾝ	1993	18	20	3.8	3.3	□	□	■	
00133	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	送風機吊上装置	1988	23	20	3.5	2.9	□	□	■	
00134	用水設備	ろ過機	No.1砂ろ過器	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00135	用水設備	ろ過機	No.2砂ろ過器	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00136	用水設備	ろ過機	No.3砂ろ過器	2001	10	15	4.1	3.4	□	□	■	
00137	用水設備	ろ過機	No.4砂ろ過器	2001	10	15	4.1	3.4	□	□	■	
00138	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00139	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00140	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	4.1	3.4	□	□	■	
00141	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	4.1	3.4	□	□	■	
00142	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	移床式ろ過機へ更新に伴い廃止する。
00143	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	1988	23	15	2.0	2.0以下	■	□	□	移床式ろ過機へ更新に伴い廃止する。
00144	用水設備	自動給水装置	自動給水装置	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00145	用水設備	自動給水装置	散水用給水装置	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00146	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00147	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00148	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	2.3	□	□	■	
00149	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	消泡水ﾎﾟﾝﾌﾟ(小)	2001	10	15	3.5	2.3	□	□	■	
00150	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.1原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	3.5	3.0	□	□	■	
00151	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.2原水ｽﾄﾚｰﾅ	1989	22	20	3.5	3.0	□	□	■	
00152	用水設備	自動洗浄ｽﾄﾚｰﾅ	No.3原水ｽﾄﾚｰﾅ	2001	10	20	4.3	3.8	□	□	■	
00153	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.1原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	4.5	4.0	□	□	■	
00154	ｹﾞｰﾄ設備	流入ｹﾞｰﾄ	No.2原水槽流入ｹﾞｰﾄ	2001	10	25	4.5	4.0	□	□	■	
00155	ｽｸﾘｰﾝかす設備	ｽｸﾘｰﾝ	原水ｽｸﾘｰﾝ	2001	10	15	4.1	3.4	□	□	■	
00156	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00157	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2砂ろ過水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00158	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	2.3	□	□	■	
00159	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.5	2.3	□	□	■	
00160	配管類	空気作動弁	No.1空気圧縮機	2001	10	15	4.1	3.4	□	□	■	
00161	配管類	空気作動弁	No.2空気圧縮機	2001	10	15	4.1	3.4	□	□	■	
00162	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	□	□	■	
00163	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	10	3.0	2.3	□	□	■	
00164	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	3.7	2.6	□	□	■	
00165	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	10	3.7	2.6	□	□	■	
00166	消毒設備	薬品注入機	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.0	2.1	□	□	■	
00167	消毒設備	薬品注入機	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	1993	18	15	3.0	2.1	□	□	■	
00168	消毒設備	薬品注入機	No.3次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	2.6	□	□	■	
00169	消毒設備	薬品注入機	No.4次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2008	3	15	4.6	3.5	□	□	■	
00170	消毒設備	薬品注入機	No.1用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	2.6	□	□	■	
00171	消毒設備	薬品注入機	No.2用水設備次亜注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	2001	10	15	3.7	2.6	□	□	■	
00172	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	2.5	2.0以下	■	□	□	
00173	消毒設備	薬品貯留ﾀﾝｸ	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	1993	18	15	2.5	2.0以下	■	□	□	
00174	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	混和池ﾊﾞｲﾊﾟｽｹﾞｰﾄ	1989	22	25	3.8	3.4	□	□	■	
00175	ｹﾞｰﾄ設備	流出ｹﾞｰﾄ	放流ｹﾞｰﾄ	1989	22	25	3.8	3.4	□	□	■	
00176	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.1濃縮汚泥掻寄機	1990	21	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00177	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機	No.2濃縮汚泥掻寄機	1994	17	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00178	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	4.2	3.9	□	□	■	
00179	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜弁	1994	17	15	4.2	3.9	□	□	■	
00180	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00181	汚泥濃縮設備	汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00182	配管類	電動弁	No.1濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	4.1	3.7	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表（機械設備）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00183	配管類	電動弁	No.2濃縮汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ吐出弁	1990	21	15	4.1	3.7	□	□	■	
00184	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	濃縮棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00185	汚泥輸送・前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす脱水機	し渣脱水機	2002	9	15	4.2	3.5	□	□	■	
00186	汚泥輸送・前処理設備	ｽｸﾘｭｰｺﾝﾍﾞﾔ	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ	2002	9	15	4.2	3.5	□	□	■	
00187	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.1汚泥分配可動堰	1994	17	25	2.5	2.0以下	□	□	■	健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。
00188	ｹﾞｰﾄ設備	可動堰	No.2汚泥分配可動堰	1994	17	25	2.5	2.0以下	□	□	■	健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。
00189	汚泥輸送・前処理設備	ｽｸﾘｰﾝかす洗浄機	汚泥ｽｸﾘｰﾝ(新)	2002	9	15	3.5	2.1	□	□	■	
00190	汚泥輸送・前処理設備	貯留装置	汚泥ｽｸﾘｰﾝ用ｺﾝﾃﾅ	2002	9	15	4.2	3.5	□	□	■	
00191	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	機器搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯｸ	1990	21	20	3.6	3.1	□	□	■	
00192	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	消化棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00193	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1消化ｶﾞｽ昇圧ﾌﾞﾛﾜ	1994	17	10	3.0	2.1	□	□	■	
00194	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗｰ	1994	17	8	3.0	2.1	□	□	■	
00195	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00196	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00197	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00198	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00199	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00200	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00201	配管類	送気	ｽﾁｰﾑﾍｯﾀﾞｰ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00202	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	原水ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.0	2.1	□	□	■	
00203	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水化装置	1994	17	15	3.0	2.1	□	□	■	
00204	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	蒸気ﾎﾞｲﾗ	軟水ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.0	2.1	□	□	■	
00205	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	ｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ(重油)	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00206	汚泥消化ﾀﾝｸ設備	燃料ﾀﾝｸ	地下重油貯蔵ﾀﾝｸ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00207	配管類	排水	缶水受桝	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00208	配管類	電動弁	No.1受水槽入口弁	1990	21	15	4.1	3.8	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00209	配管類	電動弁	No.2受水槽入口弁	1990	21	15	4.1	3.8	□	□	■	
00210	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00211	用水設備	ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00212	配管類	電動弁	No.1消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	4.1	3.7	□	□	■	
00213	配管類	電動弁	No.2消化汚泥引抜遮断弁	1990	21	15	4.1	3.7	□	□	■	
00214	汚泥貯留設備	機械式攪拌機	No.1汚泥貯留ﾀﾝｸ攪拌機	1990	21	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00215	汚泥貯留設備	機械式攪拌機	No.2汚泥貯留ﾀﾝｸ攪拌機	1990	21	10	3.2	2.5	□	□	■	
00216	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00217	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00218	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00219	ﾎﾟﾝﾌﾟ類	床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00220	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1空気圧縮機	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00221	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2空気圧縮機	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00222	汚泥脱水設備	ﾍﾞﾙﾄｺﾝﾍﾞﾔ	No.2脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00223	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.1除湿機	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00224	汚泥脱水設備	空気圧縮機	No.2除湿機	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00225	脱臭設備	活性炭吸着装置	吸着塔	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00226	脱臭設備	ﾌｧﾝ	脱臭ﾌｧﾝ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00227	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	ﾐｽﾄｾﾊﾟﾚｰﾀ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	
00228	汚泥輸送・前処理設備	貯留装置	ｹｰｷﾎｯﾊﾟｰ	1990	21	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00229	給排水・衛生・ｶﾞｽ設備	受水槽・高架水槽	高架水ﾀﾝｸ	1990	21	15	4.2	3.9	□	□	■	
00230	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	天井走行ｸﾚｰﾝ	1990	21	20	3.6	3.1	□	□	■	
00231	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	No.3脱水機	1994	17	15	2.5	2.0以下	■	□	□	
00232	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	■	□	□	No3脱水機の更新にあわせ更新する。
00233	汚泥脱水設備	汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00234	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	■	□	□	No3脱水機の更新にあわせ更新する。

今後の対策方針　検討結果一覧表(機械設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00235	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00236	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.3ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00237	汚泥洗浄ﾀﾝｸ設備	洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ	1994	17	15	3.5	2.8	□	□	■	
00238	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ	2002	9	15	4.2	3.5	□	□	■	
00239	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ撹拌機	2002	9	15	4.2	3.5	□	□	■	
00240	調質設備	有機凝集剤注入装置	No.3薬品供給機	2002	9	15	4.2	3.5	□	□	■	
00241	ｸﾚｰﾝ類物あげ設備	ｸﾚｰﾝ類物あげ装置	薬品搬入用ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯ	1990	21	20	3.6	3.1	□	□	■	
00242	配管類	送泥	水処理鋳鉄管	1989	22	30	4.0	3.6	□	□	■	
00243	配管類	給水	水処理鋳鉄管以外	1989	22	15	2.0	2.0以下	■	□	□	
00244	配管類	給水	用水鋳鉄管以外	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00245	配管類	送泥	汚泥処理鋳鉄管	1990	21	30	4.1	3.7	□	□	■	
00246	配管類	給水	汚泥処理鋳鉄管以外	1990	21	15	3.2	2.5	□	□	■	
00247	脱臭設備	ﾀﾞｸﾄ	脱臭ﾀﾞｸﾄ	1990	21	10	3.0	2.2	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(電気設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00248	受変電設備	柱上開閉器	柱上気中開閉器	1989	22	15	2.0	2.0以下	■	□	□	2004年に修繕。
00249	計測設備	雨量計	雨量計	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00250	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	風向.風速計	1989	22	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00251	受変電設備	低圧主幹盤	分電盤	1989	22	20	2.8	2.0以下	■	□	□	
00252	監視制御設備	計装計器盤	計装盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00253	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	中継端子盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00254	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00255	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00256	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00257	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(4)	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00258	監視制御設備	監視盤	監視制御盤(5)	2004	7	15	4.1	3.1	□	□	■	
00259	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾛｷﾞﾝｸﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00260	監視制御設備	ﾃﾞｰﾀﾛｷﾞﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾗ	ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00261	監視制御設備	CRT操作卓	CRT監視操作卓	2004	7	10	3.6	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00262	監視制御設備	CRT操作卓	CRT操作卓	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00263	監視制御設備	監視盤	受変電監視操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00264	監視制御設備	監視盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ.ﾌﾞﾛﾜ監視操作卓	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00265	監視制御設備	監視盤	1系水処理監視操作卓	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00266	監視制御設備	監視ｺﾝﾄﾛｰﾗ	監視制御ｺﾝﾄﾛｰﾗ盤	2004	7	10	3.6	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00267	監視制御設備	ﾊﾟｿｺﾝ応用装置	ﾌﾟﾘﾝﾀ	2004	7	7	3.1	2.0以下	■	□	□	
00268	受変電設備	断路器盤	引込盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00269	受変電設備	断路器盤	受電盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00270	受変電設備	遮断器盤	No.1照明一次盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00271	受変電設備	遮断器盤	No.1動力一次盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00272	受変電設備	遮断器盤	母連盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00273	受変電設備	断路器盤	発電機引込盤	1993	18	20	3.2	2.4	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(電気設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00274	受変電設備	遮断器盤	No.2照明1次盤	1993	18	20	3.2	2.4	□	□	■	
00275	受変電設備	遮断器盤	No.2動力1次盤	1993	18	20	3.2	2.4	□	□	■	
00276	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-2_400V主幹盤	2002	9	20	4.1	3.3	□	□	■	
00277	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	2001	10	20	4.0	3.2	□	□	■	
00278	受変電設備	変圧器盤	No.2動力ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	3.2	2.4	□	□	■	
00279	受変電設備	低圧主幹盤	No.2-1_400V主幹盤	1993	18	20	3.2	2.4	□	□	■	
00280	受変電設備	ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	No.1-2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00281	受変電設備	低圧主幹盤	No.1-1_400V主幹盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00282	受変電設備	変圧器盤	No.1動力ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	□	□	■	2004年交換済み。 維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00283	受変電設備	変圧器盤	No.2照明ﾄﾗﾝｽ盤	1993	18	20	3.2	2.4	□	□	■	
00284	受変電設備	変圧器盤	No.1照明ﾄﾗﾝｽ盤	1988	23	20	2.7	2.0以下	■	□	□	
00285	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	蓄電池盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00286	制御電源及び計装用電源設備	充電器盤	充電器盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00287	制御電源及び計装用電源設備	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00288	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤	No.1始動用直流電源盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00289	自家発電設備	補機盤	No.1発電機補機盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00290	自家発電設備	発電機盤	No.1発電機盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00291	自家発電設備	自動始動盤	No.1自動始動盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00292	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料小出槽	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00293	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.1燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00294	自家発電設備	燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ	No.2燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00295	自家発電設備	発電機	発電機	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00296	自家発電設備	原動機	原動機	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00297	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	排気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00298	自家発電設備	消音器	排気消音器	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00299	自家発電設備	排気ﾌｧﾝ	換気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表（電気設備）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度 H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度 H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持（修繕含む）	
00300	自家発電設備	給気ﾌｧﾝ	給気ﾌｧﾝ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00301	自家発電設備	消音器	1次排気消音器	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00302	自家発電設備	消音器	2次排気消音器	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00303	自家発電設備	燃料ﾀﾝｸ	燃料貯留ﾀﾝｸ	1989	22	15	3.1	2.4	□	□	■	
00304	監視制御設備	現場盤	燃料貯留ﾀﾝｸ液位計盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00305	監視制御設備	現場盤	給油ﾎﾞｯｸｽ	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00306	監視制御設備	計装計器盤	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟計装変換器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00307	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00308	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	2004	7	10	3.6	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00309	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	沈砂池設備補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00310	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	沈砂池設備補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00311	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.1_3主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00312	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00313	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00314	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00315	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00316	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00317	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	2004	7	15	4.1	3.1	□	□	■	
00318	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00319	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00320	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00321	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00322	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4汚水ﾎﾟﾝﾌﾟVVVF盤	2004	7	10	3.6	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00323	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00324	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00325	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	主ﾎﾟﾝﾌﾟ(3)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2004	7	15	4.1	3.1	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表(電気設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00326	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	2001	10	10	3.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00327	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00328	監視制御設備	現場盤	No.3_5汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00329	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00330	監視制御設備	現場盤	ﾎﾟﾝﾌﾟ室作業用電源盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00331	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00332	監視制御設備	現場盤	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00333	監視制御設備	現場盤	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00334	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00335	監視制御設備	現場盤	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ切替盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00336	監視制御設備	現場盤	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00337	監視制御設備	現場盤	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00338	監視制御設備	現場盤	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00339	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00340	監視制御設備	現場盤	No.1_2自動除塵機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00341	監視制御設備	現場盤	No.1_2ｽｶﾑ分離機現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	■	□	□	機械設備の更新に併せ、耐用年数経過後(H29以降)更新する。
00342	監視制御設備	現場盤	沈砂し渣洗浄機.し渣搬出機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00343	監視制御設備	現場盤	し渣脱水機現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	■	□	□	機械設備の更新に併せ、耐用年数経過後(H29以降)更新する。
00344	計測設備	流量計	No.1初沈流入流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00345	計測設備	流量計	No.2初沈流入流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00346	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	流入渠水位計	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00347	監視制御設備	現場盤	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00348	監視制御設備	現場盤	No.1_2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00349	監視制御設備	現場盤	No.3沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00350	計測設備	流量計	放流水流量	2001	10	10	3.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00351	監視制御設備	現場盤	塩素混和池電源盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。

今後の対策方針　検討結果一覧表（電気設備）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00352	監視制御設備	現場盤	次亜塩補給盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00353	計測設備	流量計	次亜塩注入流量	2001	10	10	3.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00354	監視制御設備	現場盤	次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00355	監視制御設備	現場盤	用水設備次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00356	監視制御設備	現場盤	No.3_5次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00357	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系初沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00358	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系初沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00359	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00360	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00361	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	1系終沈補助継電器盤(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00362	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	No.1_3送風機補助継電器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00363	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00364	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00365	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00366	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00367	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00368	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1996	15	15	3.1	2.0以下	■	□	□	
00369	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00370	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00371	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00372	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00373	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00374	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00375	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	VVVF盤(No.1_2送風機用)	1989	22	10	2.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00376	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00377	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	

今後の対策方針　検討結果一覧表（電気設備）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00378	監視制御設備	計装計器盤	1系水処理計装変換器盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00379	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(1)	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00380	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00381	監視制御設備	現場盤	No.1_3送風機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00382	監視制御設備	現場盤	No.1-1A初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00383	監視制御設備	現場盤	No.1-1B初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00384	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00385	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00386	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00387	監視制御設備	現場盤	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00388	監視制御設備	現場盤	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00389	監視制御設備	現場盤	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00390	監視制御設備	現場盤	No.1-4初沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	■	□	□	
00391	計測設備	DO計	No.1ｴｱﾀﾝDO	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00392	計測設備	MLSS計	No.1ｴｱﾀﾝMLSS	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00393	計測設備	DO計	No.1-2ｴｱﾀﾝDO	1996	15	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00394	計測設備	MLSS計	No.1-2ｴｱﾀﾝMLSS	1996	15	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00395	監視制御設備	現場盤	No.1-1A終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00396	監視制御設備	現場盤	No.1-1B終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00397	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00398	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	■	□	□	
00399	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥掻寄機現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00400	監視制御設備	現場盤	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00401	監視制御設備	現場盤	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00402	監視制御設備	現場盤	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00403	監視制御設備	現場盤	No.1-4終沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。

今後の対策方針　検討結果一覧表(電気設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00404	監視制御設備	現場盤	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00405	計測設備	濃度計	No.1初沈汚泥濃度計	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00406	計測設備	流量計	初沈汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00407	監視制御設備	現場盤	初沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00408	監視制御設備	現場盤	No.1-3,4初沈汚泥引抜弁現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00409	監視制御設備	現場盤	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00410	計測設備	温度計	曝気風量温度	1989	22	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00411	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量圧力	1989	22	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00412	監視制御設備	現場盤	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00413	計測設備	流量計	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00414	計測設備	流量計	No.1-2ｴｱﾀﾝ送風量	1993	18	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00415	監視制御設備	現場盤	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00416	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00417	計測設備	濃度計	No.1-1返送汚泥濃度	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00418	計測設備	濃度計	No.1-2返送汚泥濃度計	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00419	計測設備	流量計	No.1-2返送汚泥流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00420	計測設備	流量計	No.1-1終沈汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00421	計測設備	流量計	返送汚泥引抜流量	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00422	計測設備	流量計	No.1-2終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00423	計測設備	流量計	No.1-3終沈汚泥引抜流量	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00424	計測設備	流量計	No.1-4終沈汚泥引抜流量	1996	15	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00425	監視制御設備	現場盤	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00426	監視制御設備	現場盤	終沈汚泥引抜(2)現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00427	監視制御設備	現場盤	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1996	15	15	3.0	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00428	監視制御設備	現場盤	用水設備現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00429	監視制御設備	現場盤	No.1,2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。

今後の対策方針　検討結果一覧表(電気設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00430	監視制御設備	現場盤	送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00431	監視制御設備	現場盤	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	4.1	3.1	□	□	■	
00432	監視制御設備	現場盤	潤滑油ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2004	7	15	4.1	3.1	□	□	■	
00433	計測設備	流量計	No.5送風機吸込風量	1993	18	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00434	計測設備	流量計	No.4送風機吸込風量	1993	18	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00435	監視制御設備	現場盤	No.5送風機計器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00436	監視制御設備	現場盤	No.5送風機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00437	監視制御設備	現場盤	No.4送風機計器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00438	監視制御設備	現場盤	No.4送風機現場操作盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00439	監視制御設備	計装計器盤	送風機棟計装変換器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00440	監視制御設備	ｼｰｹﾝｽｺﾝﾄﾛｰﾗ	送風機棟ﾘﾓｰﾄIO盤	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00441	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	送風機設備補助継電器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00442	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒用水設備(3)補助継電器盤	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00443	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	消毒.用水補助継電器盤(4)	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00444	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00445	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00446	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00447	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00448	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1993	18	15	2.7	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00449	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00450	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	No.4次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	2004	7	15	4.1	3.1	□	□	■	
00451	監視制御設備	現場盤	砂ろ過器現場操作盤	1989	22	15	2.1	2.0以下	■	□	□	
00452	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	砂ろ過水槽水位(1)	1989	22	10	2.0	2.0以下	□	□	■	2007年交換済み。 維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00453	監視制御設備	現場盤	No.3_5砂ろ過器現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00454	監視制御設備	現場盤	用水上部作業用電源盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00455	監視制御設備	現場盤	No.3_5原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表（電気設備）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00456	監視制御設備	現場盤	No.3_4用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00457	監視制御設備	現場盤	砂ろ過送水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00458	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	3.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00459	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2砂ろ過水槽水位計	2001	10	10	3.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00460	監視制御設備	現場盤	洗浄排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00461	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00462	監視制御設備	現場盤	用水管廊作業用電源盤	2001	10	15	3.7	2.7	□	□	■	
00463	計測設備	流量計	砂ろ過送水流量	2001	10	10	3.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00464	監視制御設備	現場盤	連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00465	監視制御設備	現場盤	濃縮管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00466	計測設備	濃度計	重力汚泥濃度	1994	17	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00467	計測設備	流量計	濃縮汚泥量	1990	21	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00468	監視制御設備	現場盤	濃縮汚泥引抜現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00469	監視制御設備	現場盤	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	□	□	■	
00470	監視制御設備	現場盤	汚泥ｽｸﾘｰﾝ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00471	監視制御設備	現場盤	No.1濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	■	□	□	
00472	監視制御設備	現場盤	No.2濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00473	監視制御設備	現場盤	重油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00474	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00475	監視制御設備	現場盤	原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00476	監視制御設備	現場盤	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗ制御盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00477	計測設備	濃度計	ばい煙濃度	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00478	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ炉内圧力	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00479	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ圧力	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00480	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給水流量積算計	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00481	計測設備	流量計	ﾎﾞｲﾗｰ給油流量積算計	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。

今後の対策方針　検討結果一覧表（電気設備）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00482	計測設備	温度計	ﾎﾞｲﾗｰ排気ｶﾞｽ温度	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00483	計測設備	温度計	油温度	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00484	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	油圧力	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00485	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1990	21	15	2.3	2.0以下	■	□	□	
00486	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1990	21	15	2.3	2.0以下	■	□	□	
00487	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(1)	1990	21	15	2.3	2.0以下	■	□	□	
00488	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥濃縮設備補助継電器盤(2)	2002	9	15	3.8	2.8	□	□	■	
00489	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	1994	17	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00490	負荷設備	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	1994	17	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00491	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00492	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥脱水(2).ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤(2)	2002	9	15	3.8	2.8	□	□	■	
00493	監視制御設備	補助ﾘﾚｰ盤	汚泥処理中継端子盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00494	計測設備	流量計	No.3脱水機供給汚泥流量	1994	17	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00495	監視制御設備	現場盤	空気圧縮機現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00496	監視制御設備	現場盤	脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	対象となる機械設備が更新されないため維持とする。
00497	計測設備	流量計	No.3薬品供給量	1994	17	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00498	監視制御設備	現場盤	No.3_4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00499	監視制御設備	現場盤	No.5薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	□	□	■	
00500	監視制御設備	現場盤	No.3薬品供給設備現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	□	□	■	
00501	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ液位計	2002	9	10	3.2	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00502	監視制御設備	現場盤	脱臭ﾌｧﾝ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00503	監視制御設備	現場盤	汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	■	□	□	
00504	監視制御設備	現場盤	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	■	□	□	
00505	監視制御設備	現場盤	No.5汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	2002	9	15	3.8	2.8	□	□	■	
00506	監視制御設備	現場盤	No.3_4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	■	□	□	
00507	監視制御設備	現場盤	No.3_4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1994	17	15	2.8	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。

今後の対策方針　検討結果一覧表(電気設備)

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00508	監視制御設備	現場盤	脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00509	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線1	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	事業の優先度を考慮して維持とする。
00510	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線2	1990	21	15	2.3	2.0以下	□	□	■	事業の優先度を考慮して維持とする。
00511	ｹｰﾌﾞﾙ・配管類	ﾗｯｸ	電気配管.配線3	1988	23	15	2.0	2.0以下	□	□	■	事業の優先度を考慮して維持とする。
00512	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.1次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00513	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	No.2次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	1993	18	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00514	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	重油ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。
00515	計測設備	ﾚﾍﾞﾙ計	ﾎﾞｲﾗｰ水位	1994	17	10	2.0	2.0以下	□	□	■	維持管理状況や事業優先度を考慮して維持とする。

今後の対策方針　検討結果一覧表（土木施設）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度 H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度 H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持（修繕含む）	
00516	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	2.0	2.0以下	□	□	■	事業の優先度を考慮して維持とする。
00517	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00518	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	□	□	■	
00519	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	□	□	■	
00520	付帯設備	簡易覆蓋	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00521	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_1系最初沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00522	付帯設備	内部防食	内部防食_1系最初沈殿池	1987	24	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00523	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00524	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00525	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋(ｽﾗｲﾄﾞ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.5	4.3	□	□	■	
00526	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00527	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系反応ﾀﾝｸ	1987	24	18	4.5	4.3	□	□	■	
00528	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00529	付帯設備	簡易覆蓋	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00530	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋(FRP)_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00531	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最終沈殿池	1987	24	18	2.0	2.0以下	□	□	■	事業の優先度を考慮して維持とする。
00532	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00533	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00534	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.0	3.7	□	□	■	
00535	付帯設備	手摺	手摺(ﾁｪｰﾝ式)_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	□	□	■	
00536	付帯設備	簡易覆蓋	ｱﾙﾐ蓋_1系最終沈殿池	1987	24	18	4.5	4.3	□	□	■	
00537	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽外部	1989	22	18	4.5	4.3	□	□	■	
00538	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	1.0	2.0以下	■	□	□	
00539	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	18	2.0	2.0以下	■	□	□	
00540	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00541	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ(SUS)_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽外部	1989	22	18	4.5	4.3	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表（土木施設）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00542	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	1.0	2.0以下	■	□	□	
00543	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	18	2.0	2.0以下	■	□	□	
00544	付帯設備	内部防食	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	1989	22	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00545	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_汚泥処理棟B1F汚泥貯留槽	1989	22	18	4.5	4.3	□	□	■	
00546	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	2.0	2.0以下	■	□	□	
00547	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00548	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	□	□	■	
00549	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	□	□	■	
00550	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00551	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	□	□	■	
00552	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	□	□	■	
00553	付帯設備	内部防食	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	3.5	□	□	■	
00554	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	18	2.0	2.0以下	■	□	□	
00555	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	1994	17	10	2.0	2.0以下	■	□	□	
00556	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	□	□	■	
00557	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	□	□	■	
00558	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	3.5	□	□	■	
00559	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	4.0	3.5	□	□	■	
00560	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	18	5.0	4.9	□	□	■	
00561	付帯設備	内部防食	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸｽｶﾑﾋﾟｯﾄ	1994	17	10	4.0	3.5	□	□	■	
00562	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00563	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00564	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F屋外	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00565	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬入室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00566	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	2.0	2.0以下	■	□	□	
00567	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	

今後の対策方針　検討結果一覧表（土木施設）

リスト番号	中分類	小分類	資産名称	設置年度	経過年数	標準的耐用年数	評価時の健全度H23(2011年)	長寿命化計画期間最終年度の健全度H31(2019年)	長寿命化計画期間における対策方針			備考
									更新	長寿命化	維持(修繕含む)	
00568	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00569	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00570	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.0	3.7	□	□	■	
00571	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00572	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00573	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室外部	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00574	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00575	付帯設備	簡易覆蓋	FRP蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00576	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1F搬出入室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00577	付帯設備	簡易覆蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00578	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00579	付帯設備	手摺	手摺(SUS)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾓｰﾀｰ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00580	付帯設備	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00581	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F沈砂池機械室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00582	付帯設備	簡易覆蓋	縞鋼板_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	2.0	2.0以下	■	□	□	
00583	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	2.0	2.0以下	■	□	□	
00584	付帯設備	簡易覆蓋	合成木材蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00585	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00586	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ井内部	1988	23	10	4.0	3.7	□	□	■	
00587	付帯設備	簡易覆蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1F流入水路上部	1988	23	18	4.0	3.7	□	□	■	
00588	金属物	ﾀﾗｯﾌﾟ	ﾀﾗｯﾌﾟ_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	
00589	付帯設備	内部防食	内部防食_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2F流入水路内部	1988	23	10	4.0	3.7	□	□	■	
00590	付帯設備	手摺	手摺(ｱﾙﾐ)_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B2Fﾎﾟﾝﾌﾟ室	1988	23	18	4.5	4.3	□	□	■	

６．下水道長寿命化計画の策定

６．１　事業計画策定方針

下記条件の基、事業計画６ヶ年内に改築を予定する資産の抽出を行い、事業計画表を作成する。なお、鳥栖市の長寿命化計画は平成 26 年度より実施する予定で進めていたが、市の財政状況から平成 27 年度からの実施とせざる得ない状況となった。併せて、総事業費が約 16 億円となることから、健全度を想定した平成 31 年度での工事完了が難しくなったことから最終年度を平成 32 年度とした。

（１）優先順位について

改築の優先順位は劣化状況や経過年数に配慮して、次の条件により設定した。(①＞②＞③＞④)。

① 沈砂設備
② No1-1 系水処理施設
③ 汚泥処理施設
④ No1-2～4 系水処理施設

鳥栖市浄化センターは供用開始から約 20 年が経過しており、更新もしくは長寿命化が必要と考えられる設備・施設が多いことから、６ヵ年計画の立案、年度毎の優先順位の決定においては上記方針にもとづいた。

（２）事業予算について

事業費は対象施設･設備（小分類）毎に、更新機器および部品交換毎に算出する。（仮設費・撤去費・経費込み）

なお、年度あたりの事業費は「機械・電気設備における事業費の制約を３～４億円／年程度」とし、「２ヵ年にまたがる工事については、１年目に工事費の３割、２年目に工事費の７割」として事業の年度振分を行う。

６．２　年次別計画及び年割り額

計画期間内における年次別計画及び年割り額は以下に示す通りである。

単位:百万円

	工事名	長寿命化計画期間						事業費（計）	備　考
		H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
機械	沈砂池設備工事 電気設備工事その1 （沈砂関係）		43.8	102.2				146.0	
電気			36.6	90.2				126.8	
機械	水処理工事その1（1-1系） 電気設備工事その2 （水処理1+特殊電源）			75.5	168.0			243.5	
電気				45.6	83.5			129.1	
機械	水処理設備工事その2 （1-2～1-4系） 電気設備工事その3 （水処理2+受変電設備）					87.1	203.2	290.3	
電気						59.2	124.8	184.0	
機械	汚泥処理設備工事 電気設備工事その4 （汚泥処理）				120.9	282.1		403.0	
電気					22.5	50.5		73.0	
土木					11.7	27.5		39.2	
合計	工事単位別工事費合計 （詳細設計含まず）		80.4	313.5	406.6	506.4	328.0	1,634.9	

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間 H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）	事業費（計）	備　考
共通	－	詳細設計（5ヵ年分）	－	－	－	－	－	20		30				50	
機械設備	00003	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	23	2.7	2.0以下	維持								（故障中）事業計画期間中は、既設ポンプにて対応可能なため維持
	00004	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	23	2.7	2.0以下	維持								（故障中）事業計画期間中は、既設ポンプにて対応可能なため維持
	00016	No.1自動除塵機	15	23	2.3	2.0以下	更新		10.2	23.8				34.0	
	00018	ｻｲｸﾛﾝ	15	23	3.0	2.3	更新		0.9	2.1				3.0	
	00019	No.1し渣搬出機	15	23	2.0	2.0以下	更新		2.4	5.6				8.0	
	00020	No.2し渣搬出機	15	23	2.0	2.0以下	更新		1.2	2.8				4.0	
	00021	沈砂し渣洗浄機	15	23	2.8	2.0以下	更新		14.1	32.9				47.0	
	00022	し渣脱水機	15	10	2.0	2.0以下	更新		7.2	16.8				24.0	
	00023	ｽｶﾑ分離機	15	10	3.5	2.3	更新		7.8	18.2				26.0	
	00033	No.1-1A最初沈殿池流入可動堰	25	23	2.0	2.0以下	更新			1.5	3.5			5.0	耐用年数未達 →H26年度（2014年度）に更新可
	00034	No.1-1B最初沈殿池流入可動堰	25	23	2.0	2.0以下	更新			1.5	3.5			5.0	耐用年数未達 →H26年度（2014年度）に更新可
	00035	No.1-2最初沈殿池流入可動堰	25	18	2.0	2.0以下	更新					1.5	3.5	5.0	耐用年数未達 →H31年度（2019年度）に更新可
	00036	No.1-3最初沈殿池流入可動堰	25	18	2.0	2.0以下	更新					1.5	3.5	5.0	耐用年数未達 →H31年度（2019年度）に更新可
	00037	No.1-4最初沈殿池流入可動堰	25	18	2.0	2.0以下	更新					1.5	3.5	5.0	耐用年数未達 →H31年度（2019年度）に更新可
	00039	No.1-1A初沈汚泥掻寄機	15	23	2.9	2.1	更新			6.6	15.4			22.0	
	00040	No.1-1B初沈汚泥掻寄機	15	23	2.9	2.1	更新			6.6	15.4			22.0	
	00041	No.1-2初沈汚泥掻寄機	15	18	3.0	2.1	更新					13.5	31.5	45.0	
	00042	No.1-3初沈汚泥掻寄機	15	18	3.0	2.1	更新					13.5	31.5	45.0	
	00043	No.1-4初沈汚泥掻寄機	15	15	3.8	3.2	長寿命化					2.2	5.1	7.3	ケーシング4,350千円 潤滑油装置2,900千円
	00044	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	15	22	2.0	2.0以下	更新			3.3	7.7			11.0	
	00045	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	15	18	2.0	2.0以下	更新					2.4	5.6	8.0	
	00046	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	15	18	2.0	2.0以下	更新					2.4	5.6	8.0	
	00047	No.1-4初沈ｽｶﾑｽｷﾏ	15	15	2.0	2.0以下	更新					2.4	5.6	8.0	
	00058	No.1-1ｴｱﾀﾝ流入可動堰	25	23	2.0	2.0以下	更新			0.9	2.1			3.0	耐用年数未達 →H26年度（2014年度）に更新可
	00059	No.1-2ｴｱﾀﾝ流入可動堰	25	18	2.0	2.0以下	更新					0.9	2.1	3.0	耐用年数未達 →H31年度（2019年度）に更新可
	00060	No.1-3ｴｱﾀﾝ流入可動堰	25	18	2.0	2.0以下	更新					0.9	2.1	3.0	耐用年数未達 →H31年度（2019年度）に更新可
	00061	No.1-4ｴｱﾀﾝ流入可動堰	25	15	2.0	2.0以下	維持								健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。→H34（2022年度）に更新可
	00062	No.1-1返送汚泥流入可動堰	25	23	2.0	2.0以下	更新			0.9	2.1			3.0	耐用年数未達 →H26年度（2014年度）に更新可
	00063	No.1-2返送汚泥流入可動堰	25	18	2.0	2.0以下	更新					0.9	2.1	3.0	耐用年数未達 →H31年度（2019年度）に更新可
	00064	No.1-3返送汚泥流入可動堰	25	18	2.0	2.0以下	更新					0.9	2.1	3.0	耐用年数未達 →H31年度（2019年度）に更新可
	00065	No.1-4返送汚泥流入可動堰	25	15	2.0	2.0以下	維持								健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。→H34（2022年度）に更新可
	00075	No.1-4-1ｴｱﾀﾝｽﾃｯﾌﾟ流入可動堰	25	15	2.5	2.0以下	維持								健全度2.0以下であるが、耐用年数未満のため、計画期間内は維持とする。→H34（2022年度）に更新可
	00078	No.1-1ｴｱﾀﾝ散気装置	10	23	2.0	2.0以下	更新			20.7	48.3			69.0	第1.3槽：水中撹拌機、第2.4槽超微細気泡式へ更新
	00091	No.1-1A終沈汚泥掻寄機	15	23	2.9	2.1	更新			8.1	18.9			27.0	樹脂製へ更新
	00092	No.1-1B終沈汚泥掻寄機	15	23	2.9	2.1	更新			8.1	18.9			27.0	樹脂製へ更新
	00093	No.1-2終沈汚泥掻寄機	15	18	3.1	2.2	更新					17.7	41.3	59.0	樹脂製へ更新
	00094	No.1-3終沈汚泥掻寄機	15	18	3.0	2.2	更新					17.7	41.3	59.0	樹脂製へ更新
	00096	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ	15	22	2.0	2.0以下	更新			3.3	7.7			11.0	
	00117	No.1送風機	20	23	3.7	3.2	長寿命化			1.1				1.1	軸受
	00121	No.5送風機	20	18	4.0	3.5	長寿命化			2.4				2.4	軸受
	00134	No.1砂ろ過器	15	23	2.0	2.0以下	更新			9.9	23.1			33.0	移床式砂ろ過機へ更新
	00135	No.2砂ろ過器	15	23	2.0	2.0以下	更新								移床式砂ろ過機へ更新に伴い撤去

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間						事業費（計）	備　考
								H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
	00138	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	23	2.0	2.0以下	更新			0.6	1.4			2.0	
	00139	No.2原水ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	23	2.0	2.0以下	更新								移床式砂ろ過機へ更新に伴い撤去
	00142	No.1逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	23	2.0	2.0以下	更新								移床式砂ろ過機へ更新に伴い撤去
	00143	No.2逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	23	2.0	2.0以下	更新								移床式砂ろ過機へ更新に伴い撤去
	00172	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	15	18	2.5	2.0以下	更新					3.6	8.4	12.0	
	00173	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽	15	18	2.5	2.0以下	更新					3.6	8.4	12.0	
	00176	No.1濃縮汚泥掻寄機	15	21	2.0	2.0以下	更新				13.5	31.5		45.0	
	00177	No.2濃縮汚泥掻寄機	15	17	2.0	2.0以下	更新				13.5	31.5		45.0	
	00199	No.1給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	17	2.0	2.0以下	更新				0.9	2.1		3.0	
	00210	No.1揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	21	2.0	2.0以下	更新				0.9	2.1		3.0	
	00211	No.2揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	21	2.0	2.0以下	更新				0.9	2.1		3.0	
	00214	No.1汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機	10	21	2.0	2.0以下	更新				2.1	4.9		7.0	
	00228	ｹｰｷﾎｯﾊﾟｰ	15	21	2.7	2.0以下	更新				6.6	15.4		22.0	
	00231	No.3脱水機	15	17	2.5	2.0以下	更新				78.0	182.0		260.0	高効率圧入式スクリュープレス脱水機へ更新
	00232	No.3汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	17	3.5	2.8	更新				2.4	5.6		8.0	No3脱水機の更新に併せ更新
	00234	No.3薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ	15	17	3.5	2.8	更新				0.9	2.1		3.0	No3脱水機の更新に併せ更新
	00243	水処理鋳鉄管以外	15	22	2.0	2.0以下	更新				1.2	2.8		4.0	
	00248	柱上気中開閉器	15	22	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00249	雨量計	10	22	2.0	2.0以下	更新					0.2	0.6	0.8	
	00250	風向.風速計	10	22	2.0	2.0以下	維持								
	00251	分電盤	20	22	2.8	2.0以下	更新			1.0	2.3			3.3	
	00252	計装盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			1.0	2.3			3.3	
	00253	中継端子盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			1.0	2.3			3.3	
	00254	監視制御盤(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新								更新撤去
	00255	監視制御盤(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新			7.6	17.6			25.2	更新撤去
	00256	監視制御盤(3)	15	18	2.7	2.0以下	更新								更新撤去
	00259	ﾛｷﾝｸﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	10	22	2.0	2.0以下	更新								更新撤去
	00260	ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀ	10	22	2.0	2.0以下	更新								更新撤去
	00261	CRT監視操作卓	10	7	3.6	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00262	CRT操作卓	10	22	2.0	2.0以下	更新								更新撤去
	00263	受変電監視操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00264	ﾎﾟﾝﾌﾟ.ﾌﾞﾛﾜ監視操作卓	15	22	2.1	2.0以下	更新			10.0	10.0	20.3	27.4	67.7	LCD監視制御装置に更新
	00265	1系水処理監視操作卓	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00266	監視制御ｺﾝﾄﾛｰﾗ盤	10	7	3.6	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00267	ﾌﾟﾘﾝﾀ	7	7	3.1	2.0以下	更新			0.2	0.6			0.8	
	00268	引込盤	20	23	2.7	2.0以下	更新					1.5	3.5	5.0	
	00269	受電盤	20	23	2.7	2.0以下	更新					3.0	7.0	10.0	
	00270	No.1照明一次盤	20	23	2.7	2.0以下	更新					3.0	7.0	10.0	
	00271	No.1動力一次盤	20	23	2.7	2.0以下	更新								
	00272	母連盤	20	23	2.7	2.0以下	更新					2.5	5.9	8.4	
	00280	No.1-2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	20	23	2.7	2.0以下	更新					2.0	4.7	6.7	
	00281	No.1-1_400V主幹盤	20	23	2.7	2.0以下	更新					3.0	7.0	10.0	
	00282	No.1動力ﾄﾗﾝｽ盤	20	23	2.7	2.0以下	維持								平成16年度に300kVAから750kVAに取替え工事が行われているため

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間 H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）	事業費（計）	備　考
	00284	No.1照明ﾄﾗﾝｽ盤	20	23	2.7	2.0以下	更新					2.5	5.9	8.4	
	00285	蓄電池盤	10	22	2.0	2.0以下	更新			2.5	5.9			8.4	
	00286	充電器盤	10	22	2.0	2.0以下	更新			2.5	5.9			8.4	
	00287	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤	10	22	2.0	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00288	No.1始動用直流電源盤	10	22	2.0	2.0以下	更新			4.0	9.4			13.4	
	00289	No.1発電機補機盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00290	No.1発電機盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00291	No.1自動始動盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00295	発電機	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00304	燃料貯留ﾀﾝｸ液位計盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00305	給油ﾎﾞｯｸｽ	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00306	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟計装変換器盤	15	22	2.1	2.0以下	更新		1.0	2.3				3.3	
	00307	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤	10	22	2.0	2.0以下	更新		7.6	17.6				25.2	
	00308	沈砂池.ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	10	7	3.6	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00309	沈砂池設備補助継電器盤(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新		4.0	9.4				13.4	
	00310	沈砂池設備補助継電器盤(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00311	No.1_3主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00312	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備補助継電器盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00314	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新		2.5	5.9				8.4	
	00315	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00316	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00318	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00319	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00320	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00321	No.4_5主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00322	No.4汚水ﾎﾟﾝﾌﾟVVVF盤	10	7	3.6	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00326	No.3ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	10	10	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00327	No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	10	22	2.0	2.0以下	更新		0.5	1.1				1.6	
	00331	No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計	10	22	2.0	2.0以下	更新		0.5	1.1				1.6	
	00332	No.4主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00333	No.5主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00334	揚砂ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00336	No.3主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00337	No.2主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00338	No.1主ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00339	No.1_2沈砂池床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00340	No.1_2自動除塵機現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新		0.5	1.1				1.6	
	00341	No.1_2ｽｶﾑ分離機現場操作盤	15	10	3.7	2.7	更新		0.5	1.1				1.6	
	00342	沈砂し渣洗浄機.し渣搬出機現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新		0.5	1.1				1.6	
	00343	し渣脱水機現場操作盤	15	10	3.7	2.7	更新		0.5	1.1				1.6	
	00344	No.1初沈流入流量	10	22	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00345	No.2初沈流入流量	10	18	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00346	流入渠水位計	10	22	2.0	2.0以下	更新		0.5	1.1				1.6	

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間 H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）	事業費（計）	備　考
電気設備	00347	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00348	No.1_2沈砂池流入ｹﾞｰﾄ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00350	放流水流量	10	10	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00351	塩素混和池電源盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00352	次亜塩補給盤	15	18	2.7	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00353	次亜塩注入流量	10	10	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00354	次亜塩注入ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00357	1系初沈補助継電器盤(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新			3.8	3.8	3.8	3.7	15.1	
	00358	1系初沈補助継電器盤(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00359	1系終沈補助継電器盤(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新			3.8	3.8	3.8	3.7	15.1	
	00360	1系終沈補助継電器盤(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00361	1系終沈補助継電器盤(3)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00362	No.1_3送風機補助継電器盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00363	消毒.用水補助継電器盤(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新			3.0	7.0			10.0	
	00364	消毒.用水補助継電器盤(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00365	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新			2.1	2.1	2.1	2.1	8.4	
	00366	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00367	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	15	18	2.7	2.0以下	更新								
	00368	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	15	15	3.0	2.0以下	更新								
	00369	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新			2.1	2.1	2.1	2.1	8.4	
	00370	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00371	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00372	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)	15	18	2.7	2.0以下	更新								
	00373	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00374	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00375	VVVF盤(No.1_2送風機用)	10	22	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00376	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	22	2.1	2.0以下	更新			1.5	3.5			5.0	
	00377	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	22	2.1	2.0以下	更新								
	00378	1系水処理計装変換器盤	15	22	2.1	2.0以下	更新					1.0	2.3	3.3	
	00379	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(1)	10	22	2.0	2.0以下	更新		6.0	14.1				20.1	
	00380	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(2)	10	22	2.0	2.0以下	更新		6.0	14.1				20.1	
	00381	No.1_3送風機現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00382	No.1-1A初沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00383	No.1-1B初沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00384	No.1-2初沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00385	No.1-3初沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00386	No.1-4初沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	15	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00387	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00388	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00389	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00390	No.1-4初沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	15	3.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00391	No.1ｴｱﾀﾝDO	10	22	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00392	No.1ｴｱﾀﾝMLSS	10	18	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間						事業費（計）	備　考
								H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
	00393	No.1-2ｴｱﾀﾝDO	10	15	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00394	No.1-2ｴｱﾀﾝMLSS	10	15	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00395	No.1-1A終沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00396	No.1-1B終沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00397	No.1-2終沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00398	No.1-3終沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00399	No.1-4終沈汚泥掻寄機現場操作盤	15	15	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00400	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00401	No.1-2終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00402	No.1-3終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00403	No.1-4終沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤	15	15	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00404	No.1初沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00405	No.1初沈汚泥濃度計	10	18	2.0	2.0以下	更新					2.0	4.7	6.7	
	00406	初沈汚泥引抜流量	10	22	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00407	初沈汚泥引抜現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00408	No.1-3_4初沈汚泥引抜弁現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00409	ｽｶﾑ移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00410	曝気風量温度	10	22	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00411	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量圧力	10	22	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00412	No.1ｴｱﾀﾝ床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00413	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量	10	22	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00414	No.1-2ｴｱﾀﾝ送風量	10	18	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00415	No.1終沈床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00416	終沈汚泥引抜現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00417	No.1-1返送汚泥濃度	10	22	2.0	2.0以下	更新					1.5	3.5	5.0	
	00418	No.1-2返送汚泥濃度計	10	18	2.0	2.0以下	更新					1.5	3.5	5.0	
	00419	No.1-2返送汚泥流量	10	18	2.0	2.0以下	更新					1.0	2.3	3.3	
	00420	No.1-1終沈汚泥引抜流量	10	22	2.0	2.0以下	更新					1.0	2.3	3.3	
	00421	返送汚泥引抜流量	10	22	2.0	2.0以下	更新					1.0	2.3	3.3	
	00422	No.1-2終沈汚泥引抜流量	10	18	2.0	2.0以下	更新					1.0	2.3	3.3	
	00423	No.1-3終沈汚泥引抜流量	10	18	2.0	2.0以下	更新					1.0	2.3	3.3	
	00424	No.1-4終沈汚泥引抜流量	10	15	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00425	No.1-0返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	15	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00426	終沈汚泥引抜(2)現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00427	No.1-5返送汚泥ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	15	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00428	用水設備現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00429	No.1_2用水床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00430	送風機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00433	No.5送風機吸込風量	10	18	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00434	No.4送風機吸込風量	10	18	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00435	No.5送風機計器盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00436	No.5送風機現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00437	No.4送風機計器盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間 H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）	事業費（計）	備　考
	00438	No.4送風機現場操作盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00439	送風機棟計装変換器盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00440	送風機棟ﾘﾓｰﾄIO盤	10	18	2.0	2.0以下	更新		6.0	14.1				20.1	
	00441	送風機設備補助継電器盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00442	消毒用水設備(3)補助継電器盤	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00444	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00445	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00446	送風機設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00447	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00448	消毒用水設備(2)ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	18	2.7	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00451	砂ろ過器現場操作盤	15	22	2.1	2.0以下	更新			0.5	1.1			1.6	
	00452	砂ろ過水槽水位(1)	10	22	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00458	No.3砂ろ過水槽水位計	10	10	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00459	No.2砂ろ過水槽水位計	10	10	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00463	砂ろ過送水流量	10	10	3.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00464	連絡管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00465	濃縮管廊床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00466	重力汚泥濃度	10	17	2.0	2.0以下	更新				2.0	4.7		6.7	
	00467	濃縮汚泥量	10	21	2.0	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00468	濃縮汚泥引抜現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00469	し渣搬出ｺﾝﾍﾞﾔ現場操作盤	15	9	3.8	2.8	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00470	汚泥ｽｸﾘｰﾝ現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00471	No.1濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00472	No.2濃縮汚泥掻寄機現場操作盤	15	17	2.8	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00473	重油移送ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	17	2.8	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00474	ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00475	原水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	17	2.8	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00476	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗ制御盤	15	17	2.8	2.0以下	更新				1.5	3.5		5.0	
	00477	ばい煙濃度	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00478	ﾎﾞｲﾗｰ炉内圧力	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00479	ﾎﾞｲﾗｰ圧力	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00480	ﾎﾞｲﾗｰ給水流量積算計	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00481	ﾎﾞｲﾗｰ給油流量積算計	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00482	ﾎﾞｲﾗｰ排気ｶﾞｽ温度	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00483	油温度	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00484	油圧力	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00485	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	21	2.3	2.0以下	更新				1.0	2.3		3.3	
	00486	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	21	2.3	2.0以下	更新								
	00487	汚泥濃縮設備補助継電器盤(1)	15	21	2.3	2.0以下	更新				1.5	3.5		5.0	
	00489	汚泥脱水(2),ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)	15	17	2.8	2.0以下	更新				2.5	5.9		8.4	
	00490	汚泥脱水(2),ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)	15	17	2.8	2.0以下	更新								
	00491	汚泥脱水(2),ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤	15	17	2.8	2.0以下	更新				4.5	10.6		15.1	
	00493	汚泥処理中継端子盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間						事業費（計）	備　考
								H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
	00494	No.3脱水機供給汚泥流量	10	17	2.0	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00495	空気圧縮機現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00496	脱水ｹｰｷｺﾝﾍﾞｱ現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00497	No.3薬品供給量	10	17	2.0	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00498	No.3_4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	17	2.8	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00501	No.3薬品溶解ﾀﾝｸ液位計	10	9	3.2	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00502	脱臭ﾌｧﾝ現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00503	汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00504	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00506	No.3_4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	17	2.8	2.0以下	更新				0.5	1.1		1.6	
	00507	No.3_4ろ布洗浄ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	17	2.8	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00508	脱水機棟床排水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤	15	21	2.3	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00512	No.1次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	10	18	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00513	No.2次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計	10	18	2.0	2.0以下	更新					0.5	1.1	1.6	
	00514	重油ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00515	ﾎﾞｲﾗｰ水位	10	17	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
土木	00522	内部防食_1系最初沈殿池	10	24	2.0	2.0以下	更新				2.7	6.3		9.0	
	00531	手摺(ｱﾙﾐ)_1系最終沈殿池	18	24	2.0	2.0以下	維持								H33（2021）以降に更新検討。
	00538	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	18	22	1.0	2.0以下	更新				0.1	0.2		0.3	
	00539	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	18	22	2.0	2.0以下	更新					0.1		0.1	
	00540	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽	10	22	2.0	2.0以下	更新				0.9	2.1		3.0	
	00542	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	18	22	1.0	2.0以下	更新				0.1	0.2		0.3	
	00543	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	18	22	2.0	2.0以下	更新					0.1		0.1	
	00544	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽	10	22	2.0	2.0以下	更新				0.9	2.1		3.0	
	00546	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	18	17	2.6	2.0以下	更新				2.4	5.7		8.1	
	00547	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ	10	17	2.0	2.0以下	更新				0.6	1.4		2.0	
	00550	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋｯﾄ	10	17	2.0	2.0以下	更新				0.6	1.4		2.0	
	00554	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	18	17	2.6	2.0以下	更新				2.4	5.7		8.1	
	00555	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ	10	17	2.0	2.0以下	更新				0.6	1.4		2.0	
	00566	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室	18	23	2.0	2.0以下	更新				0.1	0.2		0.3	
	00582	縞鋼板_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	18	23	2.0	2.0以下	更新				0.2	0.4		0.6	
	00583	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部	18	23	2.0	2.0以下	更新				0.1	0.2		0.3	

鳥栖市浄化センター長寿命化計画（5ヵ年事業計画表）〔整備計画〕 評価基準年：H23（2011）年　※事業費単位は百万円とする。

工種	リスト番号	資産名称	耐用年数	経過年数	評価時の健全度（H23）	計画期間最終年度の健全度（H31）	改築内容	長寿命化計画期間 H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）	事業費（計）	備　考
概算工事費集計		工事年次別合計（詳細設計含む）						20.0	80.4	343.5	406.6	506.4	328.0	1,684.9	
		事業期間工事費合計（詳細設計含む）						1,684.9							
	機械	工種別工事費合計（詳細設計含まず）							43.8	177.7	288.9	369.2	203.2	1,082.8	
	電気								36.6	135.8	106.0	109.7	124.8	512.9	
	土木										11.7	27.5		39.2	
	合計								80.4	313.5	406.6	506.4	328.0	1,634.9	
	機械	沈砂池設備工事 電気設備工事その1（沈砂関係）							43.8	102.2				146.0	
	電気								36.6	90.2				126.8	
	機械	水処理工事その1（1-1系） 電気設備工事その2（水処理1+特殊電源）								75.5	168.0			243.5	
	電気									45.6	83.5			129.1	
	機械	水処理設備工事その2（1-2～1-4系） 電気設備工事その3（水処理2+受変電設備）										87.1	203.2	290.3	
	電気											59.2	124.8	184.0	
	機械	汚泥処理設備工事 電気設備工事その4（汚泥処理）									120.9	282.1		403.0	
	電気										22.5	50.5		73.0	
	土木										11.7	27.5		39.2	
	合計	工事単位別工事費合計（詳細設計含まず）							80.4	313.5	406.6	506.4	328.0	1,634.9	

単位：百万円

区分	工事名	資産名称		長寿命化計画期間						事業費（計）	適用
				H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
機械	沈砂池設備工事 電気設備工事その1 （沈砂関係）	00016	No.1自動除塵機		10.2	23.8				34.0	
		00018	ｻｲｸﾛﾝ		0.9	2.1				3.0	
		00019	No.1し渣搬出機		2.4	5.6				8.0	
		00020	No.2し渣搬出機		1.2	2.8				4.0	
		00021	沈砂し渣洗浄機		14.1	32.9				47.0	
		00022	し渣脱水機		7.2	16.8				24.0	
		00023	ｽｶﾑ分離機		7.8	18.2				26.0	
		00263	受変電監視操作盤			5.0				5.0	
		00264	ﾎﾟﾝﾌﾟﾌﾛﾜ監視操作卓								
		00265	1系水処理監視操作卓								
		00306	沈砂池ﾎﾟﾝﾌﾟ棟計装変換器盤		1.0	2.3				3.3	
		00307	沈砂池ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾘﾓｰﾄIO盤		7.6	17.6				25.2	
		00309	沈砂池設備補助継電器盤(2)		4.0	9.4				13.4	
		00310	沈砂池設備補助継電器盤(1)								
		00314	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)		2.5	5.9				8.4	
		00315	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)								
		00316	沈砂池設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)								
		00327	No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計		0.5	1.1				1.6	
		00331	No.1ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位計		0.5	1.1				1.6	
		00340	No.1_2自動除塵機現場操作盤		0.5	1.1				1.6	
		00341	No.1_2ｽｶﾑ分離機現場操作盤		0.5	1.1				1.6	
		00342	沈砂し渣洗浄機し渣搬出機現場操作盤		0.5	1.1				1.6	
		00343	し渣脱水機現場操作盤		0.5	1.1				1.6	
		00346	流入渠水位計		0.5	1.1				1.6	
		00379	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(1)		6.0	14.1				20.1	
		00380	1系水処理ﾘﾓｰﾄIO盤(2)		6.0	14.1				20.1	
		00440	送風機棟ﾘﾓｰﾄIO盤		6.0	14.1				20.1	

単位：百万円

区分	工事名	資産名称		長寿命化計画期間						事業費（計）	適用
				H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
機械		00033	No.1-1A最初沈殿池流入可動堰			1.5	3.5			5.0	
		00034	No.1-1B最初沈殿池流入可動堰			1.5	3.5			5.0	
		00039	No.1-1A初沈汚泥掻寄機			6.6	15.4			22.0	
		00040	No.1-1B初沈汚泥掻寄機			6.6	15.4			22.0	
		00044	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ			3.3	7.7			11.0	
		00058	No.1-1ｴｱﾀﾝ流入可動堰			0.9	2.1			3.0	
		00062	No.1-1返送汚泥流入可動堰			0.9	2.1			3.0	
		00078	No.1-1ｴｱﾀﾝ散気装置			20.7	48.3			69.0	
		00091	No.1-1A終沈汚泥掻寄機			8.1	18.9			27.0	
		00092	No.1-1B終沈汚泥掻寄機			8.1	18.9			27.0	
		00096	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ			3.3	7.7			11.0	
		00117	No.1送風機			1.1				1.1	
		00121	No.5送風機			2.4				2.4	
		00134	No.1砂ろ過器			9.9	23.1			33.0	
		00138	No.1原水ﾎﾟﾝﾌﾟ			0.6	1.4			2.0	
電気	水処理工事その1（1-1系） 電気設備工事その2 （水処理1+特殊電源）	00251	分電盤			1.0	2.3			3.3	
		00252	計装盤			1.0	2.3			3.3	
		00253	中継端子盤			1.0	2.3			3.3	
		00254	監視制御盤(1)			7.6	17.6			25.2	
		00255	監視制御盤(2)								
		00256	監視制御盤(3)								
		00263	受変電監視操作盤			5.0	5.0			10.0	
		00264	ﾎﾟﾝﾌﾟﾌﾟﾛﾜ監視操作卓								
		00265	1系水処理監視操作卓								
		00267	ﾌﾟﾘﾝﾀ			0.2	0.6			0.8	
		00285	蓄電池盤			2.5	5.9			8.4	
		00286	充電器盤			2.5	5.9			8.4	
		00287	ｲﾝﾊﾞｰﾀ盤			0.5	1.1			1.6	
		00288	No.1始動用直流電源盤			4.0	9.4			13.4	
		00357	1系初沈補助継電器盤(1)			3.8	3.8			7.6	
		00358	1系初沈補助継電器盤(2)								
		00359	1系終沈補助継電器盤(1)			3.8	3.8			7.6	
		00360	1系終沈補助継電器盤(2)								
		00363	消毒.用水補助継電器盤(1)			3.0	7.0			10.0	
		00364	消毒.用水補助継電器盤(2)								
		00365	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)			2.1	2.1			4.2	
		00366	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)								
		00367	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)								
		00368	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)								
		00369	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)			2.1	2.1			4.2	
		00370	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)								
		00371	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)								
		00372	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)								
		00376	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)			1.5	3.5			5.0	
		00377	消毒.用水設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)								
		00382	No.1-1A初沈汚泥掻寄機現場操作盤			0.5	1.1			1.6	
		00383	No.1-1B初沈汚泥掻寄機現場操作盤			0.5	1.1			1.6	
		00387	No.1-1初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤			0.5	1.1			1.6	
		00395	No.1-1A終沈汚泥掻寄機現場操作盤			0.5	1.1			1.6	
		00396	No.1-1B終沈汚泥掻寄機現場操作盤			0.5	1.1			1.6	
		00400	No.1-1終沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤			0.5	1.1			1.6	
		00428	用水設備現場操作盤			0.5	1.1			1.6	
		00451	砂ろ過器現場操作盤			0.5	1.1			1.6	

単位：百万円

区分	工事名	資産名称		長寿命化計画期間						事業費（計）	適用
				H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
機械	水処理設備工事その2（1-2～1-4系） 電気設備工事その3（水処理2+受変電設備）	00035	No.1-2最初沈殿池流入可動堰					1.5	3.5	5.0	
		00036	No.1-3最初沈殿池流入可動堰					1.5	3.5	5.0	
		00037	No.1-4最初沈殿池流入可動堰					1.5	3.5	5.0	
		00041	No.1-2初沈汚泥掻寄機					13.5	31.5	45.0	
		00042	No.1-3初沈汚泥掻寄機					13.5	31.5	45.0	
		00043	No.1-4初沈汚泥掻寄機					2.2	5.1	7.3	
		00045	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ					2.4	5.6	8.0	
		00046	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ					2.4	5.6	8.0	
		00047	No.1-4初沈ｽｶﾑｽｷﾏ					2.4	5.6	8.0	
		00059	No.1-2ｴｱﾀﾝ流入可動堰					0.9	2.1	3.0	
		00060	No.1-3ｴｱﾀﾝ流入可動堰					0.9	2.1	3.0	
		00063	No.1-2返送汚泥流入可動堰					0.9	2.1	3.0	
		00064	No.1-3返送汚泥流入可動堰					0.9	2.1	3.0	
		00093	No.1-2終沈汚泥掻寄機					17.7	41.3	59.0	
		00094	No.1-3終沈汚泥掻寄機					17.7	41.3	59.0	
		00172	No.1次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽					3.6	8.4	12.0	
		00173	No.2次亜塩素酸ｿｰﾀﾞ貯槽					3.6	8.4	12.0	
電気		00248	柱上気中開閉器					0.5	1.1	1.6	
		00249	雨量計					0.2	0.6	0.8	
		00263	受変電監視操作盤					10.2	27.4	37.6	
		00264	ﾎﾟﾝﾌﾟﾌﾞﾛﾜ監視操作卓								
		00265	1系水処理監視操作卓								
		00268	引込盤					1.5	3.5	5.0	
		00269	受電盤					3.0	7.0	10.0	
		00270	No.1照明一次盤					3.0	7.0	10.0	
		00271	No.1動力一次盤								
		00272	母連盤					2.5	5.9	8.4	
		00280	No.1-2ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤					2.0	4.7	6.7	
		00281	No.1-1_400V主幹盤					3.0	7.0	10.0	
		00284	No.1照明ﾄﾗﾝｽ盤					2.5	5.9	8.4	
		00352	次亜塩補給盤					0.5	1.1	1.6	
		00357	1系初沈補助継電器盤(1)					3.8	3.7	7.5	
		00358	1系初沈補助継電器盤(2)								
		00359	1系終沈補助継電器盤(1)					3.8	3.7	7.5	
		00360	1系終沈補助継電器盤(2)								
		00365	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)					2.1	2.1	4.2	
		00366	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)								
		00367	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)								
		00368	1系初沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)								
		00369	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)					2.1	2.1	4.2	
		00370	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)								
		00371	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(3)								
		00372	1系終沈ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(4)								
		00378	1系水処理計装変換器盤					1.0	2.3	3.3	
		00384	No.1-2初沈汚泥掻寄機現場操作盤					0.5	1.1	1.6	
		00385	No.1-3初沈汚泥掻寄機現場操作盤					0.5	1.1	1.6	
		00388	No.1-2初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤					0.5	1.1	1.6	
		00389	No.1-3初沈ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤					0.5	1.1	1.6	
		00390	No.1-4初沈汚泥ｽｶﾑｽｷﾏ現場操作盤					0.5	1.1	1.6	
		00391	No.1ｴｱﾀﾝDO					0.5	1.1	1.6	
		00392	No.1ｴｱﾀﾝMLSS					0.5	1.1	1.6	
		00393	No.1-2ｴｱﾀﾝDO					0.5	1.1	1.6	
		00394	No.1-2ｴｱﾀﾝMLSS					0.5	1.1	1.6	
		00397	No.1-2終沈汚泥掻寄機現場操作盤					0.5	1.1	1.6	
		00398	No.1-3終沈汚泥掻寄機現場操作盤					0.5	1.1	1.6	
		00405	No.1初沈汚泥濃度計					2.0	4.7	6.7	
		00406	初沈汚泥引抜流量					0.5	1.1	1.6	
		00413	No.1-1ｴｱﾀﾝ送風量曝気風量					0.5	1.1	1.6	
		00417	No.1-1返送汚泥濃度					1.5	3.5	5.0	
		00418	No.1-2返送汚泥濃度計					1.5	3.5	5.0	
		00419	No.1-2返送汚泥流量					1.0	2.3	3.3	
		00420	No.1-1終沈汚泥引抜流量					1.0	2.3	3.3	
		00421	返送汚泥引抜流量					1.0	2.3	3.3	
		00422	No.1-2終沈汚泥引抜流量					1.0	2.3	3.3	
		00423	No.1-3終沈汚泥引抜流量					1.0	2.3	3.3	
		00512	No.1次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計					0.5	1.1	1.6	
		00513	No.2次亜塩貯留ﾀﾝｸﾚﾍﾞﾙ計					0.5	1.1	1.6	

単位：百万円

区分	工事名	資産名称		長寿命化計画期間						事業費（計）	適用
				H27（2015）	H28（2016）	H29（2017）	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）		
機械	汚泥処理設備工事 電気設備工事その4 （汚泥処理）	00176	No.1濃縮汚泥掻寄機				13.5	31.5		45.0	
		00177	No.2濃縮汚泥掻寄機				13.5	31.5		45.0	
		00199	No.1給水ﾎﾟﾝﾌﾟ				0.9	2.1		3.0	
		00210	No.1揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ				0.9	2.1		3.0	
		00211	No.2揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ				0.9	2.1		3.0	
		00214	No.1汚泥貯留ﾀﾝｸ攪拌機				2.1	4.9		7.0	
		00228	ｹｰｷﾎﾞｯﾊﾟｰ				6.6	15.4		22.0	
		00231	No.3脱水機				78.0	182.0		260.0	
		00232	No.3汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ				2.4	5.6		8.0	
		00234	No.3薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ				0.9	2.1		3.0	
		00243	水処理鋳鉄管以外				1.2	2.8		4.0	
		00263	受変電監視操作盤				5.0	10.1		15.1	
		00264	ﾎﾟﾝﾌﾟﾌﾟﾛﾜ監視操作卓								
		00265	1系水処理監視操作卓								
		00466	重力汚泥濃度				2.0	4.7		6.7	
		00467	濃縮汚泥量				0.5	1.1		1.6	
		00471	No.1濃縮汚泥掻寄機現場操作盤				0.5	1.1		1.6	
		00472	No.2濃縮汚泥掻寄機現場操作盤				0.5	1.1		1.6	
		00476	No.1蒸気ﾎﾞｲﾗ制御盤				1.5	3.5		5.0	
		00485	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)				1.0	2.3		3.3	
		00486	汚泥濃縮設備ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)								
		00487	汚泥濃縮設備補助継電器盤(1)				1.5	3.5		5.0	
		00489	汚泥脱水(2)ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(1)				2.5	5.9		8.4	
		00490	汚泥脱水(2)ﾎﾞｲﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ(2)								
		00491	汚泥脱水(2)ﾎﾞｲﾗｰ補助継電器盤				4.5	10.6		15.1	
		00494	No.3脱水機供給汚泥流量				0.5	1.1		1.6	
		00497	No.3薬品供給量				0.5	1.1		1.6	
		00498	No.3_4薬品供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤				0.5	1.1		1.6	
		00503	汚泥貯留ﾀﾝｸ撹拌機現場操作盤				0.5	1.1		1.6	
		00504	揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤				0.5	1.1		1.6	
		00506	No.3_4汚泥供給ﾎﾟﾝﾌﾟ現場操作盤				0.5	1.1		1.6	
土木		00522	内部防食_1系最初沈殿池				2.7	6.3		9.0	
		00538	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽				0.1	0.2		0.3	
		00539	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽					0.1		0.1	
		00540	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.1汚泥貯留槽				0.9	2.1		3.0	
		00542	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽				0.1	0.2		0.3	
		00543	ﾀﾗｯﾌﾟ_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽					0.1		0.1	
		00544	内部防食_汚泥処理棟B1FNo.2汚泥貯留槽				0.9	2.1		3.0	
		00546	FRP蓋_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ				2.4	5.7		8.1	
		00547	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ				0.6	1.4		2.0	
		00550	内部防食_No.1汚泥濃縮ﾀﾝｸ脱離液ﾋﾟｯﾄ				0.6	1.4		2.0	
		00554	FRP蓋_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ				2.4	5.7		8.1	
		00555	内部防食_No.2汚泥濃縮ﾀﾝｸ				0.6	1.4		2.0	
		00566	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1Fｹﾞｰﾄ室				0.1	0.2		0.3	
		00582	縞鋼板_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部				0.2	0.4		0.6	
		00583	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋_ﾎﾟﾝﾌﾟ棟B1Fﾎﾟﾝﾌﾟ井上部				0.1	0.2		0.3	

７．維持管理計画

7.1　維持管理の実施状況

定期的な日常点検および年次点検などを実施し、グリスアップや消耗品の取替えなどを行い、常時機能が発揮できるよう維持管理を行っている。以下に年次点検、日常点検の状況を添付する。

No.1-4最初沈殿池汚泥掻寄機 年次点検表（1/2）

✓正常　△ 調整必要　× 修理必要

点検日　平成 24年 1月 17日 点検者 紫村, 永川、丸山、赤司、久保

内容 / 機器名	駆動部																						主務チェーン																			
					オイル点検				グリス点検																	グリス点検																	
	錆・腐食	塗装	ボルトの緩み	スプロケット・タイトナ歯欠損	油量	変色	水の混入	異物の混入	変色	液化	水の混入	異物の混入	スプロケットホイールの摩耗	チェーンの摩耗・Jピンの脱落	チェーンの伸び	チェーンの緊張	三相電流	異音・振動	クラッチの機能	チェーンとの噛み合い	トルクスイッチ動作確認	逆転	錆・腐食	ボルトの緩み	スプロケットの歯欠損	フライト・レールの曲がり・破損	フライトのゴム摩耗・脱落	変色	液化	水の混入	異物の混入	配管の漏れ・詰まり	スプロケット・シューの摩耗	チェーンの摩耗・Jピンの脱落	チェーンの伸び	チェーンの緊張	スプロケットとチェーンの噛み合い	コレクタ速度
No.1-4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

電流値						
機器名	評価基準	測定	現場	U	V	W
No.1-4	0.80～1.20A (定格1.7A)	今回	0.95	0.90	0.93	0.93
		前回	0.99	0.94	0.95	0.95

問題点
・防食塗装が腐食により剥れてきています。
業者による補修をお願いします。

修理・作業
・オイル交換
・1-4Aグリス給脂配管補修　1箇所
・1-4Bグリス給脂配管補修　4箇所

検査装置始業点検（外観、機能、その他、総合）

日付	検査装置名	管理番号	結果	点検者	備考
1/17	クランプメーター	B-39	○	永川	
1/17	メジャースケール	イ－14－2	○	永川	
1/17	ノギス	M－004	○	永川	

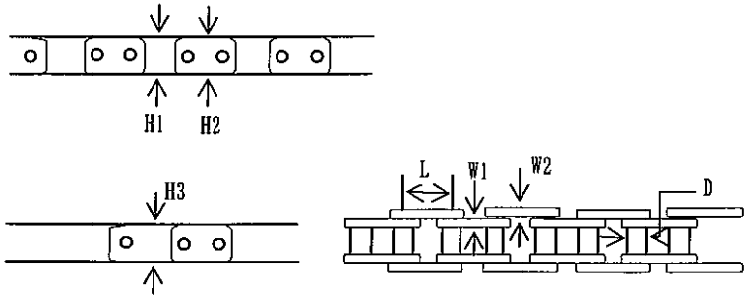
No.1-4最初沈殿池汚泥掻寄機 年次点検表（2/2）

駆動チェーン測定（mm）			
	基準値	No.1-4	使用限界
H_1	44.5	44.5	38.94以上
H_2	44.5	44.5	38.94以上
H_3	44.5		38.94以上
W_1	7.0	7.0	4.67以上
W_2	7.0	7.0	4.67以上
D	28.58	28.58	19.05以上
10L	508	509	516以下

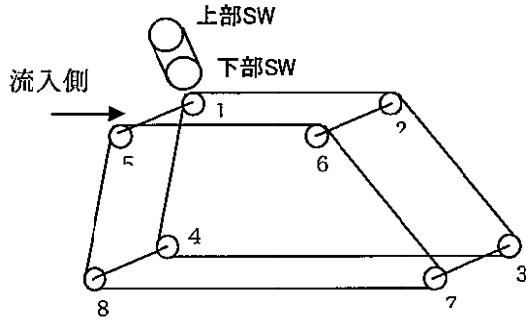
主務チェーン測定（mm）					
		基準値	No.1-4A	No.1-4B	使用限界
東側	H_1	38.0	38.0	38.0	33.25以上
	H_2	36.0	36.0	36.0	31.50以上
	W_1	6.0	6.0	6.0	4.00以上
	W_2	5.0	5.0	5.0	3.33以上
	D	24.0	23.1	23.5	16.00以上
	10L	1524	1524	1524	1554以下
西側	H_1	38.0	38.0	38.0	33.25以上
	H_2	36.0	36.0	36.0	31.50以上
	W_1	6.0	6.0	6.0	4.00以上
	W_2	5.0	5.0	5.0	3.33以上
	D	24.0	23.2	23.0	16.00以上
	10L	1524	1524	1524	1554以下

シュー測定（mm）			
		No.1-4A	No.1-4B
a	a_1	4.1	3.7
	a_2	5.5	4.0
	a_3	4.6	3.6
	a_4	5.1	4.0

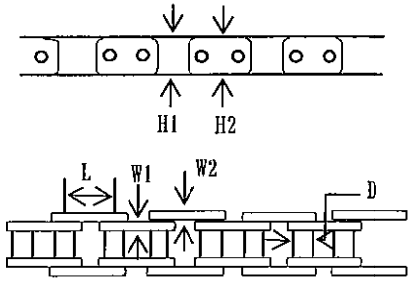
駆動チェーン測定箇所



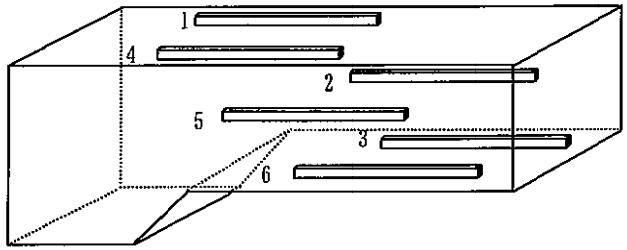
スプロケット撮影箇所



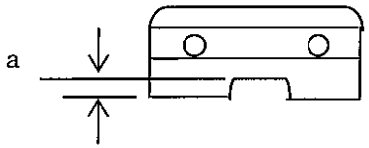
主務チェーン測定箇所



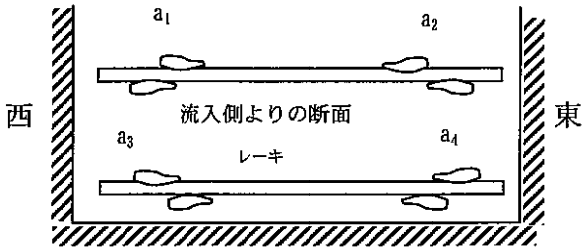
レール撮影箇所



シュー測定箇所



シュー撮影箇所

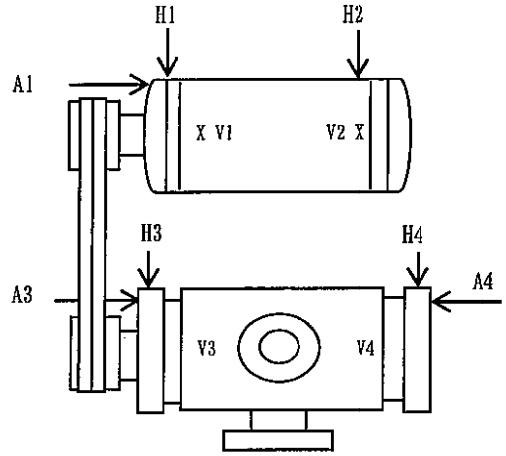


No.1送風機 年次点検表

点検日　平成 23年　6月 24日　点検者 渕、赤司

✓正常　△ 調整必要　× 修理必要

点検項目	異常音	異常振動	塗装・錆	ボルトの緩み	Vベルト・プーリー			オイル			フィルター	圧力計	安全弁	配管エアー漏れ	防振ゴムの変形
					張り	亀裂・剥離	溝の摩耗	量	漏れ	劣化					
結果	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓



振動測定（μm）　H:水平方向　V:垂直方向　A:軸方向

	評価基準	モーター						ブロワ					
		プーリー側			反プーリー側			プーリー側			反プーリー側		
		H_1	V_1	A_1	H_2	V_2	A_2	H_3	V_3	A_3	H_4	V_4	A_4
今回	50μm以下	43	50	29	35	38	33	38	35	24	35	25	20
前回		35	60	20	25	50	20	25	40	12	25	35	17

問題点

・無し

修理・作業

・オイル交換

・フィルター清掃

	電流値測定（定格 67.0A）				吐出圧 (kg/cm²)		騒音測定（本体より1m）[dB]	
	評価基準	現場	U	V	W	評価基準	指示値	騒音	暗騒音
今回	40.0～58.0	55.0	50.5	50.7	51.2	0.50～0.60	0.55	96	41
前回		52.0	47.3	47.4	49.3		0.57	93	38

検査装置始業点検（外観、機能、その他、総合）					
日付	検査装置名	管理番号	結果	点検者	備考
6/24	振動計	M-001	○	渕	
6/24	クランプメーター	B-39	○	渕	
6/24	騒音計	58SC0494	○	渕	

No.5送風機 年次点検表

点検日　平成 23年 6月 7日　点検者　渕、永川、赤司

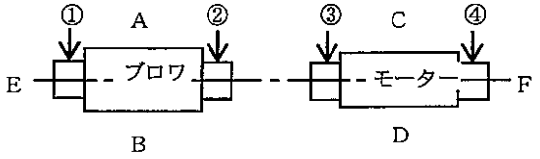
✓正常　△ 調整必要　× 修理必要　室温　20℃

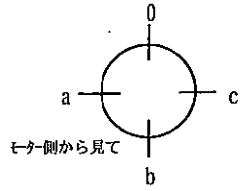
計測点	評価基準	1時間後
電流（A）	90.0～120.0	100.0
吸込風量(m³/min)	40～70	46
吸込風量調節(%)	2～100	73
インレットベーン開度(%)	10～100	31
駆動用電油操作器(MPa)	1.00～1.35	1.09
駆動側軸受温度(℃)	30～70	64
反駆動側軸受温度(℃)	30～70	60
吸込空気温度(℃)	5.0～40.0	28.0
吐出空気温度(℃)	50～95	90
吸込圧力　(mmAq)	0～0.20	0.08
吐出圧力　(mmAq)	4.5～5.6	5.5
空気管吐出弁開度(%)	200	200
No.2空気ろ過器差圧(mmH_2O)	0～3.0	0

点検内容			結果
異音・異常振動・過熱			✓
各ボルトの緩み			✓
防振ゴムの破損・劣化			✓
ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ部	油漏れ		✓
	グリース給脂		✓
油配管からの漏れ			✓
サイレンサーの汚れ			✓
エアーブリーザ部の汚れ			✓
塗装・錆・腐食			✓
ｲﾝﾚｯﾄﾍﾞｰﾝ電油操作器	油量		✓
	油漏れ		✓
	ﾓｰﾀｰの過熱		✓
電油操作器電流値(A)(定格0.56A)	U	0.44	✓
	V	0.46	✓
	W	0.45	✓
始動時動作具合	インレットベーン		✓
	連結リンク		✓
	吐出弁		✓
ｵｲﾙｹﾞｰｼﾞ	油量		✓
	汚れ		✓
	漏れ		✓
ｺﾝｽﾀﾝﾄﾚﾍﾞﾙｵｲﾗｰ	油量		✓
	汚れ		✓
	漏れ		✓

問題点
- 芯測定値が基準(0.05mm以下)を超えていますが、運転に支障ない為、様子を見たいと思います。

修理・作業
- 軸受オイル補充
- 電動機軸受グリス給脂
- ギアカップリング グリス入替え





検査装置始業点検（外観、機能、その他、総合）

日付	検査装置名	管理番号	結果	点検者	備考
6/7	振動計	M-001	○	赤司	
6/7	クランプメーター	B-39	○	赤司	
6/7	ダイヤルゲージ	B-47	○	赤司	
6/7	騒音計	58SC0494	○	赤司	

振動測定［μm］　H:水平方向　V:垂直方向　A:軸方向

	評価基準	①			②			③			④		
		H	V	A	H	V	A	H	V	A	H	V	A
今回	32μm以下	6	5	6	4	3	3		5	5	10	6	12
前回		4	3	6	3	2	3	6	4	6	6	7	10

芯測定［mm］

評価基準	0	a	b	c
0.05mm以下	±0.00	-0.08	-0.11	-0.03
	±0.00	-0.02	-0.06	-0.08

騒音測定［dB］

A	B	C	D	暗騒音
79	79	83	83	72
77	78	81	80	71

鳥栖市浄化センター
水処理機器点検日報（1）

平成24年12月6日 (木曜日)

九州設備公社			
総括	副総括	主任	係
鈴木	[illegible]	紫村	権藤

区分	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 前夜勤 江副	数値 後夜勤 権藤	判定 前	判定 後
沈砂池・主ポンプ設備	流入渠水位計	水位(m)	3.0以下	1.8		○	○
	No.1 沈砂池流入ゲート	電流(A)	2.0～2.7(5.0)			○	○
		開度(mm)	(1200)		100		
	No.2 沈砂池流入ゲート	電流(A)	2.0～2.7(5.0)			○	○
		開度(mm)	(1200)		90		
	No.3 沈砂池流入ゲート	電流(A)	3.0～5.0(8.0)			○	○
		開度(mm)	(1200)		90		
	No.1 自動除塵機	電流(A)	1.70～2.50(3.16)	2.35		○	○
	No.2 自動除塵機	電流(A)	1.70～2.50(3.00)	2.30		○	○
	No.3 自動除塵機	電流(A)	1.7～5.0(7.00)	4.5		○	○
	No.1 揚砂ポンプ	電流(A)	17.0～25.0(31.8)	21.5		○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.20～1.60	1.35			
	No.2 揚砂ポンプ	電流(A)	17.0～25.0(31.8)	22.0		○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.20～1.60	1.35			
	No.3 揚砂ポンプ	電流(A)	17.0～25.0(31.8)	21.5		○	○
		吐出圧(MPa)	0.120～0.160	0.145			
	サイクロン	機能		—		○	○
	No.1 し渣搬出機	電流(A)	1.50～2.20(3.30)	2.30		○	○
	No.2 し渣搬出機	電流(A)	1.00～1.70(3.30)	1.30		○	○
	沈砂、し渣洗浄機撹拌装置	電流(A)	4.0～6.0(10.5)	5.7		○	○
	給水弁	動作		—		○	○
	沈砂、し渣洗浄機し渣掻揚機	電流(A)	0.80～1.30(1.80)	1.10		○	○
	スクリューコンベア	電流(A)	1.00～2.00(1.80)	1.70		○	○
	排水弁	動作		—		○	○
	し渣脱水機	電流(A)	2.0～4.0(7.1)	3.1		○	○
		油圧(MPa)	1.00～1.50(3.30)	1.35			
	No.1 スカム分離機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)	1.05		○	○
	No.1 流出ゲート	開度(mm)	(1200)		1200	○	○
	No.2 流出ゲート	開度(mm)	(1200)		1200	○	○
	No.3 流出ゲート	開度(mm)	(1200)		1200	○	○
	ポンプ井連絡ゲート	開度(mm)	(800)		800	○	○
	No.2 ポンプ井連絡ゲート	開度(mm)	(1200)		1200	○	○
	No.1 沈砂池床排水ポンプ	動作			—	○	○
	No.2 沈砂池床排水ポンプ	動作			—	○	○
	No.1 主ポンプ	電流(A)	37.0～45.0(56.0)	—	—	×	×
		吐出圧(kg/cm²)	0.60～1.40	—	—		
		吐出弁	10～100	—	—		
	No.2 主ポンプ	電流(A)	27.0～32.0(32.0)	—	—	×	×
		吐出圧(kg/cm²)	0.60～1.60	—	—		
		吐出弁	10～100	—	—		
	No.3 主ポンプ	電流(A)	27.0～32.0(32.0)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.60～1.60				
		吐出弁	10～100				
	No.4 主ポンプ	電流(A)	60.0～73.0(73.0)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.60～1.40				
		吐出弁	10～100				
	No.5 主ポンプ	電流(A)	60.0～73.0(73.0)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.60～1.40				
		吐出弁	10～100				
	No.4 汚水ポンプ	電流(A)	70.0～110.0(133.0)	88.0	87.0	○	○
		吸込圧(MPa)	-0.010～0.020	-0.001	0.000		
		吐出圧(MPa)	0.100～0.200	0.101	0.102		
		吐出弁	10～100	100	100		

区分	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 前夜勤	数値 後夜勤	判定 前	判定 後
沈砂池・主ポンプ設備	No.5 汚水ポンプ	電流(A)	70.0～110.0(133.0)			○	○
		吸込圧(MPa)	-0.010～0.020				
		吐出圧(MPa)	0.100～0.200				
		吐出弁	10～100				
	No.1 ポンプ室床排水ポンプ	動作			—	○	○
	No.2 ポンプ室床排水ポンプ	動作			—	○	○
	No.1 分水槽流出可動堰	開度(mm)	(700)		690	○	○
	No.2 分水槽流出可動堰	開度(mm)	(700)		700	○	○
	分水槽床排水ポンプ	動作			—	○	○

区分	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 日勤 村上	数値 後夜勤 権藤	判定 日	判定 後
初沈設備	No.1-1A 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	330		○	○
	No.1-1B 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	330		○	○
	No.1-2 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	360		○	○
	No.1-3 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	380		○	○
	No.1-4 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	380		○	○
	No.2-1 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	390		○	○
	No.2-2 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	400		○	○
	No.2-3 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	350		○	○
	No.2-4 初沈流入可動堰	開度(mm)	(400)	0		○	○
	バイパス可動堰	開度(mm)	(450)	0		○	○
	初沈バイパスゲート	開度(mm)	(600)	0		○	○
	No.1-1A 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.80)		1.08	○	○
	No.1-1B 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.80)		1.00	○	○
	No.1-2 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		1.00	○	○
	No.1-3 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		0.95	○	○
	No.1-4 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		1.00	○	○
	No.2-1 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		1.00	○	○
	No.2-2 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		0.90	○	○
	No.2-3 初沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		0.90	○	○
	No.1-1 初沈スカムスキーマ	動作, スカム量		—		○	○
	No.1-2 初沈スカムスキーマ	動作, スカム量		—		○	○
	No.1-3 初沈スカムスキーマ	動作, スカム量		—		○	○
	No.1-4 初沈スカムスキーマ	動作, スカム量		—		○	○
	No.2-1 初沈スカムスキーマ	動作, スカム量		—		○	○
	No.2-2 初沈スカムスキーマ	動作, スカム量		—		○	○
	No.2-3 初沈スカムスキーマ	動作, スカム量		—		○	○
	No.1-1A 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		100	○	○
	No.1-1B 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		0	○	○
	No.1-2 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		0	○	○
	No.1-3 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		0	○	○
	No.1-4 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		0	○	○
	No.2-1 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		100	○	○
	No.2-2 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		0	○	○
	No.2-3 初沈汚泥引抜弁	開度(%)	—		0	○	○
	No.1-1 初沈汚泥引抜ポンプ	電流(A)	12.0～16.0(20.3)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.250～0.330				
	No.1-2 初沈汚泥引抜ポンプ	電流(A)	12.0～16.0(20.3)		14.0	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	2.50～3.30		3.15		
	No.2-1 初沈汚泥引抜ポンプ	電流(A)	4.5～8.0(13.8)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.100～0.170				
	No.2-2 初沈汚泥引抜ポンプ	電流(A)	4.5～8.0(13.8)		7.7	○	○
		吐出圧(MPa)	0.100～0.170		0.143		

鳥栖市浄化センター

水処理機器点検日報（２）

平成24年12月6日(木曜日)

機器名		項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
初沈設備	初沈汚泥濃度	濃度(%)	5.00以下		1.33	○	○
	ゲート弁開閉圧力	圧力(kg/cm²)	2.0～4.0		2.6	○	○
	加圧圧力	圧力(kg/cm²)	3.0～5.0		4.1	○	○
	コンプレッサー圧力	圧力(MPa)	0.50～0.70		0.57	○	○
	No.1-1 スカム移送ポンプ	電流(A)	20.0～26.0(26.9)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.160～0.220				
	No.1-2 スカム移送ポンプ	電流(A)	20.0～26.0(26.9)		24.0	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.6～2.2		2.2		
	No.2-1 スカム移送ポンプ	電流(A)	6.5～9.5(10.5)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.070～0.130				
	No.2-2 スカム移送ポンプ	電流(A)	6.5～9.5(10.5)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.070～0.130				
	No.1 初沈床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No.2 初沈床排水ポンプ	動作		—		○	○
エアタン機器	No.1-1 エアタン流入可動堰	開度(mm)	(400)	140		○	○
	No.1-2 エアタン流入可動堰	開度(mm)	(400)	160		○	○
	No.1-3 エアタン流入可動堰	開度(mm)	(400)	180		○	○
	No.1-4 エアタン流入可動堰	開度(mm)	(400)	155		○	○
	No.2-1 反応槽流入可動堰	開度(mm)	(400)	250		○	○
	No.2-2 反応槽流入可動堰	開度(mm)	(400)	250		○	○
	No.2-3 反応槽流入可動堰	開度(mm)	(400)	270		×	×
	No.2-4 反応槽流入可動堰	開度(mm)	(400)	0		○	○
	No.1-1 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	130		○	○
	No.1-2 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	300		○	○
	No.1-3 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	280		○	○
	No.1-4 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	190		○	○
	No.2-1 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	280		○	○
	No.2-2 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	300		○	○
	No.2-3 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	300		○	○
	No.2-4 返送汚泥流入可動堰	開度(mm)	(300)	0		○	○
	No.1-1-1 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-1-2 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-1-3 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-2-1 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-2-2 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-2-3 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-3-1 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-3-2 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-3-3 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-4-1 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-4-2 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.1-4-3 エアタンステップ流入可動堰	開度(mm)	(200)	200		○	○
	No.2-1 反応槽ステップ流入可動堰	開度(mm)	(400)	400		○	○
	No.2-2 反応槽ステップ流入可動堰	開度(mm)	(400)	400		○	○
	No.2-3 反応槽ステップ流入可動堰	開度(mm)	(400)	160		○	○
	No.2-4 反応槽ステップ流入可動堰	開度(mm)	(400)	0		○	○
	No.1-1 散気装置	散気			—	○	○
	No.1-2 散気装置	散気			—	○	○
	No.1-3 散気装置	散気			—	○	○
	No.1-4 散気装置	散気			—	○	○
	No.1-1 エアタンDO計	mg/L	—		0.5	○	○
	No.1-1 エアタンMLSS計	mg/L	—		1370	○	○
	No.1-2 エアタンDO計	mg/L	—		1.0	○	○
	No.1-2 エアタンMLSS計	mg/L	—		1550	○	○
	No.1 エアタン床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No.1-1 エアタン送風流量計	動作		—		○	○
	No.1-2 エアタン送風流量計	動作		—		○	○

機器名		項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
エアタン機器	No.2-1 反応槽送風流量計	動作		—		○	○
	No.2-1 反応槽風量調節弁	動作		—		○	○
	No.2-2 反応槽風量調節弁	動作		—		○	○
	No.2-3 反応槽風量調節弁	動作		—		○	○
	No.2 反応槽床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No.2-1 反応槽DO計	mg/L	—		0.8	○	○
	No.2-1 反応槽MLSS計	mg/L	—		1500	○	○
	No.2-1 反応槽ORP計	mV	-800～100		-297	○	○
	No.2-2 反応槽DO計	mg/L	—		1.4	○	○
	No.2-2 反応槽MLSS計	mg/L	—		1400	○	○
	No.2-2 反応槽ORP計	mV	-800～100		-448	○	○
	No.2-1 第1槽曝気装置	電流(A)	2.0～4.0(4.7)		2.0		
		回転数(/min)	100～350		150	○	○
		散気			—		
	No.2-1 第2槽曝気装置	電流(A)	3.0～6.0(7.4)		5.2		
		回転数(/min)	100～300		270	○	○
		散気			—		
	No.2-1 第3槽曝気装置	電流(A)	3.0～6.0(7.4)		5.1		
		回転数(/min)	100～300		265	○	○
		散気			—		
	No.2-1 第4槽曝気装置	電流(A)	3.0～9.0(10.7)		6.2		
		回転数(/min)	100～250		200	○	○
		散気			—		
	No.2-2 第1槽曝気装置	電流(A)	2.0～4.0(4.7)		2.0		
		回転数(/min)	100～350		150	○	○
		散気			—		
	No.2-2 第2槽曝気装置	電流(A)	3.0～6.0(7.4)		4.8		
		回転数(/min)	100～300		270	○	○
		散気			—		
	No.2-2 第3槽曝気装置	電流(A)	3.0～6.0(7.4)		4.9		
		回転数(/min)	100～300		270	○	○
		散気			—		
	No.2-2 第4槽曝気装置	電流(A)	3.0～9.0(10.7)		5.8		
		回転数(/min)	100～250		203	○	○
		散気			—		
	No.2-3 第1槽曝気装置	電流(A)	5.0～7.4(7.4)		7.2		
		散気			—	○	○
	No.2-3 第3槽曝気装置	電流(A)	5.0～7.4(7.4)		6.9		
		散気			—	○	○
終沈設備	No.1-1A 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.1-1B 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.1-2 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.1-3 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.1-4 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.2-1 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.2-2 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.2-3 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	600		○	○
	No.2-4 終沈流入ゲート	開度(mm)	(600)	0		○	○
	No.1-1A 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.80)		1.00	○	○
	No.1-1B 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.80)		1.00	○	○
	No.1-2 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		1.00	○	○
	No.1-3 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		1.00	○	○
	No.1-4 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.80～1.20(1.70)		—	○	○
	No.2-1 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	1.00～2.00(3.10)		1.55	○	○
	No.2-2 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	1.00～2.00(3.10)		1.40	○	○
	No.2-3 終沈汚泥掻寄機	電流(A)	0.40～0.80(1.00)		0.61	○	○

鳥栖市浄化センター

水処理機器点検日報（3）

平成24年12月6日(木曜日)

	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
終沈設備	No. 1-1 終沈スカムスキーマ	動作、スカム量		—		○	○
	No. 1-2 終沈スカムスキーマ	動作、スカム量		—		○	○
	No. 1-3 終沈スカムスキーマ	動作、スカム量		—		○	○
	No. 1-4 終沈スカムスキーマ	動作、スカム量		—		○	○
	No. 2-1 終沈スカムスキーマ	動作、スカム量		—		○	○
	No. 2-2 終沈スカムスキーマ	動作、スカム量		—		○	○
	No. 2-3 終沈スカムスキーマ	動作、スカム量		—		○	○
	No. 1-1 終沈汚泥引抜弁	開度(%)	—	49		○	○
	No. 1-2 終沈汚泥引抜弁	開度(%)	—	100		○	○
	No. 1-3 終沈汚泥引抜弁	開度(%)	—	100		○	○
	No. 1-4 終沈汚泥引抜弁	開度(%)	—	0		○	○
	No. 2-1 返送汚泥引抜弁	開度(%)	—	100		○	○
	No. 2-2 返送汚泥引抜弁	開度(%)	—	100		○	○
	No. 2-3 返送汚泥引抜弁	開度(%)	—	100		○	○
	No. 2-1 余剰汚泥引抜弁	開度(%)	—	0		○	○
	No. 2-2 余剰汚泥引抜弁	開度(%)	—	100		○	○
	No. 2-3 余剰汚泥引抜弁	開度(%)	—	0		○	○
	No. 1-1 返送汚泥流量調整弁	開度(%)	—	12		○	○
	No. 1-2 返送汚泥流量調整弁	開度(%)	—	16		○	○
	No. 2-1 返送汚泥流量調整弁	開度(%)	—	16		○	○
	No. 2-2 返送汚泥流量調整弁	開度(%)	—	8		○	○
	No. 1-1 返送汚泥濃度計	濃度(%)	1.50%以下	0.33		○	○
	No. 1-2 返送汚泥濃度計	濃度(%)	1.50%以下	0.34		○	○
	No. 2-1 返送汚泥濃度計	濃度(%)	1.50%以下	0.38		○	○
	No. 2-2 返送汚泥濃度計	濃度(%)	1.50%以下	—		×	×
	No. 1-0 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～7.5(11.1)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.80～1.50				
	No. 1-1 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～7.5(11.1)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.80～1.50				
	No. 1-2 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～7.5(11.1)		7.0	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.80～1.50		1.10		
	No. 1-3 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～7.5(11.1)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.80～1.50				
	No. 1-4 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～7.5(11.2)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.80～1.51				
	No. 1-5 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～7.5(11.3)		7.3	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.80～1.52		1.16		
	No. 2-1 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～12.0(13.8)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.070～0.150				
	No. 2-2 返送汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～12.0(13.8)		8.5	○	○
		吐出圧(MPa)	0.070～0.150		0.107		
	No. 2-3 返送汚泥ポンプ	電流(A)	7.0～10.0(14.0)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.070～0.150				
	No. 2-4 返送汚泥ポンプ	電流(A)	7.0～10.0(14.0)		8.3	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	0.070～0.150		0.123		
	No. 1-1 余剰汚泥ポンプ	電流(A)	5.0～7.0(13.8)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.00～1.20				
	No. 1-2 余剰汚泥ポンプ	電流(A)	5.0～7.0(13.8)		5.7	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.00～1.20		1.09		
	No. 1-3 余剰汚泥ポンプ	電流(A)	5.0～7.0(13.8)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.00～1.20				
	No. 1-4 余剰汚泥ポンプ	電流(A)	5.0～7.0(13.8)		5.7	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.00～1.20		1.09		

	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
終沈設備	No. 2-1 余剰汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～10.0(13.8)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.100～0.180				
	No. 2-2 余剰汚泥ポンプ	電流(A)	6.0～10.0(13.8)		8.5	○	○
		吐出圧(MPa)	0.100～0.180		0.157		
	No. 1 終沈床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No. 2 終沈床排水ポンプ	動作		—		○	○
用水設備	No. 1 砂ろ過器	上部圧力(kg/cm²)	0.10～0.60			○	○
		下部圧力(kg/cm²)	0.10～0.60				
	No. 2 砂ろ過器	上部圧力(kg/cm²)	0.10～0.60			○	○
		下部圧力(kg/cm²)	0.10～0.60				
	No. 3 砂ろ過器	流量(L/min)	30～60			○	○
		圧力(MPa)	0.28～0.32				
		流量(m³/h)	27以下				
	No. 4 砂ろ過器	流量(L/min)	30～60			○	○
		圧力(MPa)	0.28～0.32				
		流量(m³/h)	27以下				
	No. 1 原水ストレーナー	入口圧(kg/cm²)	0.20～0.60			○	○
		出口圧(kg/cm²)	0.20～0.60				
		差圧(kg/cm²)	0.00～0.20				
	No. 2 原水ストレーナー	入口圧(kg/cm²)	0.20～0.60			○	○
		出口圧(kg/cm²)	0.20～0.60				
		差圧(kg/cm²)	0.00～0.20				
	No. 3 原水ストレーナー	入口圧(kg/cm²)	0.50～1.00			○	○
		出口圧(MPa)	0.030～0.080				
		差圧(MPa)	0.000～0.040				
	No. 1 原水ポンプ	電流(A)	3.0～4.1(4.2)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	2.60～3.10				
	No. 2 原水ポンプ	電流(A)	3.0～4.1(4.2)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	2.60～3.10				
	No. 3 原水ポンプ	電流(A)	5.0～6.7(8.0)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.100～0.160				
	No. 4 原水ポンプ	電流(A)	5.0～6.7(8.0)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.100～0.160				
	No. 1 逆洗ポンプ	電流(A)	5.0～8.5(10.5)			×	×
		吐出圧(kg/cm²)	2.20～2.70				
	No. 2 逆洗ポンプ	電流(A)	5.0～8.5(10.5)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	2.20～2.70				
	No. 1 消泡水ポンプ	電流(A)	13.0～26.0(26.0)		14.0	○	○
		吐出圧(kg/cm²)	5.2～6.2		6.0		
	No. 2 消泡水ポンプ	電流(A)	13.0～26.0(26.0)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	5.2～6.2				
	No. 3 消泡水ポンプ	電流(A)	11.0～27.0(27.0)			○	○
		吐出圧(MPa)	0.30～0.60				
	散水用給水ポンプ	電流(A)	4.0～6.0(7.1)			○	○
		吸込圧(MPa)	0.02～0.05				
		吐出圧(kg/cm²)	4.0～6.5				
	散水用給水タンク	圧力(MPa)	0.26～0.56		—	×	×
	自動給水装置 No. 1 給水ポンプ	電流(A)	5.0～6.5(7.0)			○	○
		吸込圧(kg/cm²)	0.2～0.4				
		吐出圧(kg/cm²)	4.8～6.0				
	自動給水装置 No. 2 給水ポンプ	電流(A)	5.0～6.5(7.0)		5.7	○	○
		吸込圧(kg/cm²)	0.2～0.4		0.2		
		吐出圧(kg/cm²)	4.8～6.0		5.0		
	給水タンク	圧力(kg/cm²)	—		4.6	○	○

鳥栖市浄化センター

水処理機器点検日報（４）

平成24年12月6日（木曜日）

	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
用水設備	No. 1 原水槽流入ゲート	開度(mm)	(200)	0		○	○
	No. 2 原水槽流入ゲート	開度(mm)	(200)	200		○	○
	原水スクリーン	目詰り		—		○	○
	No. 1 砂ろ過水送水ポンプ	電流(A)	22.0～26.0			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.90～2.70				
	No. 2 砂ろ過水送水ポンプ	電流(A)	22.0～26.0			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	1.90～2.70				
	No. 1 洗浄排水ポンプ	電流(A)	6.0～7.3			○	○
		吐出圧(MPa)	0.047～0.060				
	No. 2 洗浄排水ポンプ	電流(A)	6.0～7.3			○	○
		吐出圧(MPa)	0.047～0.060				
	No. 1 空気圧縮機	電流(A)	9.0～13.0			○	○
		空気タンク圧(MPa)	0.30～0.55				
	No. 2 空気圧縮機	電流(A)	9.0～13.0			○	○
		空気タンク圧(MPa)	0.30～0.55				
	No. 1 用水床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No. 2 用水床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No. 3 用水床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No. 4 用水床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No. 1 次亜塩注入ポンプ	吐出圧(kg/cm²)	0.50～1.00	1.00	1.00	○	○
		注入量(L/h)	5.0～25.0	11.1	10.9		
	No. 2 次亜塩注入ポンプ	吐出圧(kg/cm²)	0.50～1.00			○	○
		注入量(L/h)	5.0～25.0				
	No. 3 次亜塩注入ポンプ	吐出圧(MPa)	0.050～0.150			×	×
		注入量(L/h)	5.0～25.0				
	No. 4 次亜塩注入ポンプ	吐出圧(MPa)	0.050～0.150			○	○
		注入量(L/h)	5.0～25.0				
	No. 1 用水設備次亜塩注入ポンプ	吐出圧(MPa)	0.040～0.100	0.040		○	○
		注入量(L/h)	0.30～1.50	1.50			
	No. 2 用水設備次亜塩注入ポンプ	吐出圧(MPa)	0.040～0.100			○	○
		注入量(L/h)	0.30～1.50				
	No. 1・2砂ろ過器用次亜塩注入ポンプ	吐出圧(MPa)	0.120～0.150			○	○
	No. 1 次亜塩貯留タンク	点検時刻	—	9:50	16:00		
		液位(現場盤)m	0.50～4.00	3.40	3.40	○	○
		液位(タンク)m	0.50～4.00	3.62	3.62		
	No. 2 次亜塩貯留タンク	点検時刻	—	9:50	16:00		
		液位(現場盤)m	0.50～4.00	2.70	2.63	○	○
		液位(タンク)m	0.50～4.00	2.86	2.80		
	混和池バイパスゲート	開度(mm)	(1000)	0		○	○
	放流ゲート	開度(mm)	(1000)	300		○	○
	次亜塩貯留タンク	配管損傷及び漏洩	No.1	—	—	○	○
			No.2	—	—	○	○
	薬品保管の確認	在庫の確認及び漏洩容器の損傷及び漏洩	PAC	0缶	0缶	○	○
			消泡剤	8.0缶	8.0缶	○	○
		液位（消泡剤注入装置）L	40～220	156L	143L	○	○
送風機設備	No. 1 送風機	電流(A)	40.0～58.0				
		吐出圧(kg/cm²)	0.50～0.60			○	○
		rpm	860～1800				
	No. 2 送風機	電流(A)	40.0～58.0				
		吐出圧(kg/cm²)	0.50～0.60			○	○
		rpm	860～1800				

	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
送風機設備	No. 3 送風機	電流	A	160～200	190		
		吸込風量	m³/min	50～100	99		
		吸込風量	出力(%)	0～100.0	51.8		
		インレットベーン	開度(%)	10～100	49		
		駆動側軸受温度計	温度(℃)	20～50	30		
		反駆動側軸受温度計	温度(℃)	20～50	33	○	○
		吸込圧力計	圧力(kPa)	0～-2.00	-1.55		
		吐出圧力計	圧力(kPa)	40～60	50		
		吸込空気温度計	温度(℃)	0.0～34.0	7.5		
		吐出空気温度計	温度(℃)	30～90	58		
		給油圧力	圧力(MPa)	0.15～0.35	0.22		
		送風機吐出弁	開度(%)	100	100		
	No. 1 冷却水ポンプ	電流(A)	1.00～2.00	1.85	1.82	○	○
		吐出圧(MPa)	0.250～0.350	0.288	0.290		
	No. 2 冷却水ポンプ	電流(A)	1.00～2.00			○	○
		吐出圧(MPa)	0.250～0.350				
	No. 1 潤滑油ポンプ	電流(A)	2.0～3.0	2.5	2.5	○	○
		吐出圧(MPa)	0.300～0.400	0.360	0.360		
	No. 2 潤滑油ポンプ	電流(A)	2.0～3.0			○	○
		吐出圧(MPa)	0.300～0.400				
	潤滑油タンク内油温	温度℃(TI901)	10.0～40.0	27.0	27.0	○	○
	No. 1 オイルクーラ潤滑油	入口温度℃(TI902)	10～45	26	26	○	○
		出口温度℃(TI903)	5～40	25	25	○	○
	No. 2 オイルクーラ潤滑油	入口温度℃(TI904)	10～45	27	27	○	○
		出口温度℃(TI905)	5～40	24	25	○	○
	潤滑油油温	温度℃(TIA901)	5.0～45.0	22.5	23.0	○	○
	No. 1 オイルクーラ冷却水	入口温度℃(TI907)	5～35	24	24	○	○
		出口温度℃(TI908)	5～38	25	26	○	○
		冷却水量	目盛3.0～5.0(15～25L/min)	3.5	3.5	○	○
	No. 2 オイルクーラ冷却水	入口温度℃(TI909)	5～35	24	24	○	○
		出口温度℃(TI910)	5～38	25	26	○	○
		冷却水量	目盛3.0～5.0(15～25L/min)	3.5	3.5	○	○
	オイルクーラストレーナ	入口圧力(MPa)	0.250～0.350	0.318	0.318	○	○
		出口圧力(MPa)	0.250～0.350	0.310	0.310	○	○
	冷却塔	状態		—	—	○	○

	点検項目	異常の有無
毎日	不審物等点検	□有 □無
第一月曜日	池上覆蓋点検（沈砂池設備・初沈設備・反応槽設備）	□有 □無
	フェンス（境界線）周辺点検	□有 □無

鳥栖市浄化センター

水処理機器点検日報（5）

平成24年12月6日(木曜日)

	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
送風機設備	No.4 送風機						
	電流	A	90～130(130)	110	115		
	吸込風量	m³/min	40～65(0～75)	59	60		
	吸込風量調節	出力(%)	2～100	53	52		
	インレットベーン	開度(%)	10～100	57	57		
	インレットベーン駆動用電油操作機	吐出圧(kg/cm²)	12.0～13.5	13.0	13.0		
	駆動側軸受温度計	温度(℃)	30～70	51	52	○	○
	反駆動側軸受温度計	温度(℃)	30～70	44	45		
	吸込空気温度計	温度(℃)	5.0～40.0	14.2	13.9		
	吐出空気温度計	温度(℃)	50～95	70	70		
	吸込圧力計	圧力(mAq)	0～0.20	0.09	0.09		
	吐出圧力計	圧力(mAq)	4.5～5.6	5.3	5.3		
	空気管吐出弁	開度(mm)	200	200	200		
	No.5 送風機						
	電流	A	90～130(130)				
	吸込風量	m³/min	40～65(0～75)				
	吸込風量調節	出力(%)	2～100				
	インレットベーン	開度(%)	10～100				
	インレットベーン駆動用電油操作機	吐出圧(MPa)	1.00～1.35				
	駆動側軸受温度計	温度(℃)	30～70			○	○
	反駆動側軸受温度計	温度(℃)	30～70				
	吸込空気温度計	温度(℃)	5.0～40.0				
	吐出空気温度計	温度(℃)	50～95				
	吸込圧力計	圧力(mAq)	0～0.20				
	吐出圧力計	圧力(mAq)	4.5～5.6				
	空気管吐出弁	開度(mm)	200				
	No.1 空気ろ過器	差圧(Pa)	0～30	0	0	○	○
	No.2 空気ろ過器	差圧(mmH_2O)	0～3.0	0.0	0.0	○	○
	No.1 送風機棟床排水ポンプ	動作		—		○	○
	No.2 送風機棟床排水ポンプ	動作		—		○	○

	機器名	項目	常用値（定格値）	数値 日勤	数値 後夜勤	判定 日	判定 後
	1F 換気機械室						
事務室用空調機	室内ファン	電流(A)	0.8～1.2(1.5)	1.0		○	○
	室外ファン	電流(A)	0.3～0.7(0.7)			○	○
	圧縮機	電流(A)	5.5～8.3(冷8.3)				
			5.5～7.0(暖7.0)			○	○
		吸込圧(kg/cm²)	3.0～10.0	5.4			
		吐出圧(kg/cm²)	8.0～28.0	10.0			
	オートロールフィルタ	差圧(mmH_2O)	0～8.0	0.6		○	○
	加湿器	—	—	—		×	×
	2F 空調機械室(A)						
会議室用空調機	室内ファン	電流(A)	1.3～2.0(2.0)			○	○
	室外ファン	電流(A)	0.6～0.9(0.9)			○	○
	圧縮機	電流(A)	6.5～12.4(冷12.4)				
			6.5～10.4(暖10.4)			○	○
		吸込圧(kg/cm²)	3.0～10.0				
		吐出圧(kg/cm²)	8.0～23.0				
	オートロールフィルタ	差圧(mmH_2O)	0～8.0			○	○
	加湿器	—	—	—		○	○
中央空調機	圧縮機	高圧部圧力(MPa)	3.30以下	2.08		○	○
		低圧部圧力(MPa)	1.60以下	0.45		○	○
	オートロールフィルタ	差圧(mmH_2O)	0～8.0	2.2		○	○
	加湿器	—	—	—		○	○
	2F 空調機械室(B)						
水質試験室空調機	室内ファン	電流(A)	3.0以下(5.0)			○	○
	室外ファン	電流(A)	0.7～1.3(2.1)			○	○
	圧縮機	電流(A)	10.0～17.5(冷17.5)				
			10.0～14.3(暖14.3)			○	○
		吸込圧(kg/cm²)	3.0～10.0				
		吐出圧(kg/cm²)	8.0～23.0				
	オートロールフィルタ	差圧(mmH_2O)	0～8.0			○	○
	加湿器	—	—	—		○	○

防火点検表（後夜勤点検時実施）

点検場所	点検項目	チェック	点検場所	点検項目	チェック
市役所事務所	A, B, D, E, F	○	水処理機械棟	A, B, C, G	○
九設事務所	A, B, D, G	○	送風機棟	A, B, C, G	○
管理棟1F湯沸室	A, B, D, E, F, G	○	水処理電気室	A, B, G	○
管理棟1F洗濯室	A, B, E, F, G	○	管廊内	A, B, G	○
管理棟2F中央監視室	A, B, D, G	○	塩素滅菌棟	A, B, C, G	○
管理棟2F湯沸室	A, B, E, F, G	○			
水質試験室	A, B, C, E, F, G	○			
沈砂池	A, B, G	○			
工作室	A, B, C, G	○			

A…可燃物の有無　E…ガスの元栓確認
B…火気の有無　F…ガス漏れの有無
C…油漏れの有無　G…消火器の設置場所確認
D…灰皿の後始末

備考
・No.2-2返送汚泥濃度計 検出面不良の為、撤去中(明電舎)
・No.3次亜塩注入ポンプ動作不良の為、運転禁止。

鳥栖市浄化センター

汚泥処理機器点検日報 (1)

平成24年12月6日 (木曜日)

	機器名	項目	常用値 (定格値)	数値 日勤 陶山	数値 後夜勤 久保	判定 日勤	判定 後夜勤
濃縮棟/設備	汚泥スクリーン	電流 (A)	0.80～1.30 (1.70)		1.00	○	○
	し渣脱水機	電流 (A)	0.60～1.10 (1.60)		0.90	○	○
	し渣搬出コンベヤ	電流 (A)	0.60～1.10 (1.70)		1.00	○	○
	No.1濃縮汚泥掻寄機	電流 (A)	0.65～0.80 (1.00)		0.71	○	○
	No.2濃縮汚泥掻寄機	電流 (A)	0.65～0.80 (1.00)		0.71	○	○
	No.1濃縮汚泥引抜弁	開度 (%)	(100)		100	○	○
	No.2濃縮汚泥引抜弁	開度 (%)	(100)		0	○	○
	No.1濃縮汚泥引抜ポンプ	電流 (A)	9.0～18.0 (20.5)			○	○
		吐出圧 (kg/cm²)	1.80～2.00			○	○
		吐出弁 (%)	(100)			○	○
	No.2濃縮汚泥引抜ポンプ	電流 (A)	9.0～18.0 (20.5)		15.0	○	○
		吐出圧 (kg/cm²)	1.80～2.00		>2.00	○	○
		吐出弁 (%)	(100)		100	○	○
	重力濃縮汚泥濃度計	濃度 (%)	1.00～5.00		2.08	○	○
	重力濃縮汚泥流量	流量 (m³/h)	20～65		58	○	○
	No.1濃縮槽分配可動堰	開度 (mm)	(300)	230		○	○
	No.2濃縮槽分配可動堰	開度 (mm)	(300)	250		○	○
	濃縮棟床排水ポンプ	動作		—	—	○	○
消化槽機械棟設備	No.1センタードーム圧力	KPa	1.5～3.0				
	No.2センタードーム圧力	KPa	1.50～3.00	1.90	1.90	○	○
	No.3センタードーム圧力	KPa	1.50～3.00	2.10	2.00	○	○
	No.1-1テレスコープ弁	開度 (mm)					
	No.1-2テレスコープ弁	開度 (mm)					
	No.1テレスコープ弁 (No.3)	開度 (mm)	(800)	800		○	○
	No.2テレスコープ弁 (No.3)	開度 (mm)	(800)	0		○	○
	No.1スカム排出弁	開度 (mm)	(200)	—	—	—	—
	No.1スカムピット排出弁	開度 (mm)	(200)	—	—	—	—
	No.2スカム排出弁	開度 (mm)	(200)	0		○	○
	No.2スカムピット排出弁	開度 (mm)	(200)	0		○	○
	スカム排出弁 (No.3)	開度 (mm)	(100)	0		○	○
	消化タンク撹拌機 (No.3)	電流 (A)	(10.5)	4		○	○
	濃縮汚泥投入弁 (No.3)	開度 (%)	(100)	100		○	○
	No.1消化タンク液位	m	—				
	No.2消化タンク液位	m	4.30～9.00	5.30	5.80	○	○
	No.3消化タンク液位	m	0.50～3.20	2.60	2.60	○	○

	機器名	項目	常用値 (定格値)	数値 日勤 陶山	数値 後夜勤 久保	判定 日勤	判定 後夜勤
消化槽機械棟設備	No.1消化汚泥ポンプ	電流 (A)					
		吐出圧 (MPa)					
	No.2消化汚泥ポンプ (No.1-3消化汚泥ポンプ)	電流 (A)	16.0～18.0 (21.5)			○	○
		吐出圧 (MPa)	0.180～0.200			○	○
	No.3消化汚泥ポンプ	電流 (A)	16.0～18.0 (21.5)			○	○
		吐出圧 (MPa)	0.180～0.200			○	○
	No.1消化汚泥引抜弁	状態	開・閉				
	No.2消化汚泥引抜弁	状態	開・閉	閉		○	○
	No.3消化汚泥引抜弁	状態	開・閉	閉		○	○
	消化棟床排水ポンプ	動作		—	—	○	○
	No.1空気圧縮機	タンク圧 (MPa)	0.40～0.93		0.65	○	○
	No.2空気圧縮機	タンク圧 (MPa)	0.40～0.93		0.44	○	○
	除湿器	蒸発圧力 (MPa)	0.35～0.70		0.46	○	○
	乾式脱硫装置	漏れ、臭気		—	—	○	○
	No.1, 2乾式脱硫装置	漏れ、臭気		—	—	○	○
	No.1ガスタンク						
	ガスタンクレベル	m³	(0～1100)	250	140	○	○
	ガス圧力	mmH₂O	(0～260)	184	185	○	○
	消化ガス発生変換器	m³/h	(0～500)	0	0	○	○
	緊急遮断弁動作・漏れ・外観			—	—	○	○
	No.2ガスタンク						
	ガスタンクレベル	m³	(0～1500)	1500	1500	○	○
	ガス圧力	KPa	(0.0～3.0)	1.90	1.90	○	○
	消化ガス発生変換器	m³/h	(0～500)	55	63	○	○
	緊急遮断弁動作・漏れ・外観			—	—	○	○
	No.1余剰ガス燃焼装置						
	ガス流量	Nm³/h	130～160			○	○
	燃焼ファン	圧力 (mmAq)	35～70			○	○
	ガス圧力	kPa	1.5～10.0			○	○
	No.1ブースターファン	動作			—	○	○
	No.2ブースターファン	動作			—	○	○

備考
・No.1, 2消化槽設備、更新工事中

鳥栖市浄化センター

汚泥処理機器点検日報(2)

平成24年12月6日(木曜日)

	機器名	項目	常用値(定格値)	数値 日勤 陶山	数値 後夜勤 久保	判定 日勤	判定 後夜勤
消化槽機械棟設備	No.2余剰ガス燃焼装置						
	送風機	電流(A)	0～20			○	○
	No.1ガス昇圧ブロワ	電流(A)	0～15			○	○
	No.2ガス昇圧ブロワ	電流(A)	0～15			○	○
	ガス流量	Nm³/H	0～300			○	○
	フレーム電流	μA	0～10			○	○
	ガス圧力スイッチ	kPa	(0.0～10.0)			○	○
	遮断弁	状態	開・閉		開	○	○
汚泥7-1処理棟設備	No.1連絡管廊床排水ポンプ	動作		—	—	○	○
	No.2連絡管廊床排水ポンプ	動作		—	—	○	○
	No.1脱水機棟床排水ポンプ	動作		—	—	○	○
	No.2脱水機棟床排水ポンプ	動作		—	—	○	○
	No.1揚水ポンプ	電流(A)	11.5～12.5(14.0)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	2.40～2.70			○	○
	No.2揚水ポンプ	電流(A)	11.5～12.5(14.0)			○	○
		吐出圧(kg/cm²)	2.40～2.70			○	○
	No.1受水槽入口弁	開度(%)	0～100	0		○	○
	No.2受水槽入口弁	開度(%)	0～100	0		○	○
	No.1空気圧縮機	電流(A)	10.0～13.5(13.5)		11.6	○	○
		圧力(kg/cm²)	4.0～7.0		5.0	○	○
	No.2空気圧縮機	電流(A)	10.0～13.5(13.5)		12.0	○	○
		圧力(kg/cm²)	4.0～7.0		5.0	○	○
	No.1除湿機	温度(℃)	0～15		5	○	○
	No.2除湿機	温度(℃)	1～10		3	○	○
	脱臭ファン	電流(A)	2.6～3.0(4.2)	2.9		○	○
	マノメーター	圧力損失(mmAq)	130以下	58		○	○
	脱臭管切替弁(No.1・No.2)	切替先	No.1・No.2	No.2		○	○

機器名	項目	常用値(定格値)	数値 日勤 陶山	数値 後夜勤 久保	判定 日勤	判定 後夜勤
汚泥処理棟電気室						
コントロールセンター引込(汚泥濃縮設備)	電圧(V)	400～440		410	○	○
	電流(A)	100以下		4	○	○
コントロールセンター引込(汚泥脱水設備)	電圧(V)	400～440		420	○	○
	電流(A)	100以下		28	○	○
コントロールセンター引込(汚泥脱水(2)ボイラー)	電圧(V)	400～440		420	○	○
	電流(A)	100以下		2	○	○
コントロールセンター引込(汚泥脱水設備(3))	電圧(V)	400～440		420	○	○
	電流(A)	100以下		0	○	○
消化槽機械棟電気室						
コントロールセンター引込(消化設備)	電圧(V)	400～440		420	○	○
	電流(A)	100以下		0	○	○
コントロールセンター引込(汚泥消化設備(2))	電圧(V)	400～440		425	○	○
	電流(A)	100以下		2	○	○

点検場所	脱水機棟	消化棟・ボイラー棟	機械濃縮棟・重力濃縮棟・ボイラー重油地下タンク
点検項目	A, B, C, D, G	A, B, C, E, F, G	A, B, C, G
チェック	☑	☑	☑

A…可燃物の有無　B…火気の有無　C…油漏れの有無　D…灰皿の後始末　E…ガスの元栓確認　F…ガス漏れの有無　G…消火器の設置場所確認

点検実施日	毎日	第一月曜日	
点検項目	不審物等点検	覆蓋点検(沈砂池・初沈・反応槽設備)	フェンス(境界線)周辺点検
異常の有無	□有 ☑無	□有 □無	□有 □無

備考
・前夜勤 場内巡視点検 異常なし。

鳥栖市浄化センター
電気点検日報

平成24年12月6日(木曜日)

機器名		項目		常用値	数値 前夜勤 小林	数値 日勤 草場	判定 前	判定 日
引込盤	MOF	—		—	—		○	○
	断路器89R	—		—	—		○	○
受電盤	受電	電圧(V)		6400～7000	6500		○	○
		電流(A)	R	100以下	35		○	○
			S	100以下	37			
			T	100以下	37			
		電力(kW)		490以下	400		○	○
		力率(%)		-85～100	100		○	○
	しゃ断器52R	—		—	—		○	○
No.1 動力一次盤		一次電流(A)	R	40.0以下	8.0		○	○
			S	40.0以下	8.0			
			T	40.0以下	8.0			
No.2 動力一次盤		一次電流(A)	R	45.0以下	29.0		○	○
			S	45.0以下	33.0			
			T	45.0以下	30.0			
No.1-1 400V主幹盤		二次電圧(V)		400～440	425		○	○
		二次電流(A)	R	600以下	130		○	○
			S	600以下	130			
			T	600以下	130			
400V主幹MCBT1		—		—	—		○	○
400V主幹母連MCBB1		—		—	—		○	○
No.1 動力トランス盤		温度(℃)		20～70	42		○	○
No.2-1 400V主幹盤		二次電圧(V)		400～440	410		○	○
		二次電流(A)	R	800以下	470		○	○
			S	800以下	500			
			T	800以下	440			
400V主幹MCBT2		—		—	—		○	○
No.2 動力トランス盤		温度(℃)		20～60	49		○	○
母線連絡 52B		—		—	—		○	○
発電機引込盤 しゃ断器 52G		—		—	—		○	○
No.1 照明トランス盤	照明トランス	二次電圧(V)	R－O	100～110	103		○	○
			O－T	100～110	103			
			T－R	200～220	206			
		二次電流(A)	R	400以下	100		○	○
			O	} 合計400以下	15			
			T		80			
		温度(℃)		20～60	47		○	○
	照明二次主幹MCBT3	—		—	—		○	○
	母線連絡MCBB11	—		—	—		○	○
No.2 照明トランス盤	照明トランス	二次電圧(V)	R－S	100～110	103		○	○
			S－T	100～110	103			
			T－R	200～220	206			
		二次電流(A)	R	400以下	5		○	○
			S	} 合計400以下	0			
			T		8			
		温度(℃)		20～60	42		○	○
	照明二次主幹MCBT4	—		—	—		○	○
コンデンサ盤	No.1-1 コンデンサ	—		—	—		○	○
	No.1-2 コンデンサ	—		—	—		○	○
	No.1-3 コンデンサ	—		—	—		○	○
	No.2-1 コンデンサ	—		—	—		○	○
	No.2-2 コンデンサ	—		—	—		○	○
No.1 照明一次盤		一次電流(A)		16.0以下	2.7		○	○
No.2 照明一次盤		一次電流(A)		12.0以下	0.3		○	○
蓄電池		—		—	—		○	○
備考								

機器名			項目	常用値(定格値)	数値 前夜勤	数値 日勤	判定 前	判定 日
充電器盤	充電器(浮動充電時)		直流電圧(V)	110～130	122		○	○
			充電器出力電流(A)	30～45	33			
			蓄電池電流(A)	0	0			
			直流負荷電流(A)	10～15	11			
インバーター盤	インバーター		出力電圧(V)	100～110	105		○	○
			出力電流(A)	20～30	23			
			出力周波数(HZ)	59.4～60.6 (60±1%)	59.9			
			直流電流(A)	17～30	19			
自家発設備	No.1	No.1 始動用(浮動充電時)直流電源	直流電圧(V)	26.0～28.0	27.0		○	○
			整流器出力電流(A)	0～1.0	0.2			
		発電機補機	電圧(V)	400～440	410		○	○
			電流(A)	50.0以下	0.0			
		潤滑油	レベル	3.0～6.0	5.4		○	○
		燃料小出槽液位(L)		350～1000	955		○	○
		No.1 燃料移送ポンプ	電流(A)	0.7～1.0(1.7)			○	○
		No.2 燃料移送ポンプ	電流(A)	0.7～1.0(1.7)			○	○
	No.2	No.2 始動用(浮動充電時)直流電源	直流電圧(V)	26.0～28.0	27.0		○	○
			整流器出力電流(A)	0～1.0	0.0			
		発電機補機	電圧(V)	400～440	405		○	○
		潤滑油	レベル	3.0～6.0	6.0		○	○
		燃料小出槽液位(L)		350～1000	985		○	○
		No.3 燃料移送ポンプ	電流(A)	0.5～0.8(1.70)			○	○
		No.4 燃料移送ポンプ	電流(A)	0.5～0.8(1.70)			○	○
重油地下タンク液位			(m)	1.6～8.0	6.1		○	○
自家発A重油配管点検(漏れ、腐食等)			地下タンク～小出し槽		—		○	○
			小出し槽～発電機本体		—		○	○
ポンプ棟	コントロールセンター引込(No.1,2,3ポンプ)		電圧(V)	400～440	410		○	○
			電流(A)	150以下	0			
	コントロールセンター引込(No.4,5ポンプ)		電圧(V)	400～440	410		○	○
			電流(A)	200以下	0			
	コントロールセンター引込(沈砂池)		電圧(V)	400～440	415		○	○
			電流(A)	100以下	0			
	コントロールセンター引込(主ポンプ設備3)		電圧(V)	400～440	405		○	○
			電流(A)	600以下	70			
水処理機械棟	コントロールセンター引込(送風機)		電圧(V)	400～440	415		○	○
			電流(A)	200以下	0			
	コントロールセンター引込(初沈)		電圧(V)	400～440	425		○	○
			電流(A)	100以下	5			
	コントロールセンター引込(終沈)		電圧(V)	400～440	415		○	○
			電流(A)	100以下	18			
	コントロールセンター引込(用水,消毒)		電圧(V)	400～440	415		○	○
			電流(A)	150以下	17			
水処理電気室	コントロールセンター引込(2系初沈,反応槽)		電圧(V)	400～440	410		○	○
			電流(A)	225以下	32			
	コントロールセンター引込(2系終沈)		電圧(V)	400～440	410		○	○
			電流(A)	225以下	15			
送風機棟	コントロールセンター引込(送風機)		電圧(V)	400～440	415		○	○
			電流(A)	400以下	110			
	コントロールセンター引込(用水,消毒)		電圧(V)	400～440	410		○	○
			電流(A)	150以下	19			
	コントロールセンター引込(No.3送風機)		電圧(V)	400～440	410		○	○
			電流(A)	400以下	205			

防火点検表(日勤点検時実施)

A…可燃物の有無　B…火気の有無　C…油漏れの有無　D…灰皿の後始末
E…ガスの元栓確認　F…ガス漏れの有無　G…消火器の設置場所確認

点検場所	点検項目	チェック
管理棟1F電気室	A,B,G	○
発電機室	A,B,C,G	○
重油地下タンク	A,B,C,G	○

7.2　計画的な維持管理の概要

今後も引き続き、設備・施設の機能低下、故障停止、事故を未然に防止するため、定期的な日常点検および月例点検等を行い、処理施設の機能維持が図れるよう予防保全的な維持管理を継続的に実施していく。

表 7-1 長寿命化設備の点検項目

設備名称	部品名称	点検項目
汚泥掻寄機	変減速機	錆、油脂漏れ、経過時間
	電動機	錆、温度、経過時間
	ｹｰｼﾝｸﾞ	錆、損傷or変形、経過時間
	走行ﾚｰﾙ	錆、磨耗_m、経過時間
	本体用ﾁｪﾝ	錆、伸び、経過時間
	ﾌﾗｲﾄ	錆、損傷or変形、経過時間
	ｽﾌﾟﾛｹｯﾄ	錆、磨耗_m、経過時間
	駆動軸	錆、塗装、経過時間
	水中軸	錆、塗装、経過時間
	潤滑油装置	錆、油脂漏れ、経過時間
送風機 （ルーツブロワ）	ｲﾝﾍﾟﾗ	錆、損傷or変形、経過時間
	本体外観	錆、経過時間
	軸ｼｰﾙ	錆、経過時間
	軸受	振動v_I_V、振動v_I_H、振動a_I_V、振動a_I_H、温度、経過時間
	主軸	錆、塗装、経過時間
	変減速機	錆、油脂漏れ、経過時間
	計装盤	錆、経過時間
送風機 （直結式多段ターボ）	ｲﾝﾍﾟﾗ	錆、損傷or変形、経過時間
	本体外観	錆、経過時間
	軸ｼｰﾙ	錆、経過時間
	軸継手	錆、経過時間
	軸受	振動v_I_V、振動v_I_H、振動a_I_V、振動a_I_H、温度、経過時間
	主軸	錆、塗装、経過時間
	ｲﾝﾚｯﾄﾍﾞｰﾝ	錆、損傷or変形、経過時間
	計装盤	錆、経過時間